

# 男女共同参画社会づくりに向けての意識調査

## アンケート結果

令和元年12月

茂 原 市

## はじめに

男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重し、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現は、我が国社会にとって重要な課題の一つです。

21世紀を迎え、少子高齢化・高度情報化・国際化など社会環境が大きく変動する中で、家庭や職場、地域社会など日々の暮らしの中における私たちの生き方や考え方は、非常に多様化しています。

茂原市では平成28年3月に「茂原市男女共同参画計画（第3次）」を策定し、さまざまな施策を展開してまいりました。この計画は平成28年度から令和2年度までの5年間の計画期間としており、社会情勢やニーズの変化に応じて見直しを行うこととされています。

計画策定から3年が経過し、男女共同参画社会づくりに関する市民の皆さんの意識の変化をとらえ、市民生活を送る上で直面している新たな問題に対処するため、市では「茂原市男女共同参画計画」の見直しを進めています。

このたび計画の見直しにあたり、市民の皆さんの男女共同参画社会づくりに関するご意見を伺い、市が今後取り組むべき施策の基礎資料とするため、「茂原市男女共同参画社会づくりに向けての意識調査」を実施し、結果を取りまとめました。

このアンケート結果が関係機関や市民の皆さまに広くご活用いただければ幸いです。調査にご協力をいただきました市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

令和元年12月

茂原市企画財政部企画政策課

# 目 次

1. 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 調査方法	1
1.4 回収結果	1
1.5 集計・分析について	1
2. 調査回答者の属性	2
2.1 性別	2
2.2 年齢	2
2.3 居住地区	2
2.4 職業	3
2.5 世帯構成	3
2.6 婚姻	3
2.7 共働きの状況	4
2.8 子どもはいますか	4
3. 調査結果	5
3.1 男女共同参画の意識について	5
3.2 言葉の理解度	6
3.3 男女共同参画についての話し合いなど	8
3.4 性別役割分担意識	9
3.5 家庭における役割分担	10
3.6 理想の子どもの将来像	14
3.7 学校教育における男女共同参画の意識	15
3.8 合計特殊出生率の低い原因	16
3.9 主な介護者	17
3.10 介護における女性の役割	18
3.11 要介護状態になった場合の介護主体	19
3.12 男性の育児や介護に関わる時間	20
3.13 有給休暇や育児・介護休業等の利用しやすさ	21
3.14 望ましい女性の働き方	22
3.15 男女が仕事と家庭を両立するために必要なこと	23
3.16 セクシャル・ハラスメントの現状	24
3.17 セクシャル・ハラスメントの相談窓口	25
3.18 セクシャル・ハラスメントの原因	26
3.19 ドメスティック・バイオレンスの現状	27
3.20 ドメスティック・バイオレンスへの対応	30

3.21	地域活動への参加状況	31
3.22	男性の地域活動・家庭生活への参加促進	32
3.23	女性リーダーが少ない理由	33
3.24	審議会等への女性委員の登用状況	34
3.25	男女共同参画社会の実現に向けて必要なこと	35
3.26	防災・災害復興対策への女性の視点に配慮した対応について	36
3.27	防災・災害復興対策で女性の視点が必要なこと	37
3.28	「LGBT」の周知度	38
3.29	「LGBT」に関する人権問題	39
3.30	男らしさ、女らしさ	40
3.31	「LGBT」を受け入れられるかどうかについて	41
3.32	男女共同参画社会の実現に向けた市への要望	43
3.33	男女共同参画社会づくりに関する意見・要望	45
4	参考資料（調査票）	72
5	用語解説	90

# 1 調査の概要

## 1.1 調査の目的

この調査は、市民の男女共同参画社会づくりに関する意識・意向や生活実態などを総合的に把握し、次期男女共同参画計画の策定や各種施策の推進に反映させるための基礎資料を得ることを目的として実施された。

## 1.2 調査の内容

- ① 男女共同参画の意識について
- ② 男女の役割分担について
- ③ 子育てと教育について
- ④ 高齢化社会について
- ⑤ 労働について
- ⑥ セクシュアル・ハラスメントについて
- ⑦ ドメスティック・バイオレンス（DV）について
- ⑧ 社会・地域参加について
- ⑨ 防災・災害復興対策について
- ⑩ LGBT（性的少数者）について
- ⑪ 市への要望について

## 1.3 調査方法

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| ① 調査地域 | 茂原市全域             |
| ② 調査対象 | 市内に居住している20歳以上の男女 |
| ③ 対象者数 | 3,000人            |
| ④ 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出     |
| ⑤ 調査方法 | 郵送配付・郵送回収         |
| ⑥ 調査期間 | 令和元年7月3日～20日      |

## 1.4 回収結果

- |       |        |
|-------|--------|
| ① 配付数 | 3,000件 |
| ② 回収数 | 989件   |
| ③ 回収率 | 33.0%  |

## 1.5 集計・分析について

- ・ 調査結果の数値は、原則として回答率（%）を表記しています。
- ・ 回答率は小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している関係で、合計が100%とならない場合があります。
- ・ 回答率（%）はその質問の回答者数を基数として算出したため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがあります。

## 2 調査回答者の属性

### 2.1 性別

	回答数	構成比(%)
男性	427	43.2
女性	557	56.3
その他	1	0.1
無回答	4	0.4
合計	989	100.0

### 2.2 年齢

	回答数	構成比(%)
20歳代	84	8.5
30歳代	108	10.9
40歳代	129	13.0
50歳代	161	16.3
60歳代	215	21.7
70歳以上	288	29.1
無回答	4	0.4
合計	989	100.0

### 2.3 居住地区

	回答数	構成比(%)
茂原地区	348	35.2
東郷地区	158	16.0
豊田地区	77	7.8
二宮地区	29	2.9
鶴枝地区	88	8.9
五郷地区	108	10.9
本納地区	74	7.5
新治地区	14	1.4
豊岡地区	55	5.6
緑ヶ丘	32	3.2
無回答	6	0.6
合計	989	100.0

## 2.4 職業

	回答数	構成比(%)
農林漁業	18	1.8
商工業・サービス業	23	2.3
医師・弁護士など	3	0.3
その他自営業	46	4.7
会社員	242	24.5
公務員・団体職員	59	6.0
専業主婦・主夫	139	14.1
学生	15	1.5
無職	236	23.9
パート・アルバイト・派遣など	145	14.7
その他	18	1.8
無回答	45	4.6
合計	989	100.0

## 2.5 世帯構成

	回答数	構成比(%)
ひとり暮らし	93	9.4
配偶者・パートナーと2人(一世代家族)	331	33.5
親と子ども(核家族)	354	35.8
親と子どもとその配偶者・パートナー(二世世代家族)	70	7.1
親と子どもとその配偶者・パートナーと孫(三世世代家族)	61	6.2
その他	32	3.2
無回答	48	4.9
合計	989	100.0

## 2.6 婚姻

	回答数	構成比(%)
結婚している(未届だがパートナーと暮らしている場合も含む)	676	68.4
死別・離別	111	11.2
結婚していない	154	15.6
無回答	48	4.9
合計	989	100.0

## 2.7 共働きの状況

	回答数	構成比(%)
共働き	307	31.0
片方(男性)だけ働いている	144	14.6
片方(女性)だけ働いている	34	3.4
両者とも働いていない	188	19.0
無回答	316	32.0
合計	989	100.0

## 2.8 子どもはいますか

	回答数	構成比(%)
いる	438	44.3
いない	197	19.9
無回答	354	35.8
合計	989	100.0

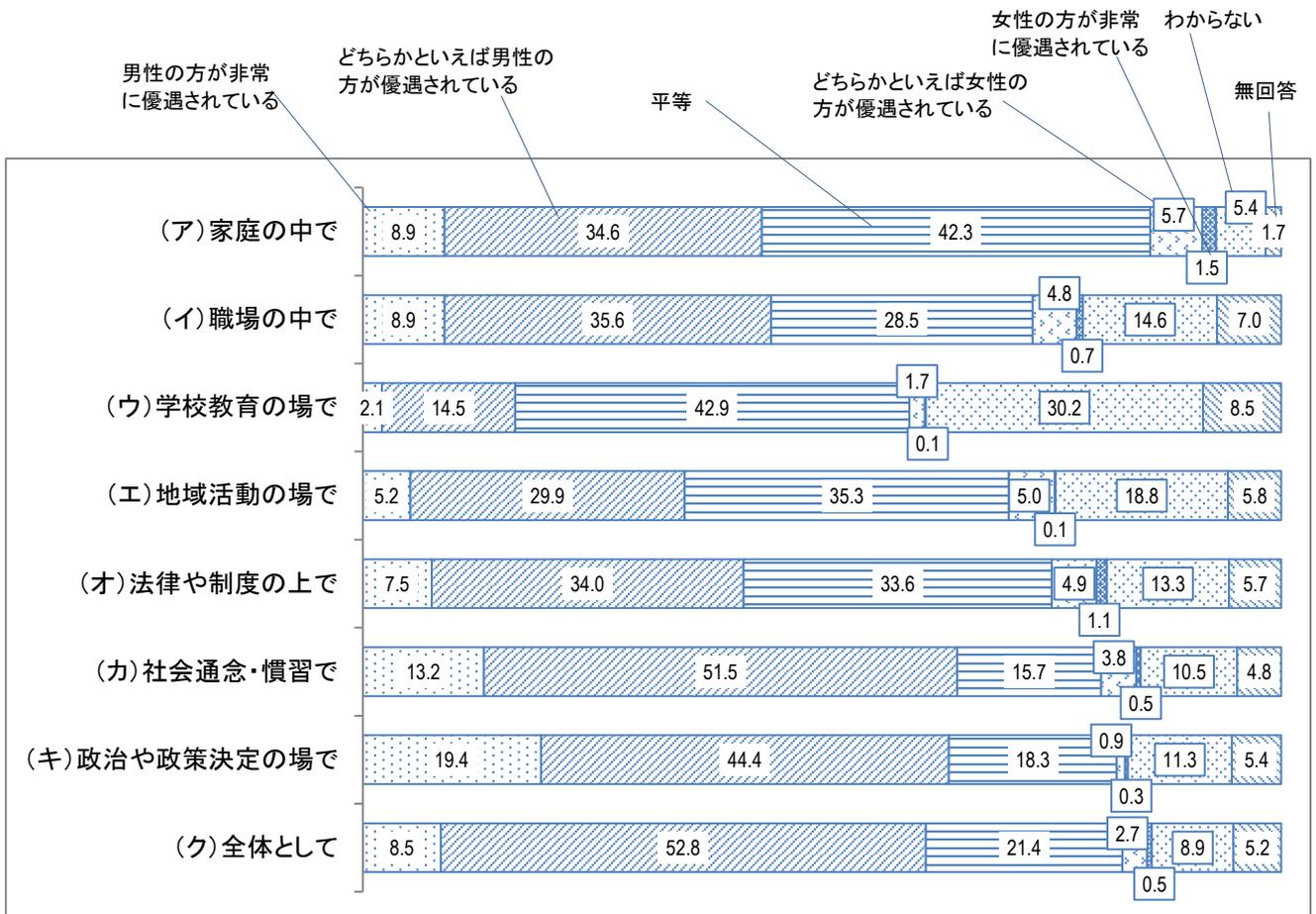
### 3 調査結果

#### 3.1 男女共同参画の意識について

問1 現在、次のような面で男女の地位が平等になっていると思いますか。それともそう思いませんか。（○は各項目1つずつ）

[n=989]  
表中の数値は回答率

	優非男 遇常性 さにの れ方が いる	優男ど 遇性ち さのら れ方が といて る	平 等	優女ど 遇性ち さのら れ方が といて る	優女ど 遇性ち さのら れ方が といて る	わ か ら な い	無 回 答
(ア)家庭の中で	8.9	34.6	42.3	5.7	1.5	5.4	1.7
(イ)職場の中で	8.9	35.6	28.5	4.8	0.7	14.6	7.0
(ウ)学校教育の場で	2.1	14.5	42.9	1.7	0.1	30.2	8.5
(エ)地域活動の場で	5.2	29.9	35.3	5.0	0.1	18.8	5.8
(オ)法律や制度の上で	7.5	34.0	33.6	4.9	1.1	13.3	5.7
(カ)社会通念・慣習で	13.2	51.5	15.7	3.8	0.5	10.5	4.8
(キ)政治や政策決定の場で	19.4	44.4	18.3	0.9	0.3	11.3	5.4
(ク)全体として	8.5	52.8	21.4	2.7	0.5	8.9	5.2



### 3.2 言葉の理解度

問2 次の言葉を知っていますか。(○は各項目1つずつ)

[n=989]  
表中の数値は回答率

	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
(ア) 男女雇用機会均等法	68.7	23.3	6.4	1.7
(イ) 男女共同参画社会基本法	28.5	33.3	35.7	2.5
(ウ) 女子差別撤廃条約	20.6	37.3	39.1	2.9
(エ) ジェンダー (社会的・文化的につくられた性別)	46.9	24.2	26.1	2.8
(オ) DV (ドメスティック・バイオレンス)	82.4	10.8	4.3	2.4
(カ) ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	16.5	26.0	54.4	3.1
(キ) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	37.1	30.2	29.6	3.0
(ク) エンパワーメント (力をつけること)	13.2	21.6	61.5	3.6
(ケ) アンペイドワーク (家事・育児・介護・看護等の無償労働)	8.1	17.7	71.3	2.9
(コ) 男女ハートフル共生プラン ～茂原市男女共同参画計画～	9.2	23.8	64.0	3.0

※これらの用語の解説については85ページ以降に掲載しています。

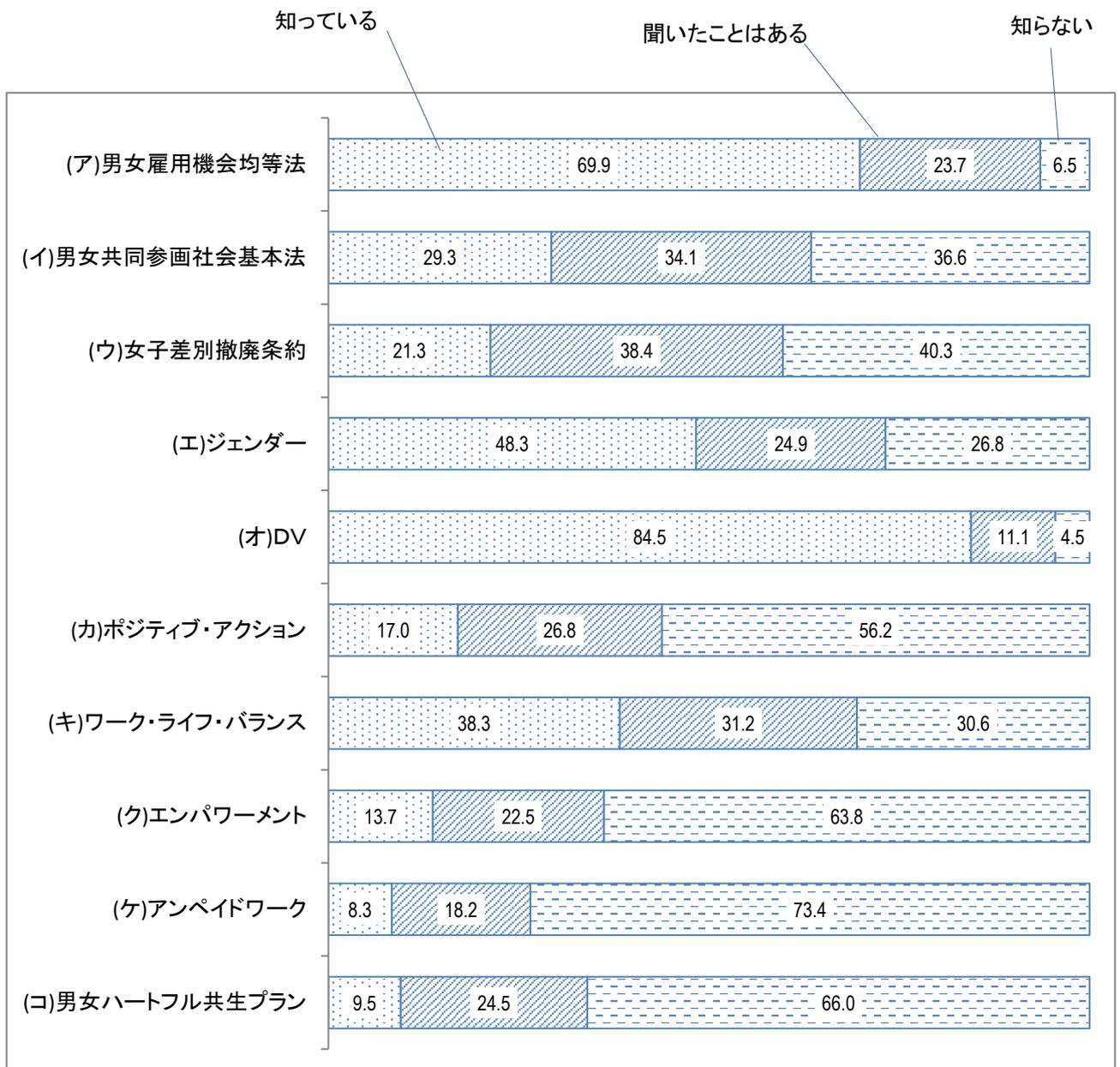
「知っている」上位5件

①DV	84.5
②男女雇用機会均等法	69.9
③ジェンダー	48.3
④ワークライフ・バランス	38.3
⑤男女共同参画社会基本法	29.3

「知らない」上位5件

①アンペイドワーク	73.4
②男女ハートフル共生プラン	66.0
③エンパワーメント	63.8
④ポジティブ・アクション	56.2
⑤女子差別撤廃条約	40.3

※回答率は「無回答」を除いて再計算したもの

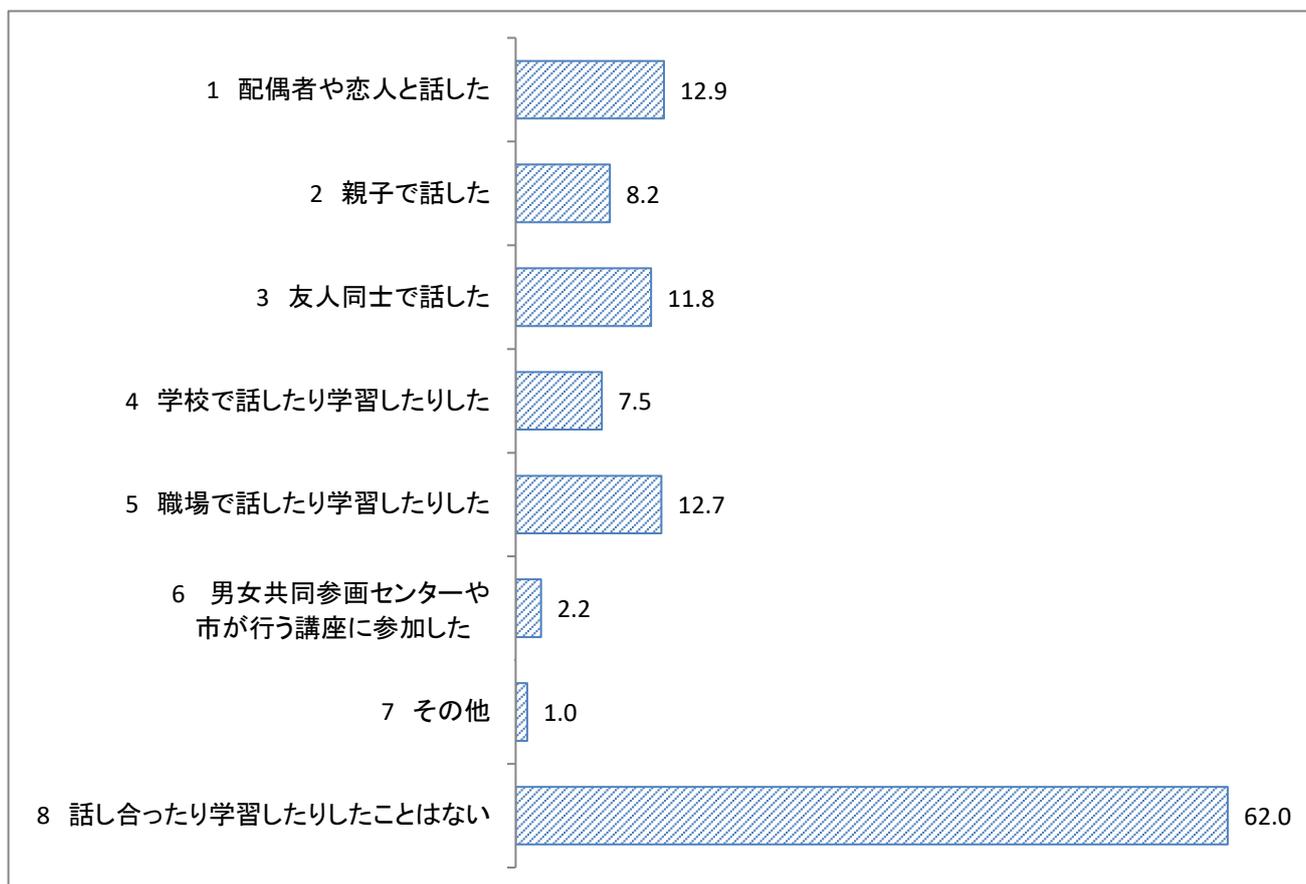


### 3.3 男女共同参画についての話し合いなど

問3 あなたは、男性及び女性の役割や地位など、男女共同参画について話し合ったり、学習したりしたことがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 配偶者や恋人と話した	12.9
2 親子で話した	8.2
3 友人同士で話した	11.8
4 学校で話したり学習したりした	7.5
5 職場で話したり学習したりした	12.7
6 男女共同参画センターや市が行う講座に参加した	2.2
7 その他	1.0
8 話し合ったり学習したりしたことはない	62.0

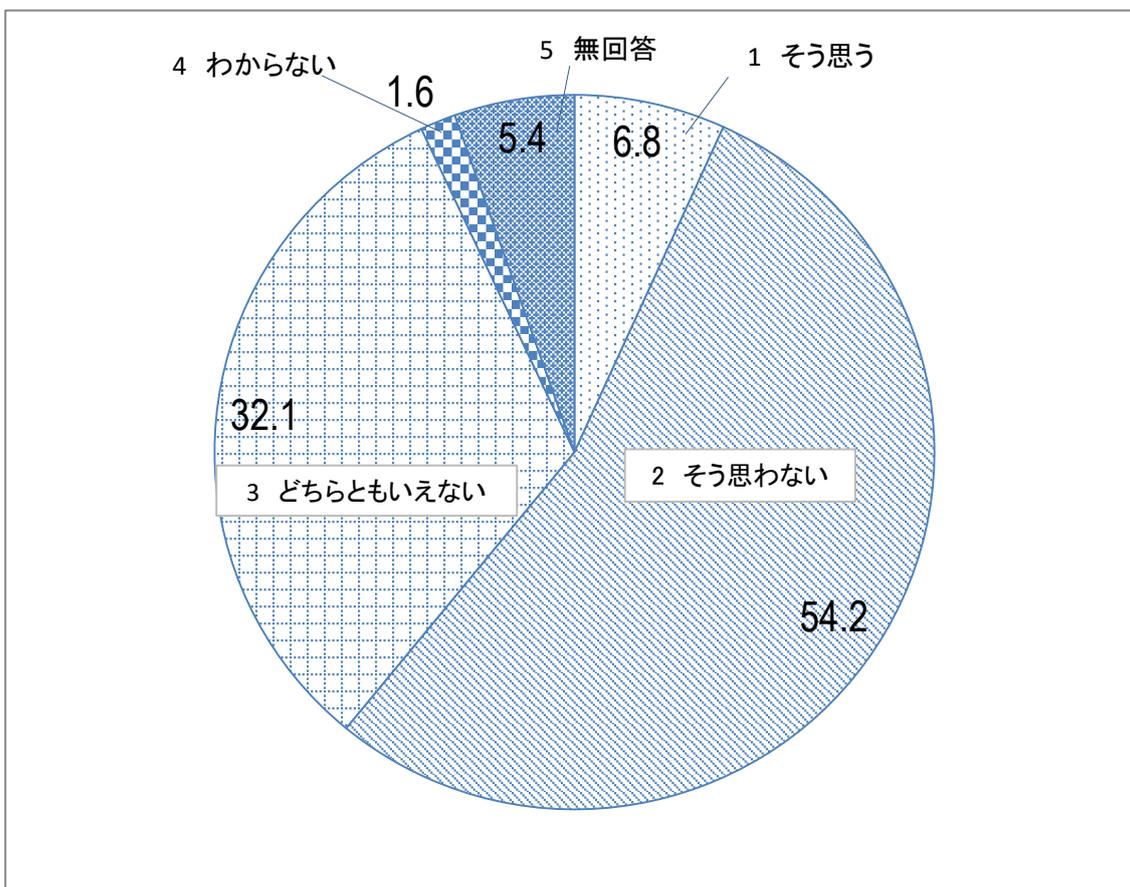


### 3.4 性別役割分担意識

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。  
(○は1つだけ)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 そう思う	6.8
2 そう思わない	54.2
3 どちらともいえない	32.1
4 わからない	1.6
5 無回答	5.4



### 3.5 家庭における役割分担

問5 あなたの家では、次に挙げる仕事等は、主にどなたがしていますか。  
または、過去にしていたか。(○は各項目1つずつ)

[n=989]  
表中の数値は回答率(%)

	パ配主 ト者男 性の	パ配主 ト者女 性の	両者 同程 度	そ の 他 の 人 ( 男 性 )	そ の 他 の 人 ( 女 性 )	該 当 し な い	無 回 答
(ア) 食事の支度	15.4	45.9	7.2	0.1	1.5	0.5	29.4
(イ) 食事の後片付け、食器洗い	15.1	39.2	13.5	0.4	1.7	0.4	29.6
(ウ) 日常の買い物	12.7	35.3	20.7	0.2	1.1	0.5	29.4
(エ) 掃除	13.4	39.5	15.3	0.2	1.3	0.5	29.7
(オ) 洗濯	15.2	43.1	10.1	0.1	1.8	0.2	29.5
(カ) ごみ出し	24.0	26.4	16.4	1.8	1.4	0.2	29.8
(キ) 大工仕事や電気製品の管理	40.3	13.3	10.1	4.4	0.1	1.6	30.0
(ク) 役所や銀行などへの用事	16.1	29.9	21.5	1.1	1.0	0.5	29.8
(ケ) 高齢者や病人の世話	7.4	21.3	12.8	0.3	0.8	26.1	31.2
(コ) 町内会や自治会の出席	25.1	19.1	12.4	1.7	0.8	10.8	30.0
(サ) 子どもの教育	6.7	19.5	23.7	0.4	0.6	18.2	30.9
(シ) 学校行事への参加	8.4	26.1	11.3	0.2	1.0	21.5	31.4
(ス) 家計の管理	15.3	34.8	17.6	0.6	0.9	0.8	30.0
(セ) 財産・資産の管理	22.0	23.7	20.3	1.1	0.8	2.0	30.0
(ソ) 家庭内での主導権	19.9	15.7	31.7	1.2	0.4	1.1	29.9

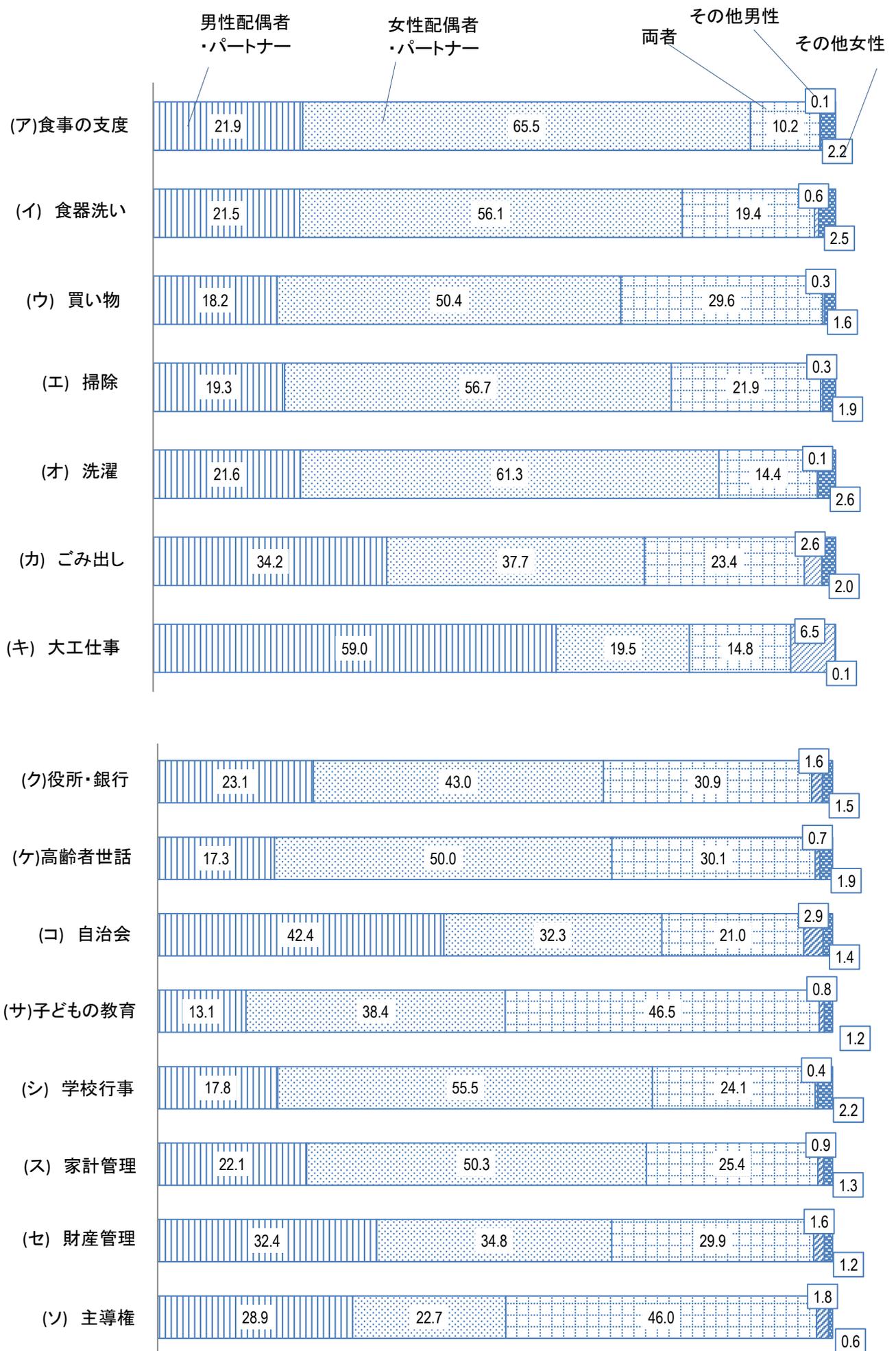
「主に夫」上位5件

①大工仕事や電気製品の管理	59.0
②町内会や自治会の出席	42.4
③ごみ出し	34.2
④財産・資産の管理	32.4
⑤家庭内での主導権	28.9

「主に妻」上位5件

①食事の支度	65.5
②洗濯	61.3
③掃除	56.7
④食事の片付け	56.1
⑤学校行事への参加	55.5

※回答率は「該当しない」「無回答」を除いて再計算したもの



※グラフ中の項目名は略記したもの

問5-1 問5の項目（ア）～（ソ）までの仕事のうち自分が「もっと分担してもよい」と思うものを3つまで選んでください。

表中の数値は回答率(%)	男性 [n=427]	女性 [n=557]
(ア) 食事の支度	13.3	10.6
(イ) 食事の後片付け、食器洗い	23.2	11.2
(ウ) 日常の買い物	13.3	7.6
(エ) 掃除	24.8	11.0
(オ) 洗濯	12.2	7.2
(カ) ごみ出し	17.1	7.2
(キ) 大工仕事や電気製品の管理	4.9	2.5
(ク) 役所や銀行などへの用事	4.4	3.4
(ケ) 高齢者や病人の世話	4.4	3.8
(コ) 町内会や自治会の出席	5.6	5.2
(サ) 子どもの教育	4.9	4.0
(シ) 学校行事への参加	4.4	2.2
(ス) 家計の管理	8.0	5.2
(セ) 財産・資産の管理	6.1	5.6
(ソ) 家庭内での主導権	2.3	3.2

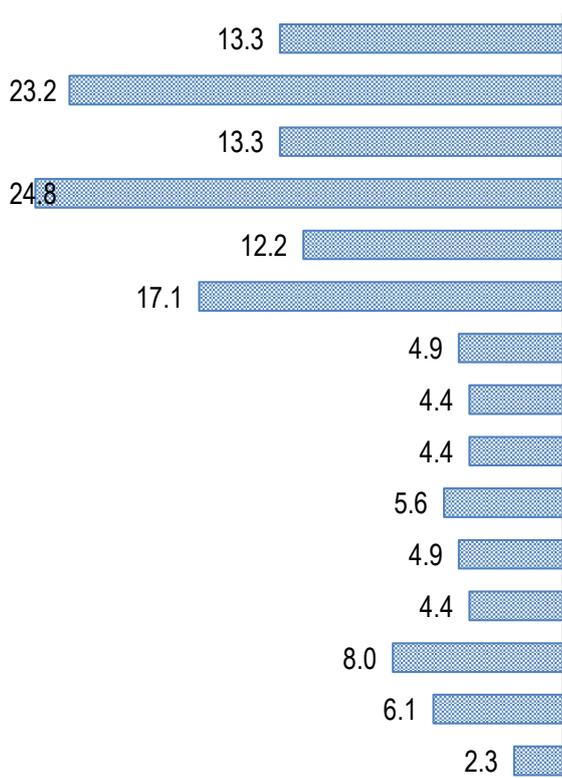
男性上位5件

①掃除	24.8%
②食事片付け食器洗い	23.2%
③ごみ出し	17.1%
④食事の支度	13.3%
⑤日常の買い物	13.3%

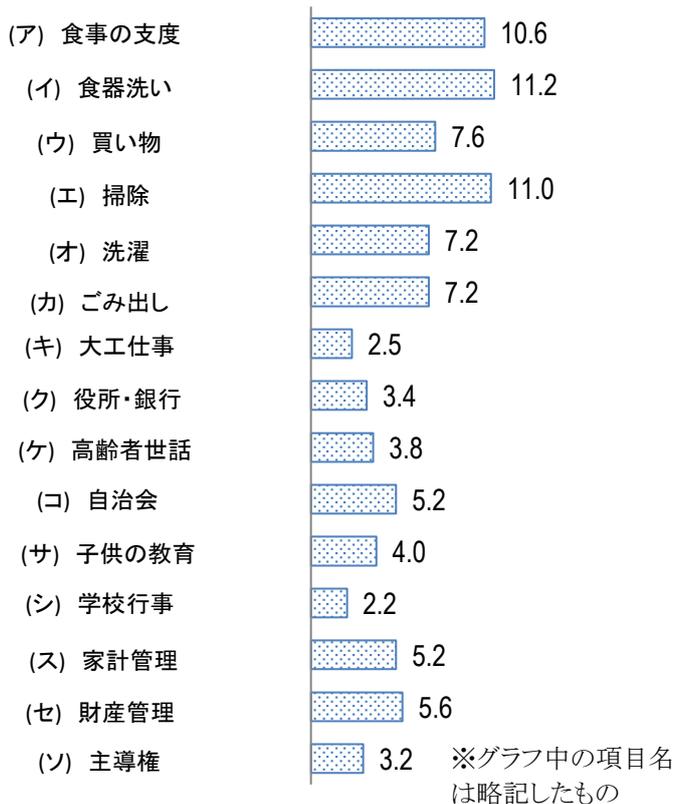
女性上位5件

①食事片付け食器洗い	11.2%
②掃除	11.0%
③食事の支度	10.6%
④日常の買い物	7.6%
⑤洗濯	7.2%
⑤ごみ出し	7.2%

< 男性 >



< 女性 >



問5-2 問5の項目（ア）～（ソ）までの仕事のうち配偶者・パートナーに「もっと分担してほしい」と思うものを3つまで選んでください。

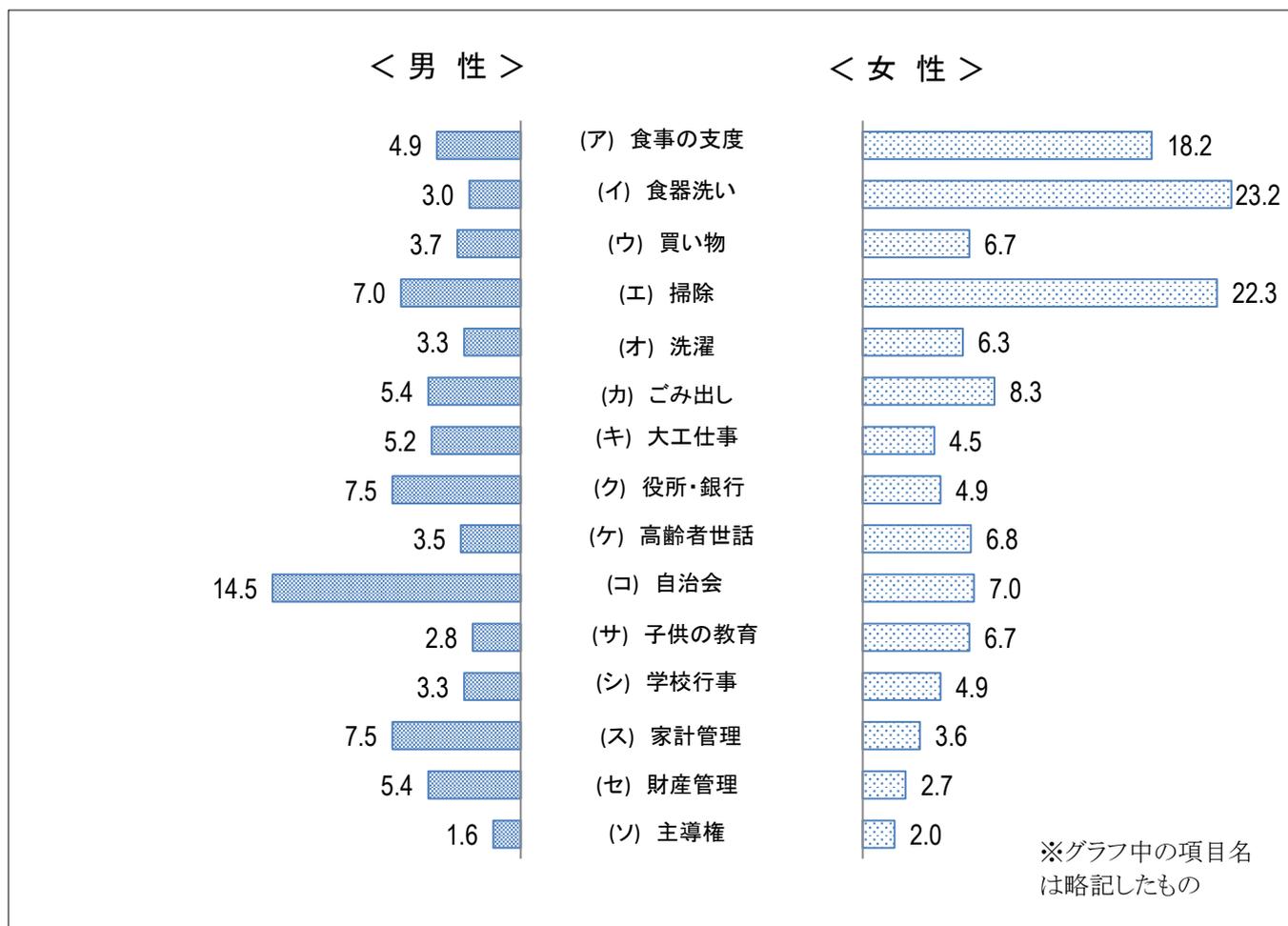
表中の数値は回答率(%)	男性 [n=427]	女性 [n=557]
(ア) 食事の支度	4.9	18.2
(イ) 食事の後片付け、食器洗い	3.0	23.2
(ウ) 日常の買い物	3.7	6.7
(エ) 掃除	7.0	22.3
(オ) 洗濯	3.3	6.3
(カ) ごみ出し	5.4	8.3
(キ) 大工仕事や電気製品の管理	5.2	4.5
(ク) 役所や銀行などへの用事	7.5	4.9
(ケ) 高齢者や病人の世話	3.5	6.8
(コ) 町内会や自治会の出席	14.5	7.0
(サ) 子どもの教育	2.8	6.7
(シ) 学校行事への参加	3.3	4.9
(ス) 家計の管理	7.5	3.6
(セ) 財産・資産の管理	5.4	2.7
(ソ) 家庭内での主導権	1.6	2.0

男性上位5件

①町内会や自治会出席	14.5%
②役所や銀行への用事	7.5%
②家計の管理	7.5%
④掃除	7.0%
⑤ごみ出し	5.4%
⑤財産・資産の管理	5.4%

女性上位5件

①食事片付食器洗い	23.2%
②掃除	22.3%
③食事の支度	18.2%
④ごみ出し	8.3%
⑤町内会や自治会出席	7.0%

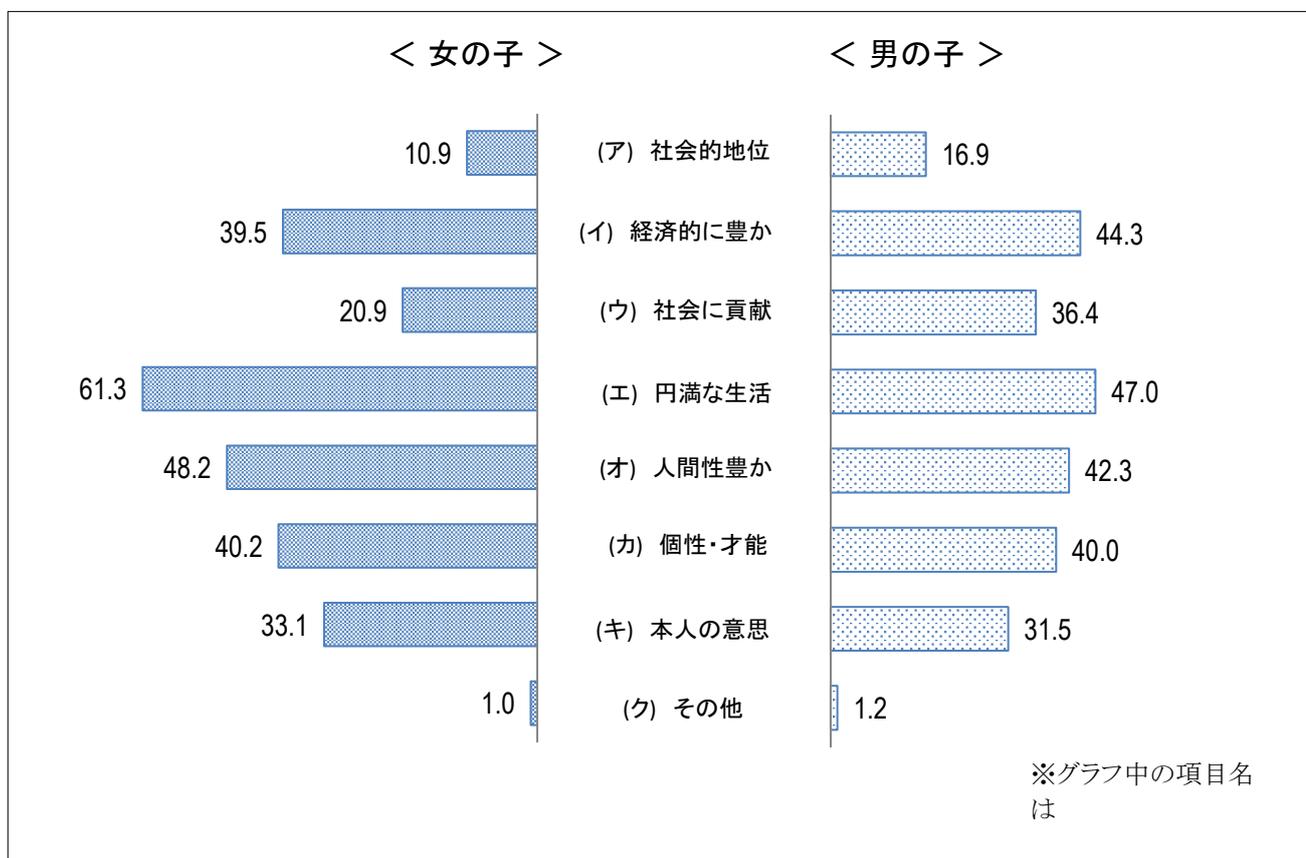


### 3.6 理想の子どもの将来像

問6 これからの時代を生きていく子どもたちには、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。（〇は女の子・男の子それぞれ3つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

	女の子	男の子
(ア) 社会的な地位を得る	10.9	16.9
(イ) 経済的に豊かな生活をする	39.5	44.3
(ウ) 社会に貢献する	20.9	36.4
(エ) 家庭や周りの人たちと円満に暮らす	61.3	47.0
(オ) 人間性豊かな生活をする	48.2	42.3
(カ) 本人の個性や才能を生かした生活をする	40.2	40.0
(キ) 本人の意思に任せる	33.1	31.5
(ク) その他	1.0	1.2



- 「女の子」上位5件
- ①周りの人達と円満な生活 61.3%
  - ②人間性豊かな生活 48.2%
  - ③個性・才能を生かした生活 40.2%
  - ④経済的に豊かな生活 39.5%
  - ⑤本人の意思に任せる 33.1%

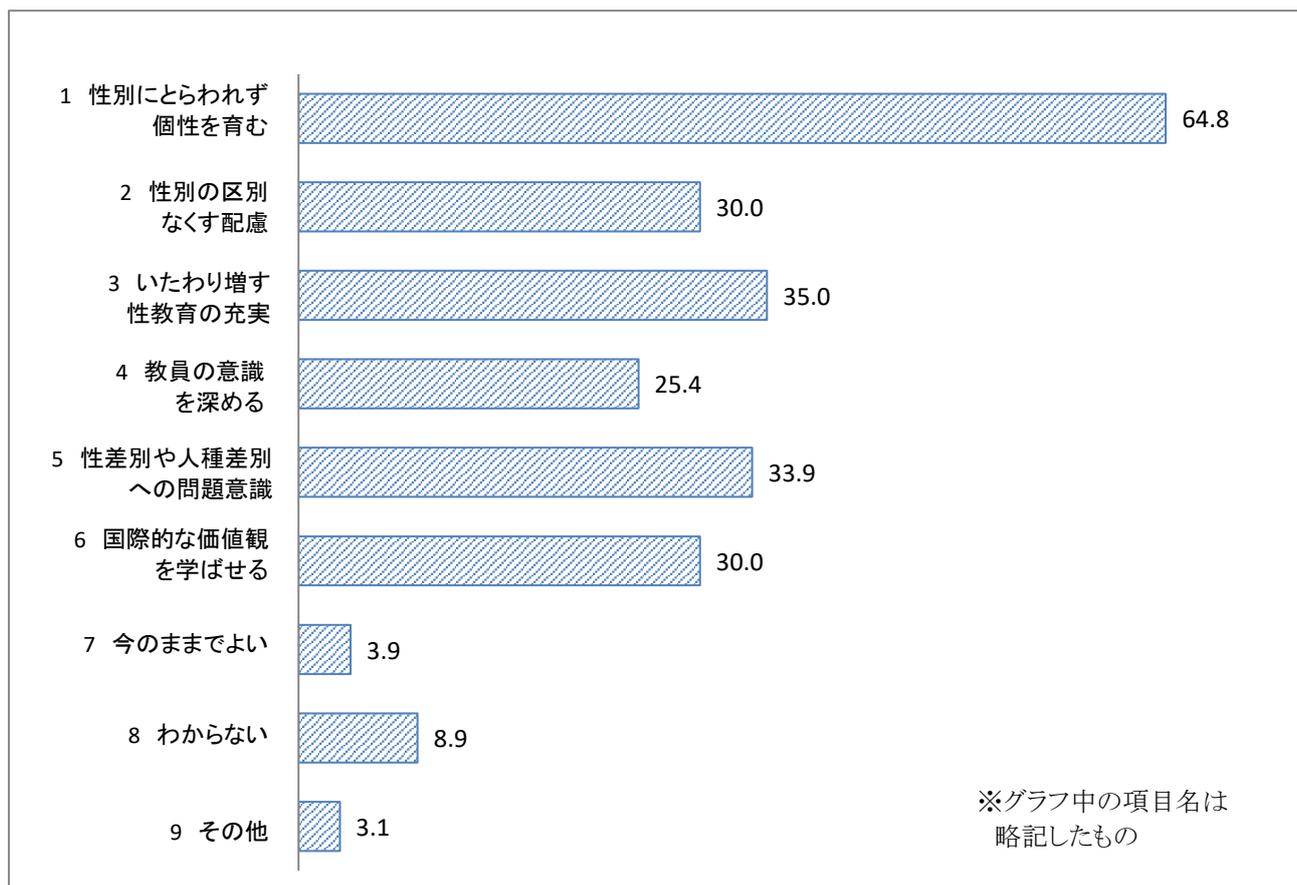
- 「男の子」上位5件
- ①周りの人達と円満な生活 47.0%
  - ②経済的に豊かな生活 44.3%
  - ③人間性豊かな生活 42.3%
  - ④個性・才能を生かした生活 40.0%
  - ⑤社会に貢献する 36.4%

### 3.7 学校教育における男女共同参画の意識

問7 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、何が大切だと思いますか。（〇は3つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性を育むような授業をする	64.8
2 生活指導や進路指導において、性別の区別をなくす配慮をする	30.0
3 相手へのいたわりや理解が増すような性教育を充実させる	35.0
4 男女共同参画に関する教員の意識を深める研修を行う	25.4
5 性差別や人種差別などに問題意識をもたせる	33.9
6 国際交流や交換留学を活発にし、他国の事例や価値観を学ばせる	30.0
7 今のままでよい	3.9
8 わからない	8.9
9 その他	3.1

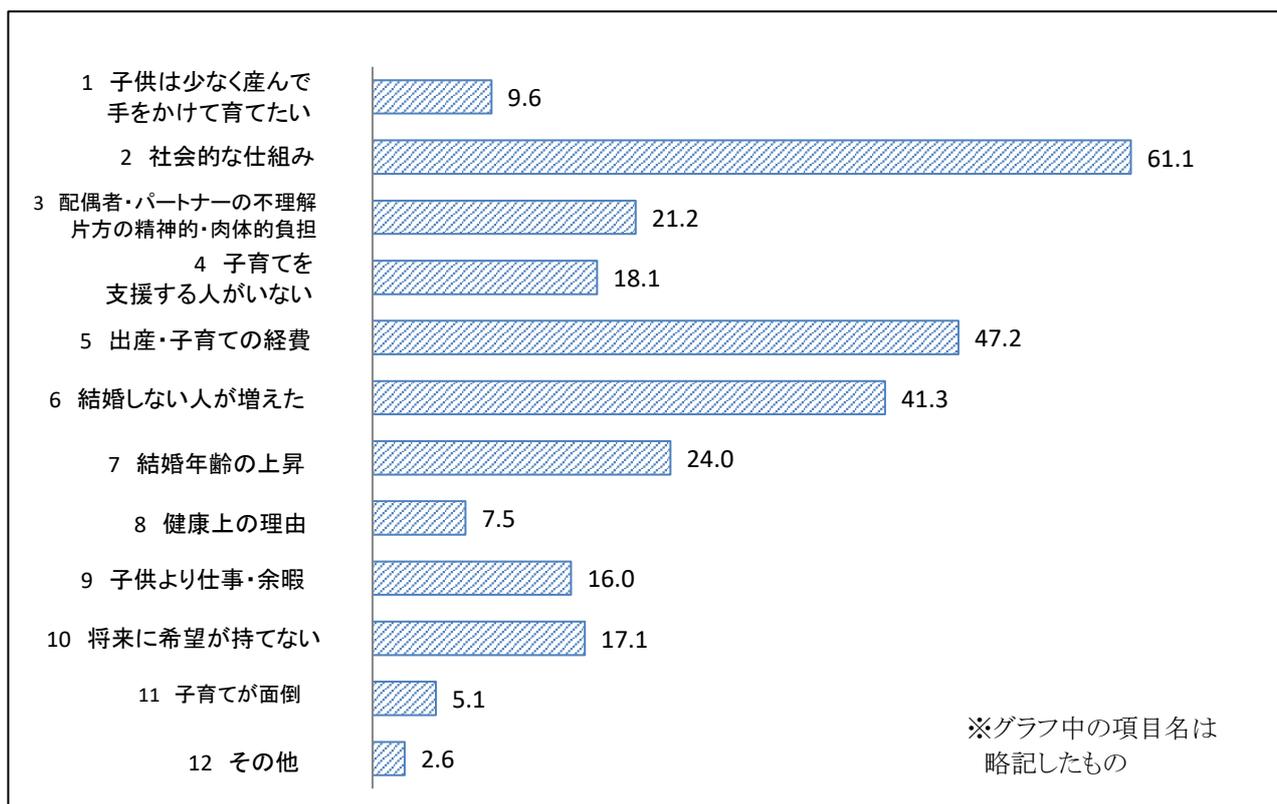


### 3.8 合計特殊出生率の低い原因

問8 女性が一生の間に産む子どもの数は平成29年（2017年）で1.43人となっています。あなたは、出生率が低い原因は何だと思いませんか。（〇は3つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1	子どもは少なく産んで十分手をかけて育てたいという人が増えた	9.6
2	出産・子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み（保育・勤務時間・休暇制度等）が整っていない	61.1
3	出産・子育てに対する配偶者・パートナーの理解・協力が足りず片方の精神的・肉体的負担が大きい	21.2
4	祖父母や隣近所など、保護者以外に出産・子育てを支援してくれる人がいない	18.1
5	住宅事情や家計が厳しく、出産・子育てに経費がかかりすぎる	47.2
6	結婚しない人やしたくてもできない人が増えた	41.3
7	結婚年齢が上昇した（晩婚化）	24.0
8	子どもを望んでいるができないなど、健康上の理由	7.5
9	子どもよりも仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた	16.0
10	将来に希望が持てない中、子どもを作りたくない	17.1
11	子育てが面倒で子どもを望まないという人が増えた	5.1
12	その他	2.6

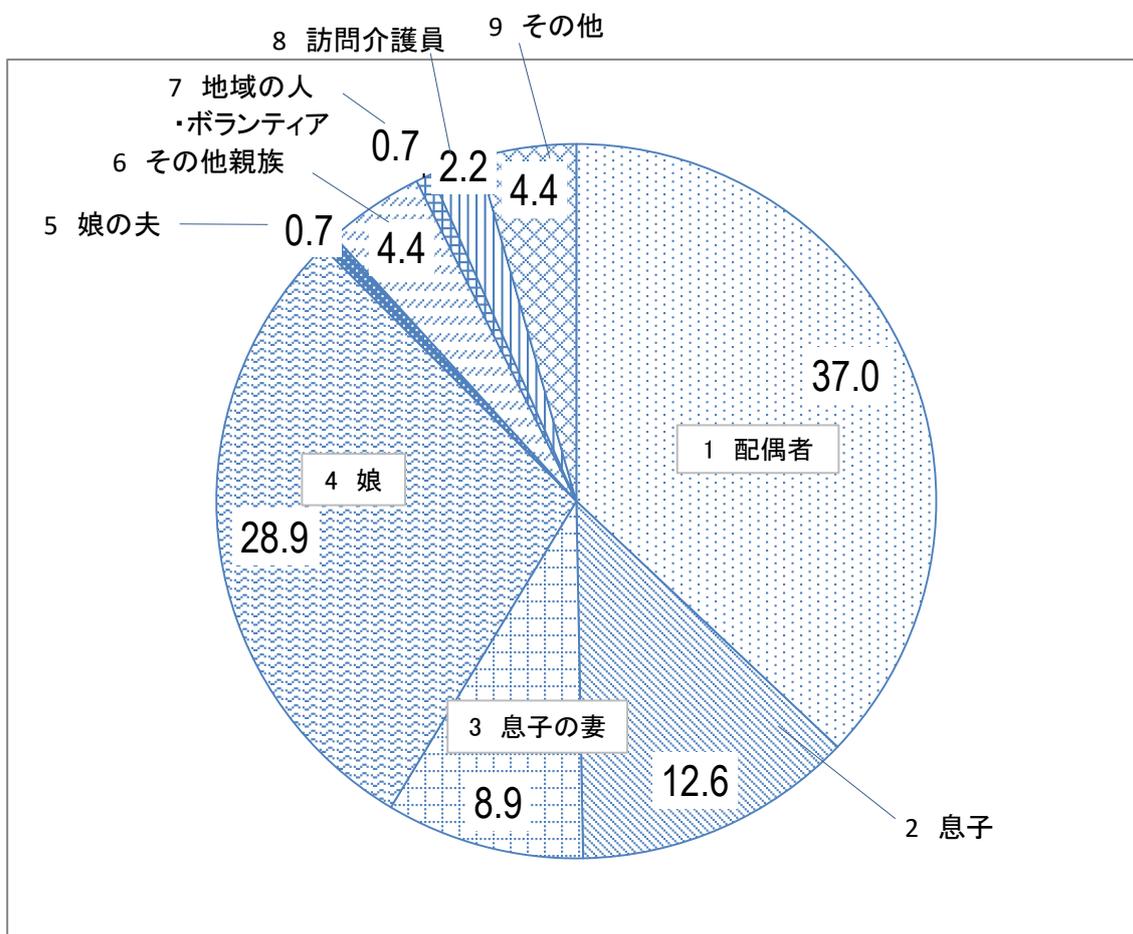


### 3.9 主な介護者

問9 主に介護しているのは、要介護者から見てどの関係に当たる方ですか。（○は1つだけ）

[n=135] 表中の数値は回答率(%)

1 配偶者・パートナー	37.0
2 息子	12.6
3 息子の妻	8.9
4 娘	28.9
5 娘の夫	0.7
6 その他の親族	4.4
7 地域の人・ボランティア	0.7
8 訪問介護員（ホームヘルパー）	2.2
9 その他	4.4

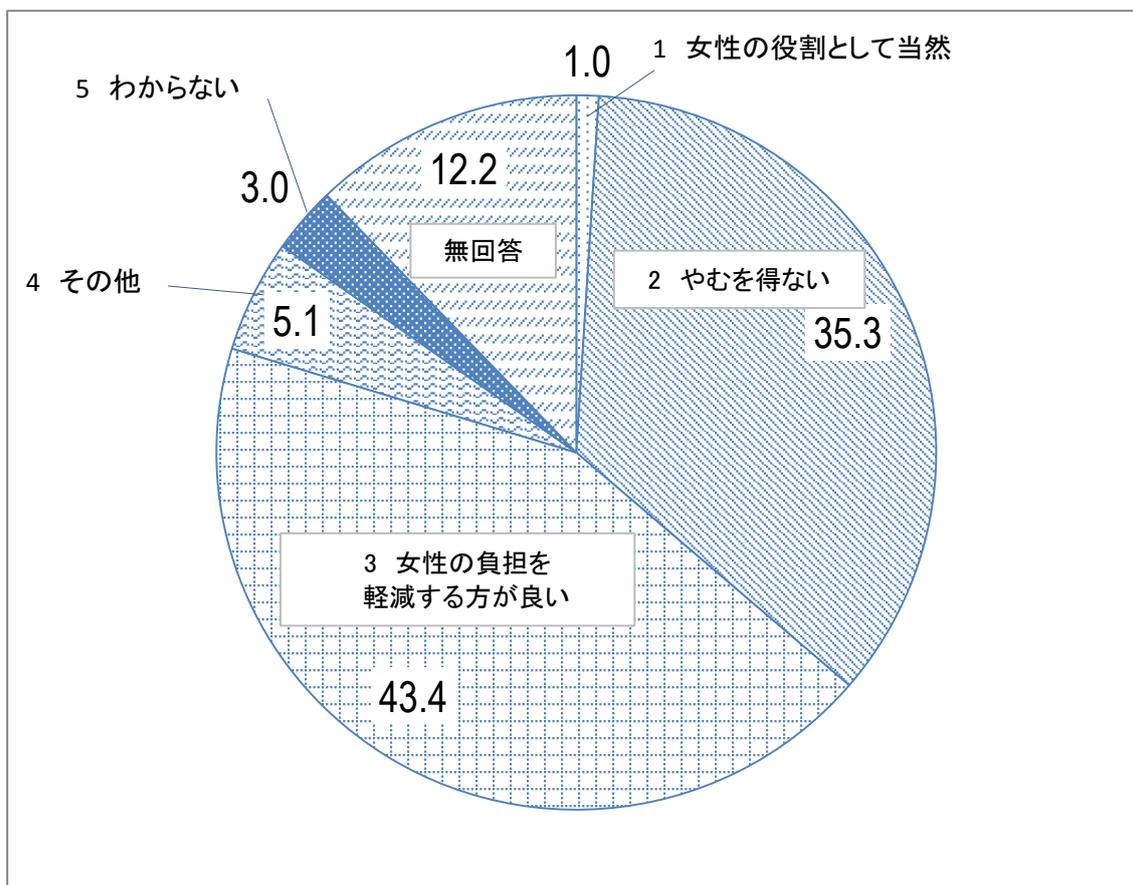


### 3.10 介護における女性の役割

問10 家庭で寝たきりになったお年寄りなどの介護は、女性（妻・嫁・娘など）が主たる担い手となることが多いですが、このことについてどう思いますか。  
（○は1つだけ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 女性の役割として当然	1.0
2 問題があるがやむを得ない	35.3
3 女性の負担を軽減する方が良い	43.4
4 その他	5.1
5 わからない	3.0
無回答	12.2

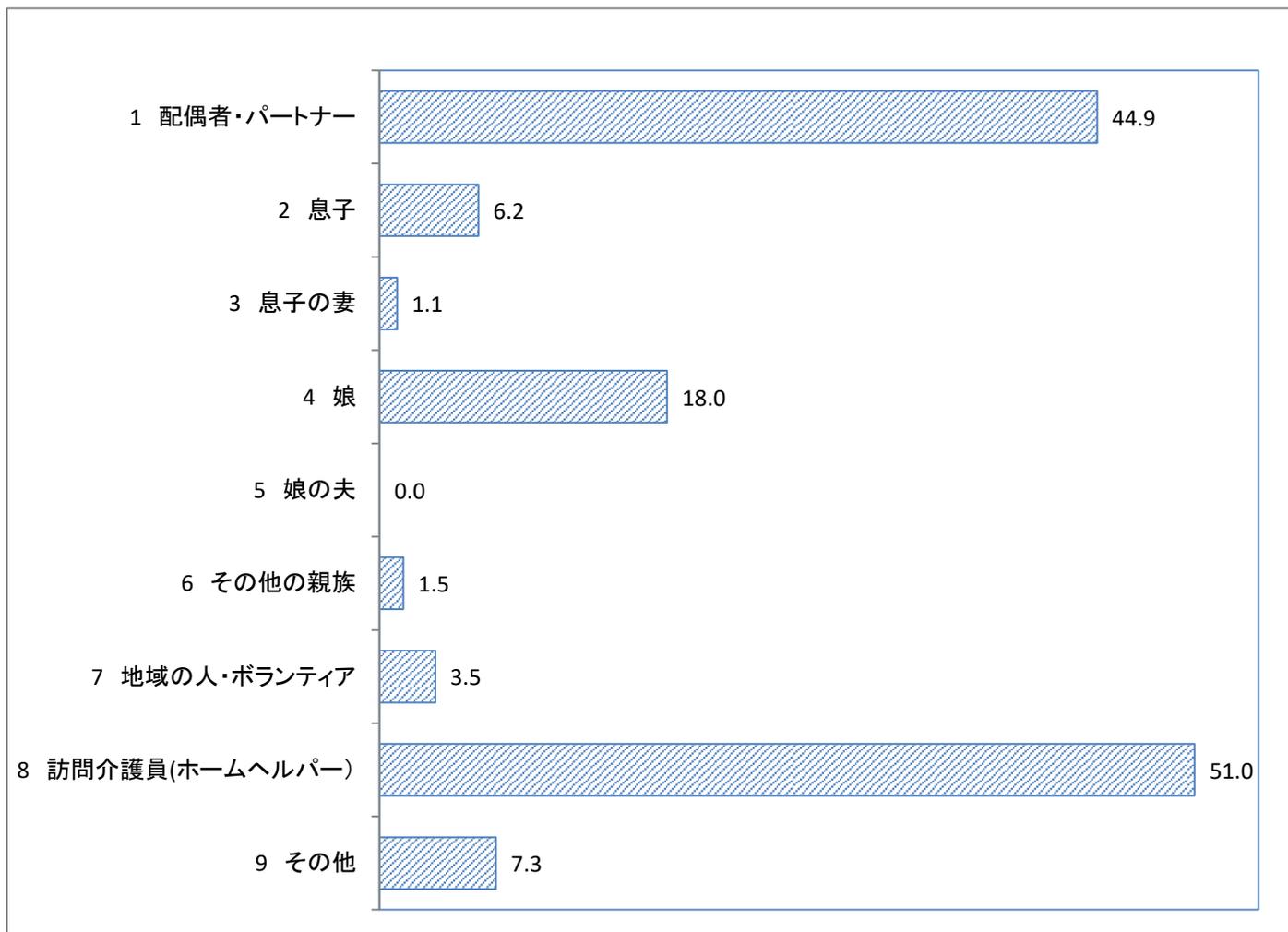


### 3.11 要介護状態になった場合の介護主体

問11 あなたは、自分が万一、介護が必要になったとき、誰に介護してほしいですか。  
(○は2つまで)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 配偶者・パートナー	44.9
2 息子	6.2
3 息子の妻	1.1
4 娘	18.0
5 娘の夫	0.0
6 その他の親族	1.5
7 地域の人・ボランティア	3.5
8 訪問介護員(ホームヘルパー)	51.0
9 その他	7.3

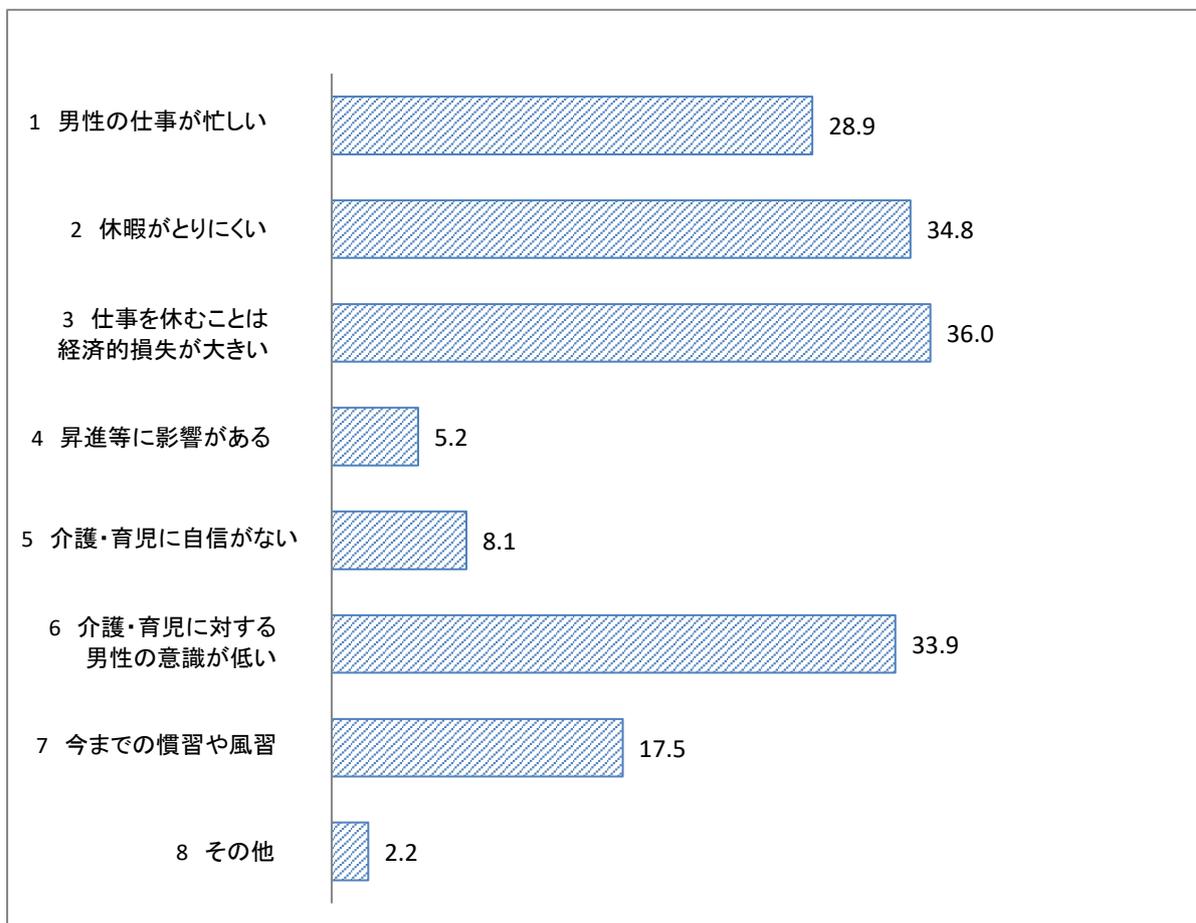


### 3.12 男性の育児や介護に関わる時間

問12 現在、男性が介護や育児に関わる時間が少ない状況にありますが、その理由は何だと思えますか。（〇は2つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 男性の仕事が忙しいから	28.9
2 休暇が取りにくいから	34.8
3 仕事を休むことにより経済的損失が大きいから	36.0
4 昇進等に影響があると思うから	5.2
5 介護・育児に自信がないから	8.1
6 介護・育児に対する男性の意識が低いから	33.9
7 今までの慣習や風習があるから	17.5
8 その他	2.2

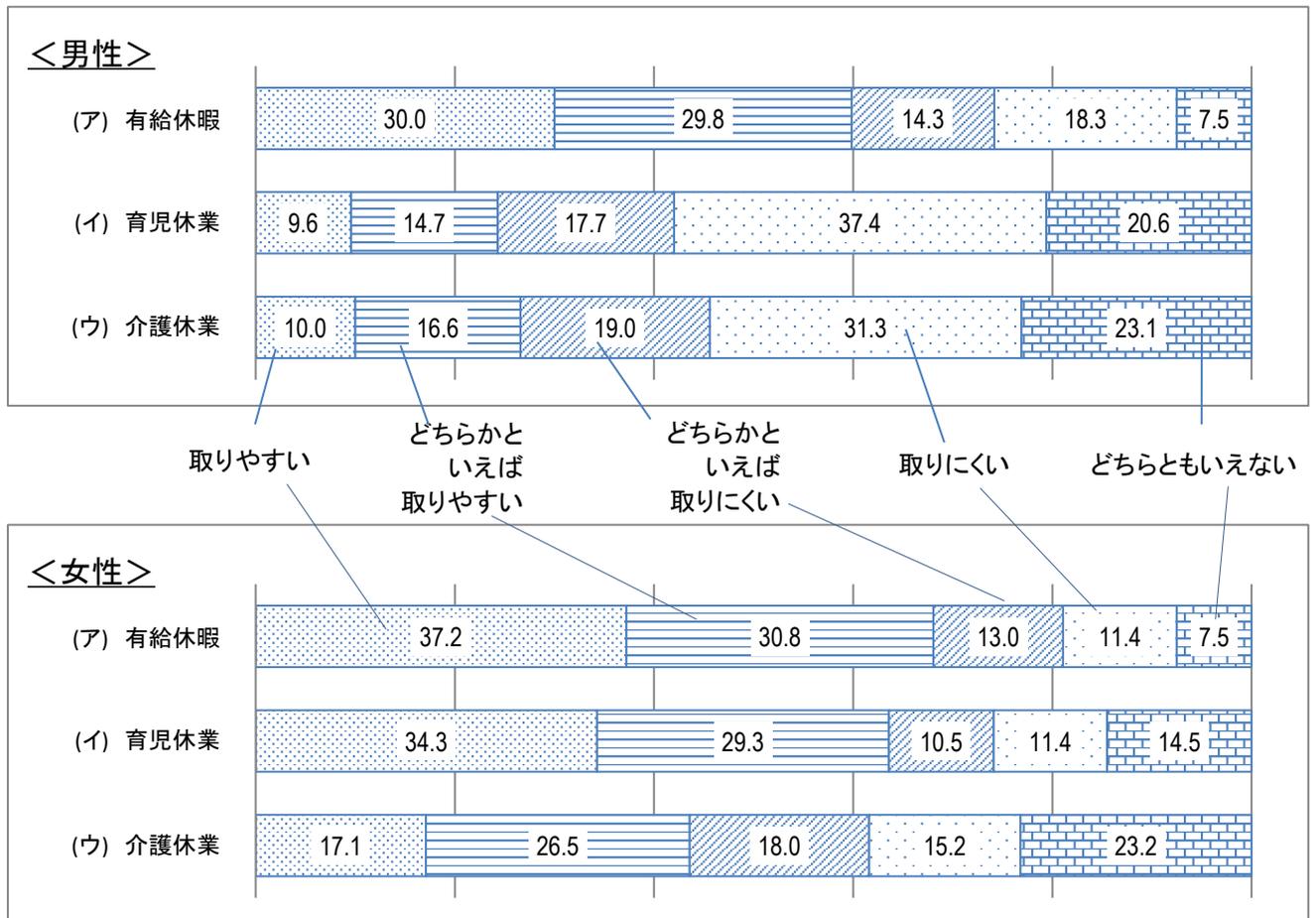


### 3.13 有給休暇や育児・介護休業等の利用しやすさ

問13 あなたの職場では、男性職員・女性職員それぞれについて有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。（○は各項目1つずつ）

※回答率は「該当しない」「無回答」を除いて構成比を再計算したもの。表中の数値は回答率（%）

		取りやすい	どちらかといえ 取りやすい	どちらかといえ 取りにくい	取りにくい	どちらとも いえない
男性	(ア) 有給休暇 [n=453]	30.0	29.8	14.3	18.3	7.5
	(イ) 育児休業 [n=436]	9.6	14.7	17.7	37.4	20.6
	(ウ) 介護休業 [n=441]	10.0	16.6	19.0	31.3	23.1
女性	(ア) 有給休暇 [N=438]	37.2	30.8	13.0	11.4	7.5
	(イ) 育児休業 [n=420]	34.3	29.3	10.5	11.4	14.5
	(ウ) 介護休業 [n=422]	17.1	26.5	18.0	15.2	23.2

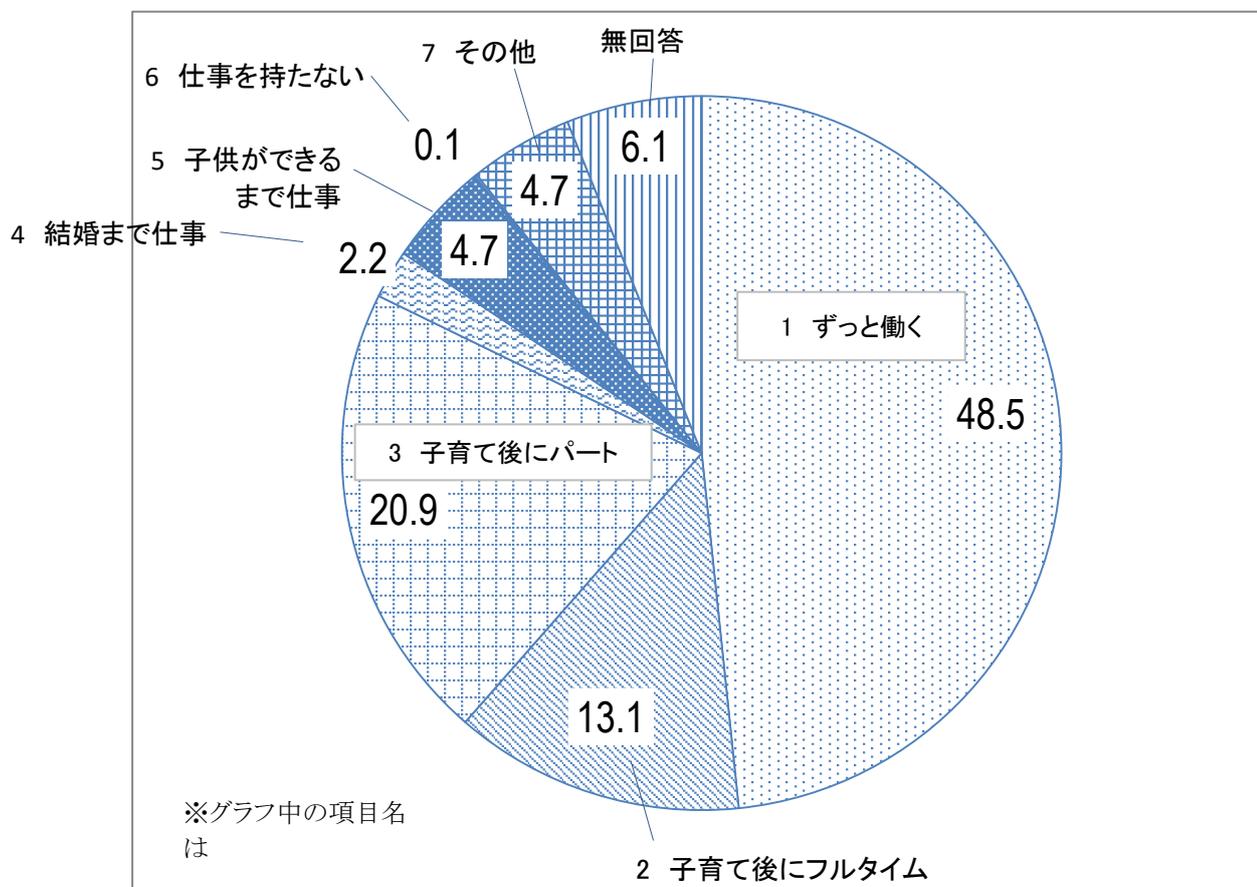


### 3.14 望ましい女性の働き方

問14 女性の働き方について、望ましいと思うのは次のどれですか。  
(○は1つだけ)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 結婚や出産、子育て中も、育児休業制度等を利用して仕事を続ける	48.5
2 子育ての時期だけ一時的に仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける	13.1
3 子育ての時期だけ一時的に仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続ける	20.9
4 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は仕事に就かない	2.2
5 子どもができるまで仕事を持ち、その後は仕事に就かない	4.7
6 仕事を持たない	0.1
7 その他	4.7
無回答	6.1

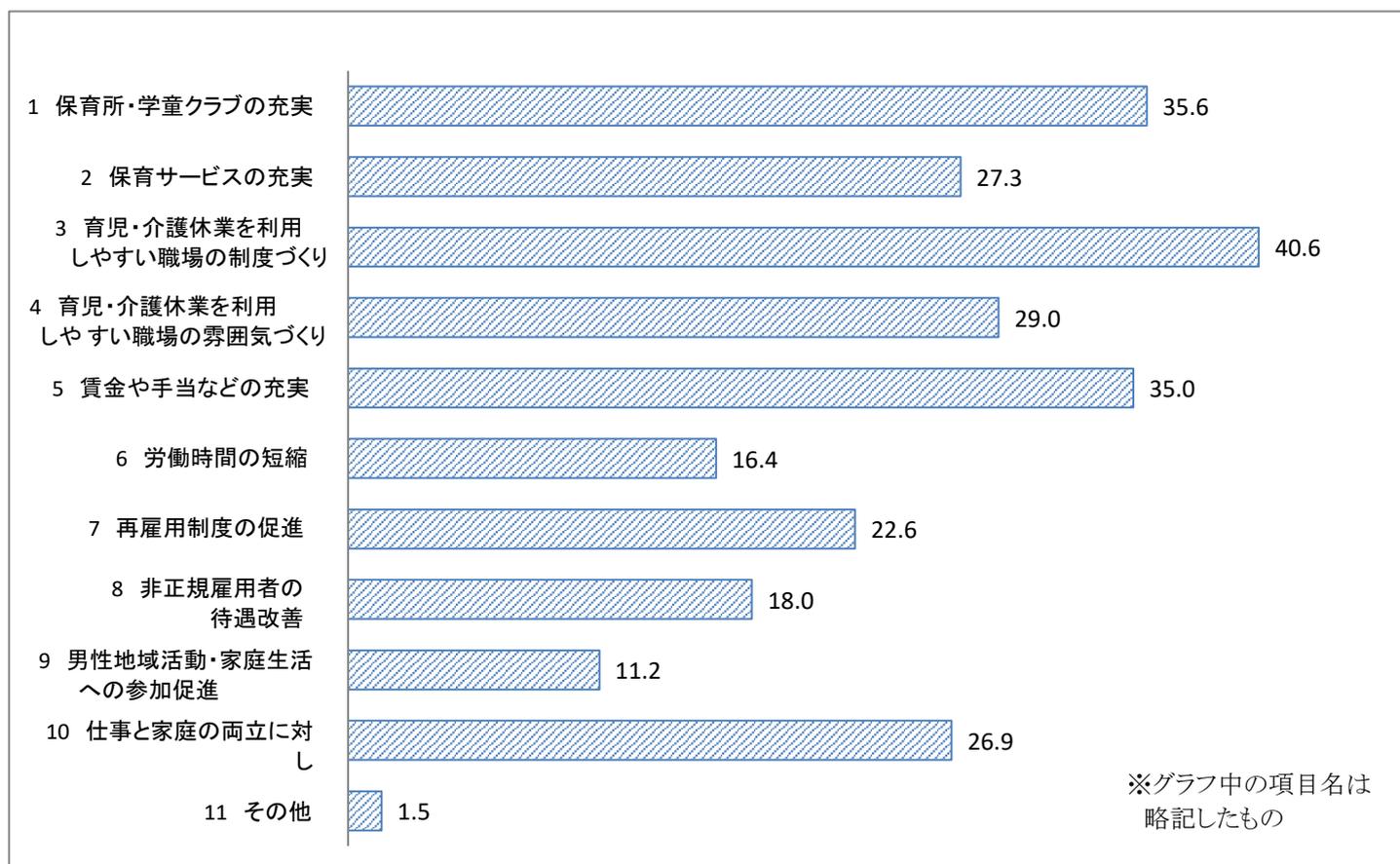


### 3.15 男女が仕事と家庭を両立するために必要なこと

問15 あなたは、性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 保育所や放課後児童クラブ（学童保育）の充実	35.6
2 保育時間の延長、病児保育など保育サービスの充実	27.3
3 育児・介護休業制度の利用や有給休暇の取得がしやすい職場の制度づくり	40.6
4 育児・介護休業制度の利用や有給休暇の取得がしやすい職場の雰囲気づくり	29.0
5 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実	35.0
6 残業時間の削減や長期休暇の取得奨励など労働時間の短縮	16.4
7 結婚・育児・介護のために退職した職員の再雇用制度の促進	22.6
8 パートタイマーなど非正規雇用者の待遇改善	18.0
9 男性の地域社会活動や家庭生活への参加促進	11.2
10 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること	26.9
11 その他	1.5

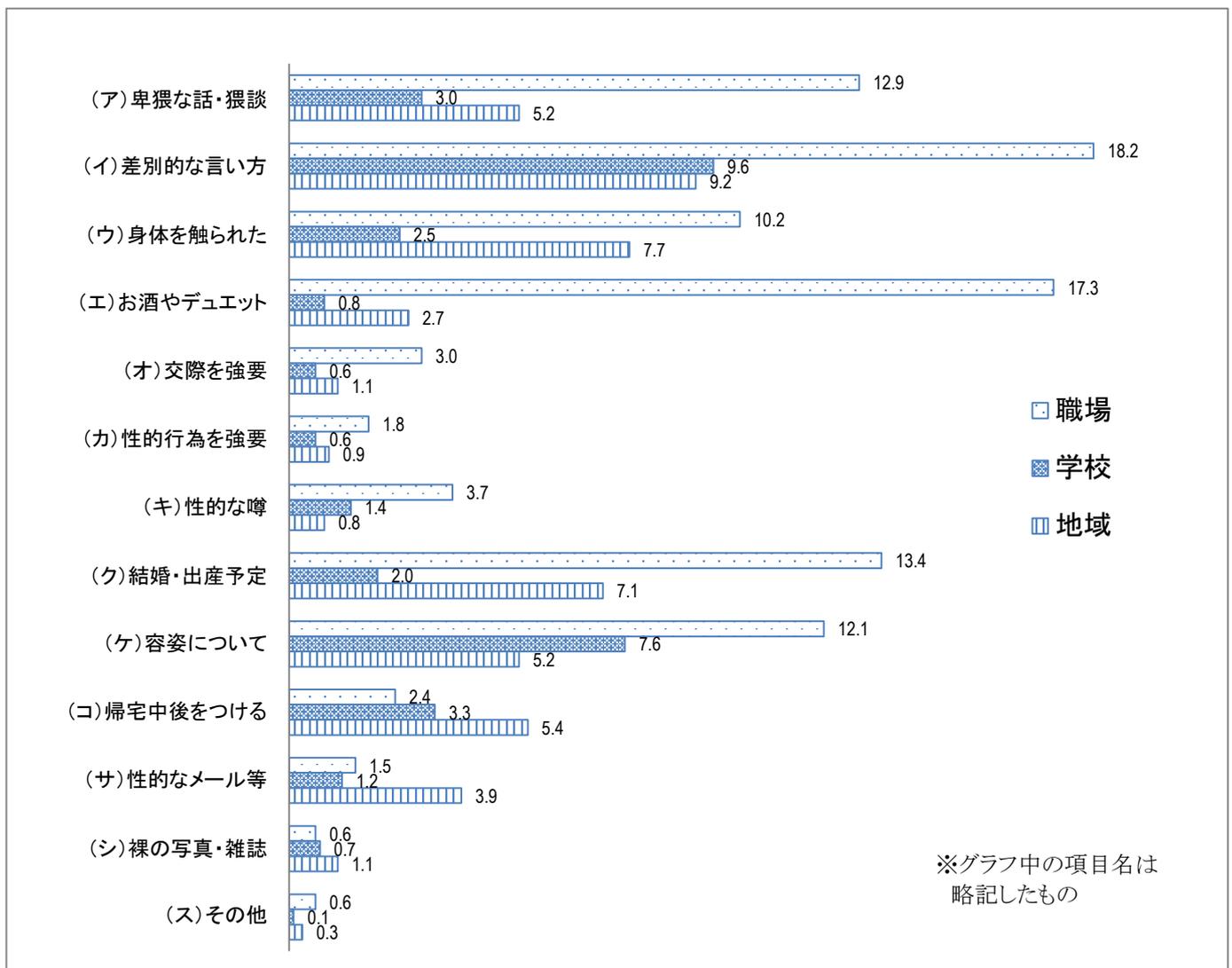


### 3.16 セクシャル・ハラスメントの現状

問16 これまでに、職場・学校・地域で次のような経験をしたことがありますか。  
(○は職場、学校、地域ごとに当てはまるものすべて)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

	職場	学校	地域
(ア) いやがっているのに卑猥な話や猥談を聞かされた	12.9	3.0	5.2
(イ) 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた	18.2	9.6	9.2
(ウ) 異性に身体を触られた・じろじろ見られた	10.2	2.5	7.7
(エ) 宴会でお酒やデュエットを強要された	17.3	0.8	2.7
(オ) 交際を強要された	3.0	0.6	1.1
(カ) 性的な行為を強要された	1.8	0.6	0.9
(キ) 性的な噂をたてられた	3.7	1.4	0.8
(ク) 異性との交際関係や結婚、出産についてたびたび聞かれた	13.4	2.0	7.1
(ケ) 自分の容姿について意見を言われた	12.1	7.6	5.2
(コ) 帰宅途中、後をつけられた	2.4	3.3	5.4
(サ) 性的な内容のメール (LINE等のSNSを含む) や手紙、電話を受けた	1.5	1.2	3.9
(シ) 裸の写真や卑猥な雑誌を目に付くところに張られた・見せられた	0.6	0.7	1.1
(ス) その他	0.6	0.1	0.3

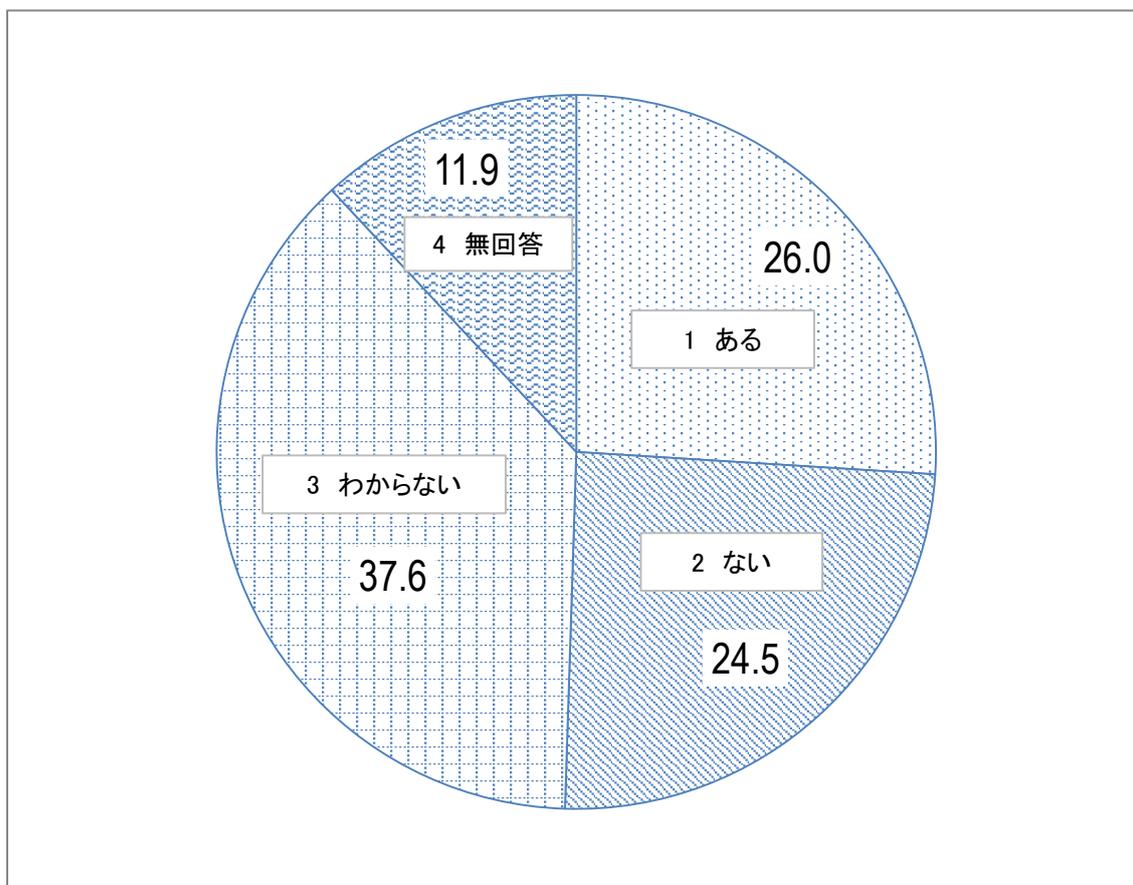


### 3.17 セクシャル・ハラスメントの相談窓口

問17 あなたの職場・学校・地域には、セクシュアル・ハラスメントの相談を受け付ける窓口がありますか。（○は1つだけ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 ある	26.0
2 ない	24.5
3 わからない	37.6
4 無回答	11.9

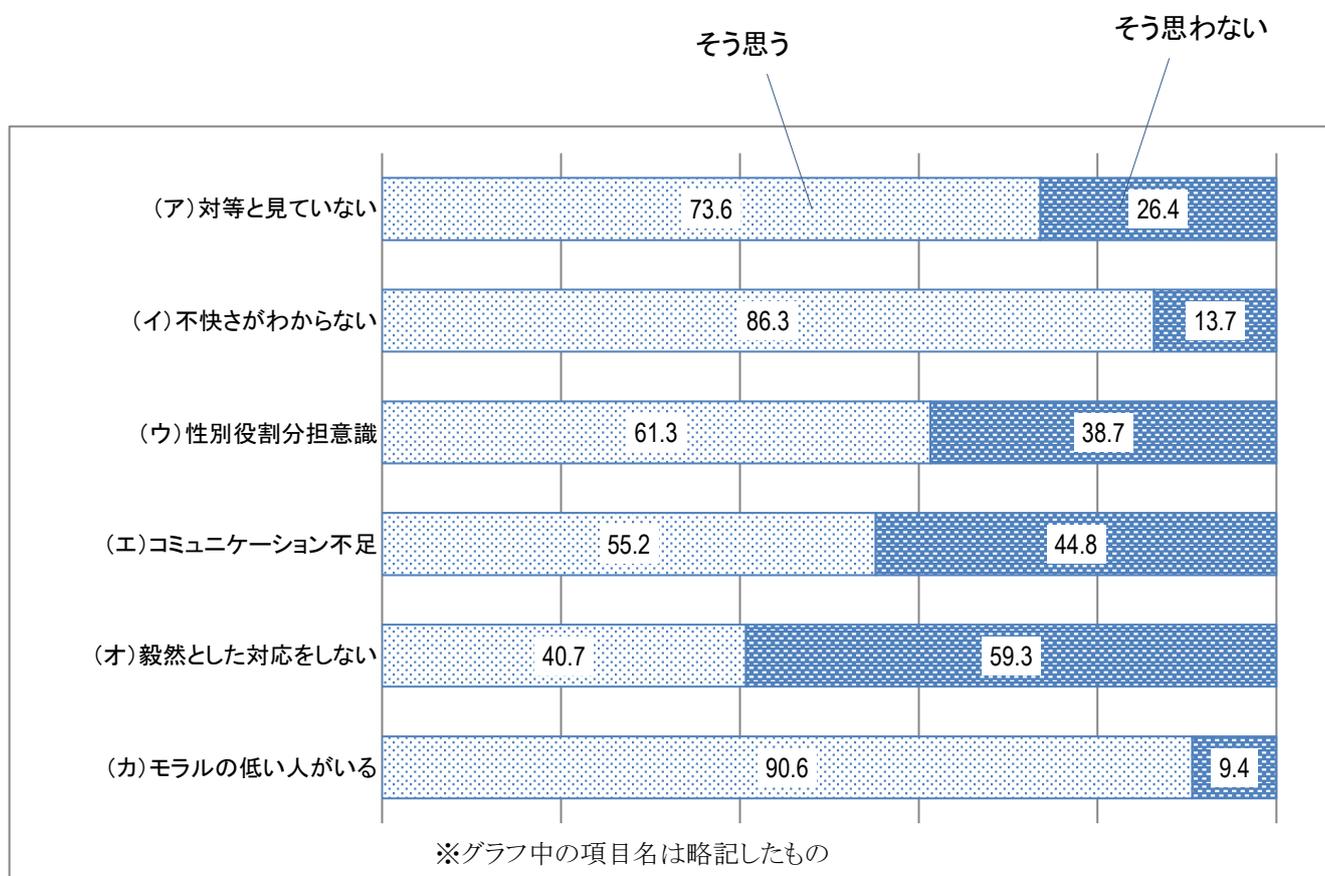


### 3.18 セクシャル・ハラスメントの原因

問18 セクシュアル・ハラスメントが起こる原因は何だと思いますか。  
(○は各項目1つずつ)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

	そう思う	そうは 思わない	無回答
(ア) 相手を対等な人間として見ていないから	61.9	22.2	15.9
(イ) 性的言動を相手が不快に思うことがわかっていないから	72.4	11.5	16.1
(ウ) 固定的な性別役割分担意識にとらわれすぎているから	49.7	31.3	18.9
(エ) 日常的なコミュニケーションが不足しているから	45.9	37.2	16.9
(オ) 受ける側が毅然とした対応をしないから	33.8	49.2	17.0
(カ) 一部にモラルの低い人がいるから	75.4	7.8	16.8
(キ) その他	1.8	0.0	98.2
(ク) 分からない	2.0	0.0	98.0



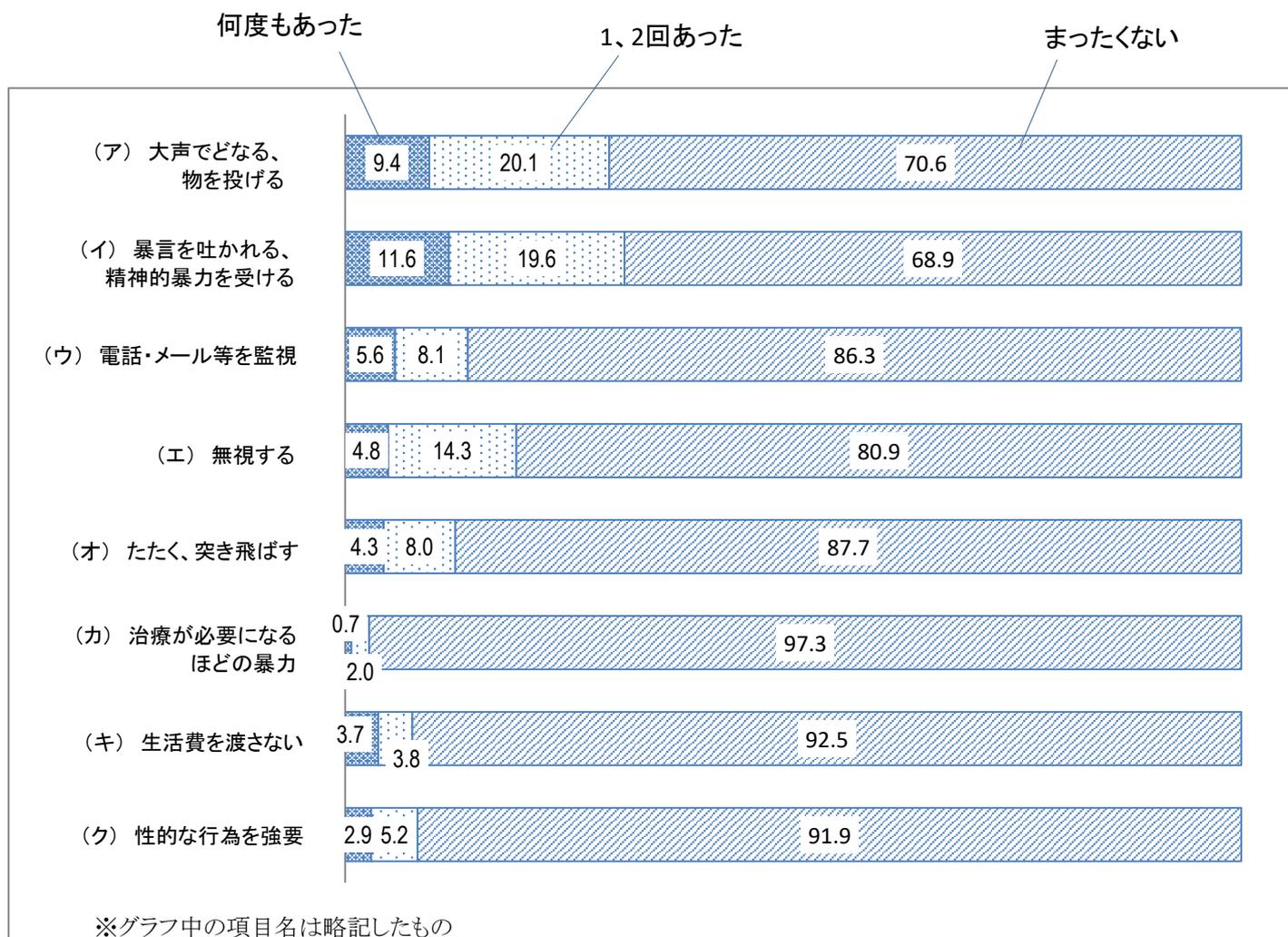
※回答率は「その他」「わからない」「無回答」を除いて再計算したもの

### 3.19 ドメスティック・バイオレンスの現状

問19 今までに、夫・妻・恋人などの親密な関係にあるパートナーから次のようなことを受けたことがありますか（○は各項目1つずつ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

	何度もあった	1,2回あった	まったくない	無回答
(ア) 大声でどなられる、物を投げられる	8.6	18.4	64.7	8.3
(イ) 暴言を吐かれる、馬鹿にされるなど、精神的暴力を受ける	10.5	17.8	62.7	9.0
(ウ) 交友関係や電話・メール、外出などを細かく監視される	5.1	7.3	78.0	9.7
(エ) 何を言っても無視される	4.3	13.0	73.7	8.9
(オ) たたく、突き飛ばすなどの肉体的暴力を受ける	3.9	7.3	79.7	9.1
(カ) 医療機関での治療が必要となるほど深刻な暴力を受ける	0.6	1.8	88.0	9.6
(キ) 生活費を渡されない	3.3	3.4	83.7	9.5
(ク) 性的な行為を強要される、避妊に協力してもらえない	2.6	4.7	82.6	10.1
(ケ) その他	0.2	0.1	28.0	71.7



※回答率は「その他」「無回答」を除いて再計算したもの

問19-1 これまでに、問19. で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。（〇は1つだけ）

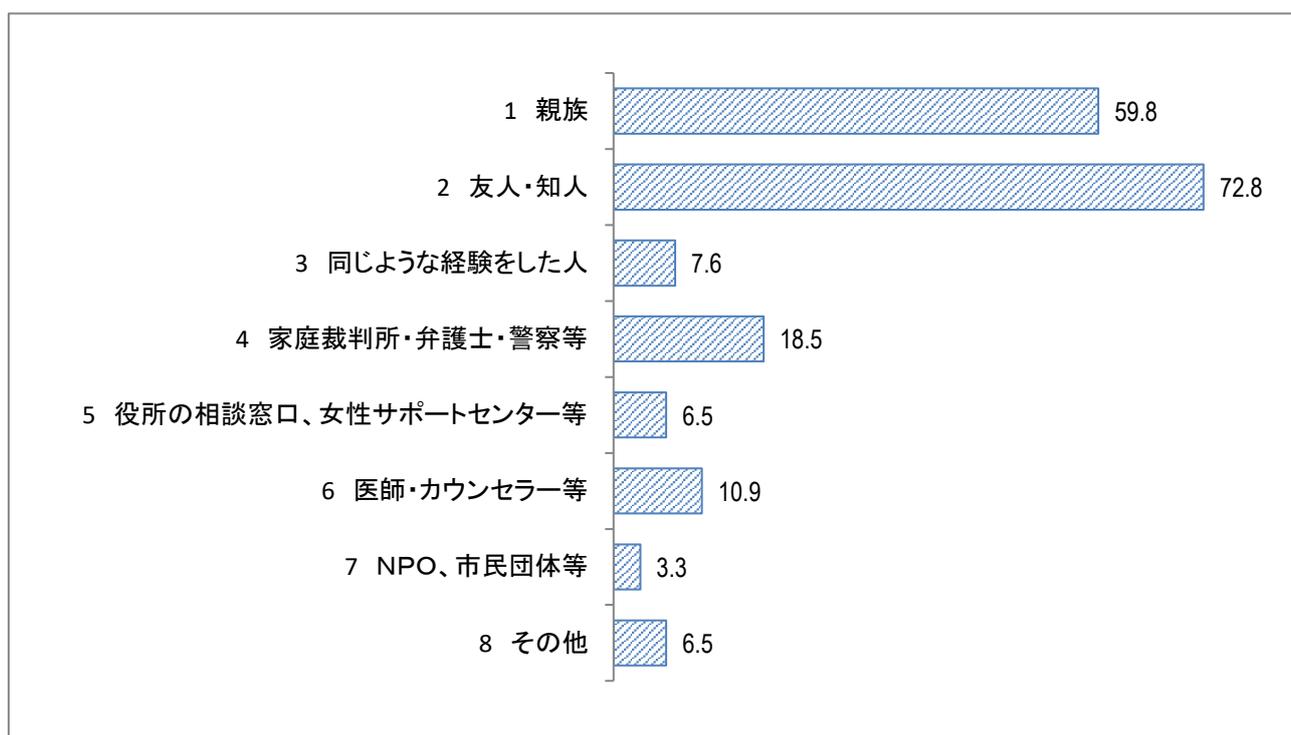
[n=373] 表中の数値は回答率(%)

1 相談した	24.7
2 相談したかったが、しなかった	15.3
3 相談しようとは思わなかった	60.1

問19-2 実際に、誰に（どこに）相談しましたか。（〇は当てはまるものすべて）

[n=92] 表中の数値は回答率(%)

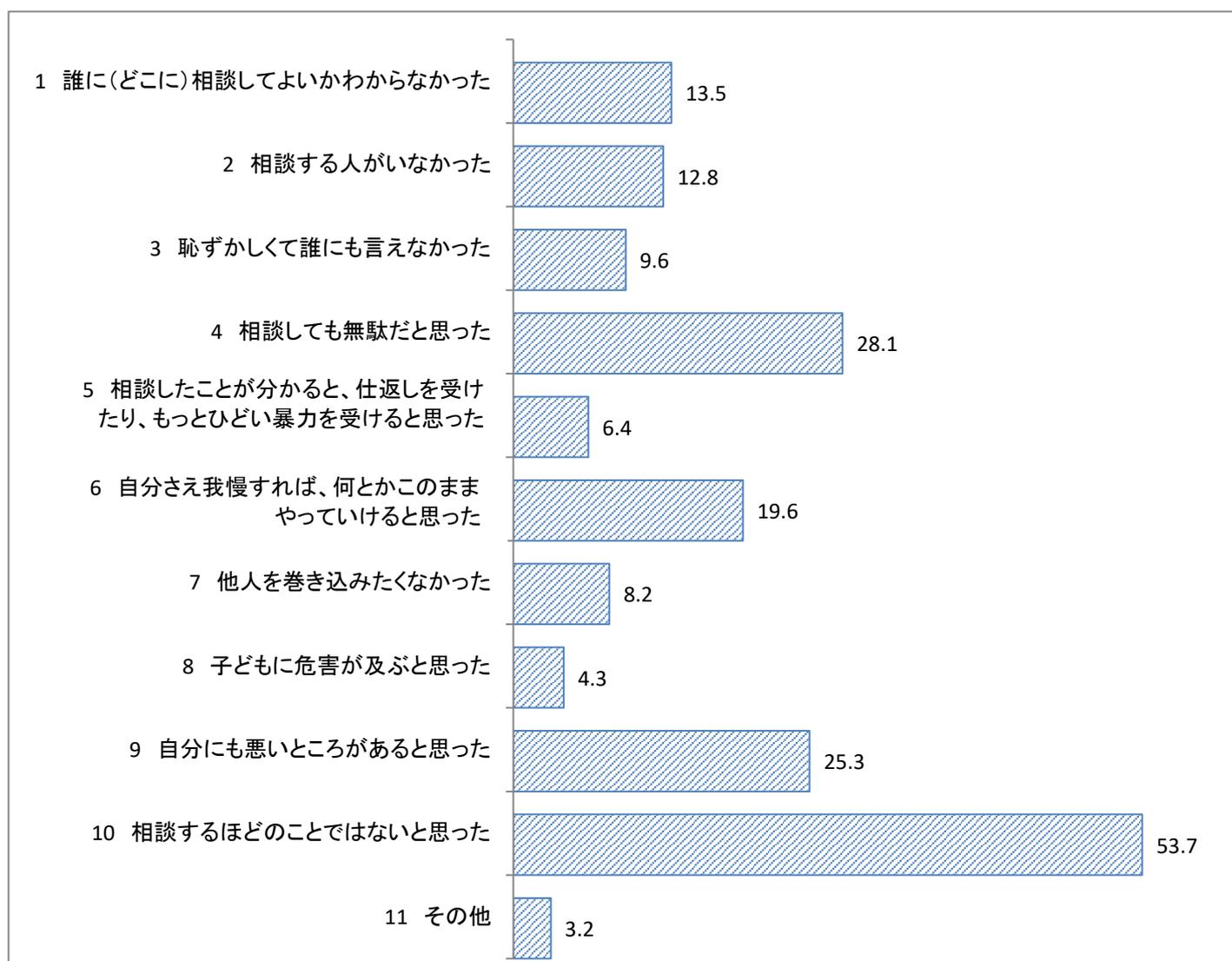
1 親族	59.8
2 友人・知人	72.8
3 同じような経験をした人	7.6
4 家庭裁判所・弁護士・警察等	18.5
5 役所の相談窓口、女性サポートセンター等	6.5
6 医師・カウンセラー等	10.9
7 NPO、市民団体等	3.3
8 その他	6.5



問19-3 誰（どこ）にも相談しなかったのは、なぜですか。  
 （○は当てはまるものすべて）

[n=281] 表中の数値は回答率(%)

1 誰に（どこに）相談してよいかわからなかった	13.5
2 相談する人がいなかった	12.8
3 恥ずかしくて誰にも言えなかった	9.6
4 相談しても無駄だと思った	28.1
5 相談したことが分かると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った	6.4
6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていたらと思った	19.6
7 他人を巻き込みたくなかった	8.2
8 子どもに危害が及ぶと思った	4.3
9 自分にも悪いところがあると思った	25.3
10 相談するほどのことではないと思った	53.7
11 その他	3.2

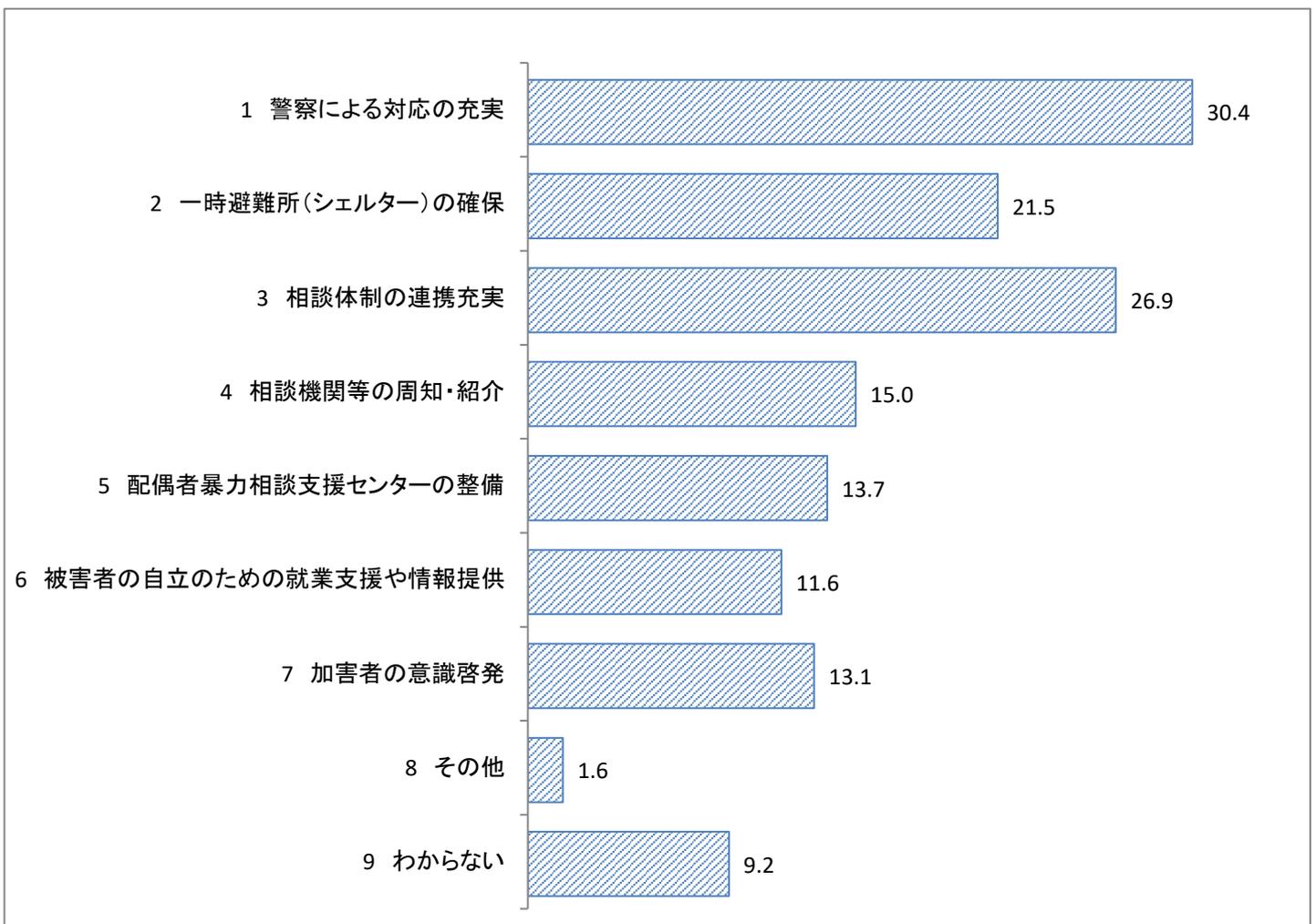


### 3.20 ドメスティック・バイオレンスへの対応

問20 夫・妻・恋人などの親密な関係にあるパートナーからの暴力について、今後行政に対して特にどのような対応を望みますか(○は2つまで)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

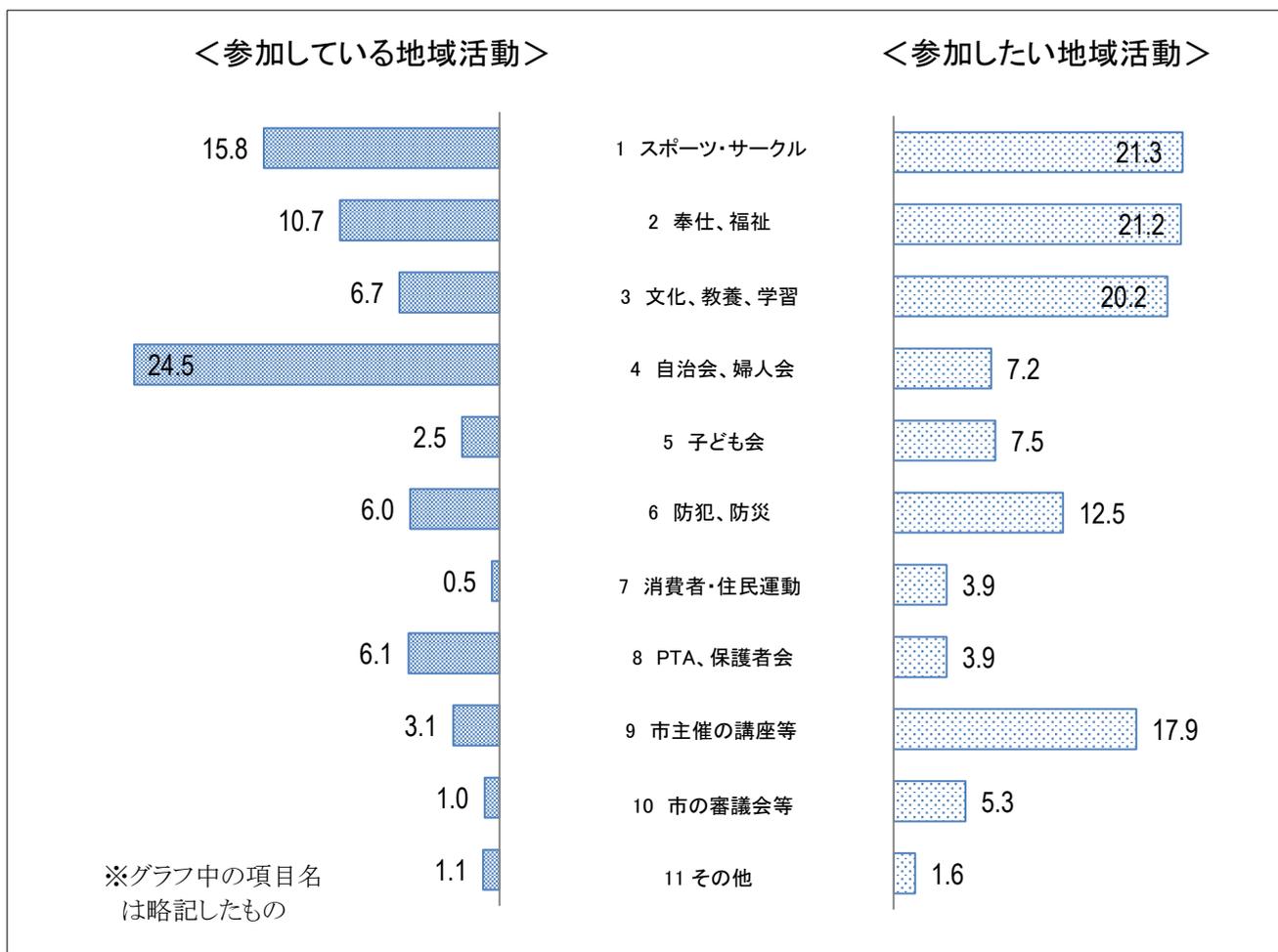
1 警察による対応の充実	30.4
2 一時避難所(シェルター)の確保	21.5
3 相談体制の連携充実	26.9
4 相談機関等の周知・紹介	15.0
5 配偶者暴力相談支援センターの整備	13.7
6 被害者の自立のための就業支援や情報提供	11.6
7 加害者の意識啓発	13.1
8 その他	1.6
9 わからない	9.2



### 3.21 地域活動への参加状況

問21 次の地域活動の中で、「現在参加しているもの」、「今後参加したいもの」について、それぞれ選んでください。（〇は当てはまるものすべて）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)		現在参加している	今後参加したい
1	スポーツ・サークル活動	15.8	21.3
2	ボランティア活動、福祉活動	10.7	21.2
3	文化、教養、学習活動	6.7	20.2
4	自治会、婦人会、長寿クラブ	24.5	7.2
5	子ども会活動	2.5	7.5
6	防犯・防災活動	6.0	12.5
7	消費者運動・住民運動	0.5	3.9
8	P T Aの役員、学校等の保護者会	6.1	3.9
9	市が行う講座・講演会等への参加	3.1	17.9
10	市の審議会等の委員	1.0	5.3
11	その他	1.1	1.6

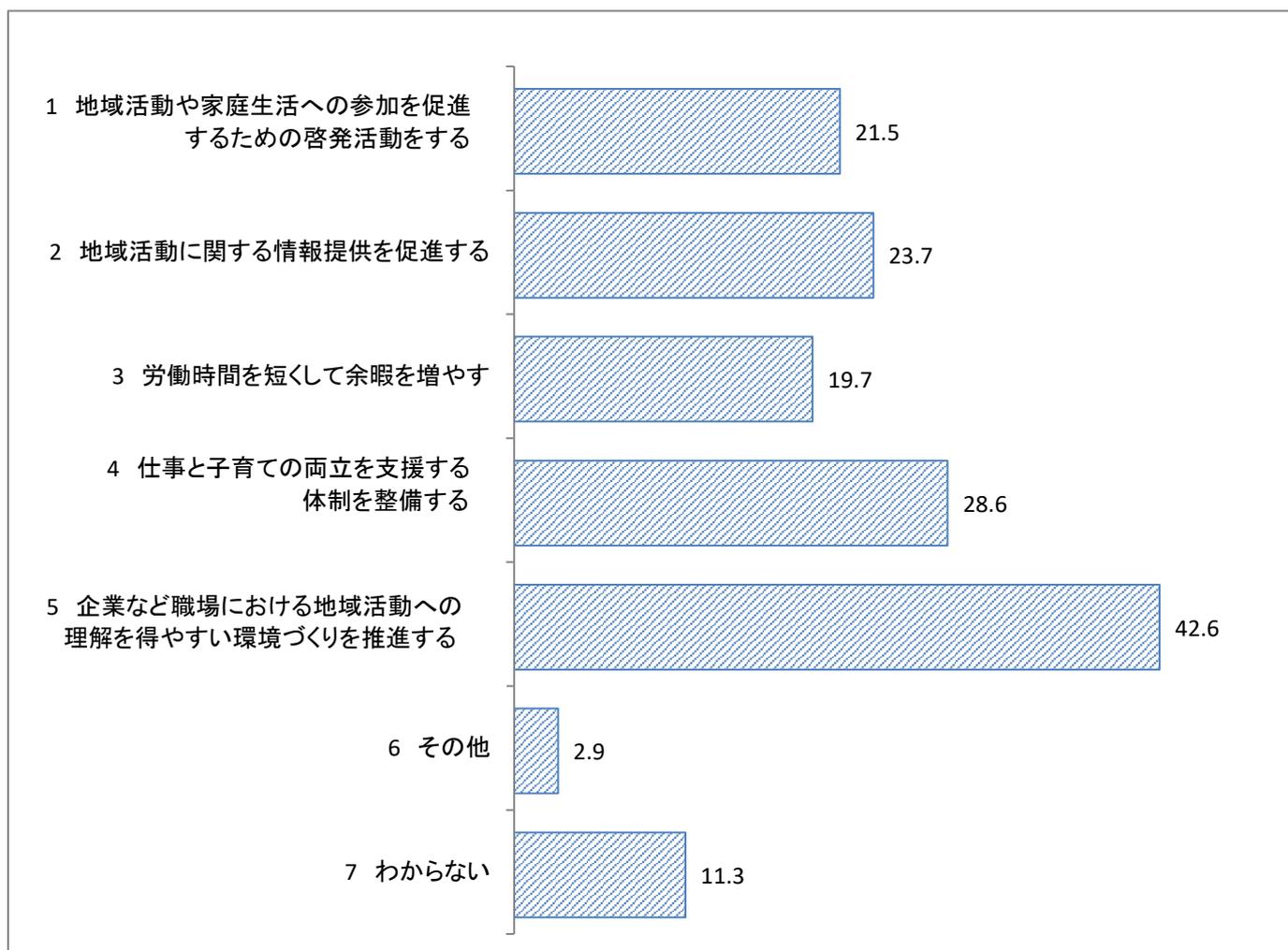


### 3.22 男性の地域活動・家庭生活への参加促進

問22 これまで男性は、地域活動や家庭生活への参加が比較的少なかったと言われています。地域活動や家庭生活への男性の参加を促進するためには、何が重要だと思いますか。(〇は2つまで)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 地域活動や家庭生活への参加を促進するための啓発活動をする	21.5
2 地域活動に関する情報提供を促進する	23.7
3 労働時間を短くして余暇を増やす	19.7
4 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	28.6
5 企業など職場における地域活動への理解を得やすい環境づくりを推進する	42.6
6 その他	2.9
7 わからない	11.3

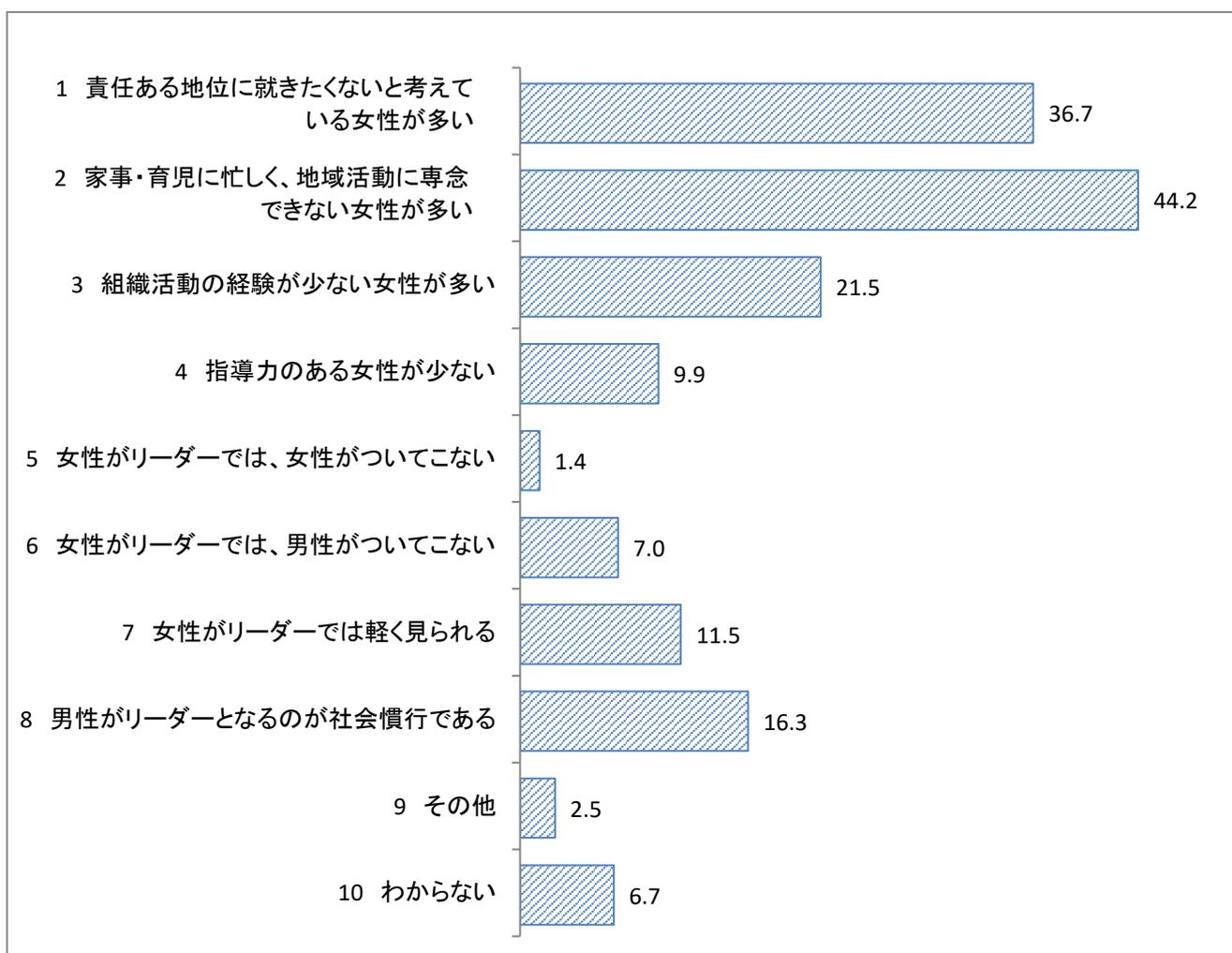


### 3.23 女性リーダーが少ない理由

問23 自治会やPTAなどの活動では、会長や副会長などのリーダーに女性が少ない傾向にありますが、その原因は何だと思いますか。（〇は2つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 責任ある地位に就きたくないと考えている女性が多い	36.7
2 家事・育児に忙しく、地域活動に専念できない女性が多い	44.2
3 組織活動の経験が少ない女性が多い	21.5
4 指導力のある女性が少ない	9.9
5 女性がリーダーでは、女性がついてこない	1.4
6 女性がリーダーでは、男性がついてこない	7.0
7 女性がリーダーでは軽く見られる	11.5
8 男性がリーダーとなるのが社会慣行である	16.3
9 その他	2.5
10 わからない	6.7

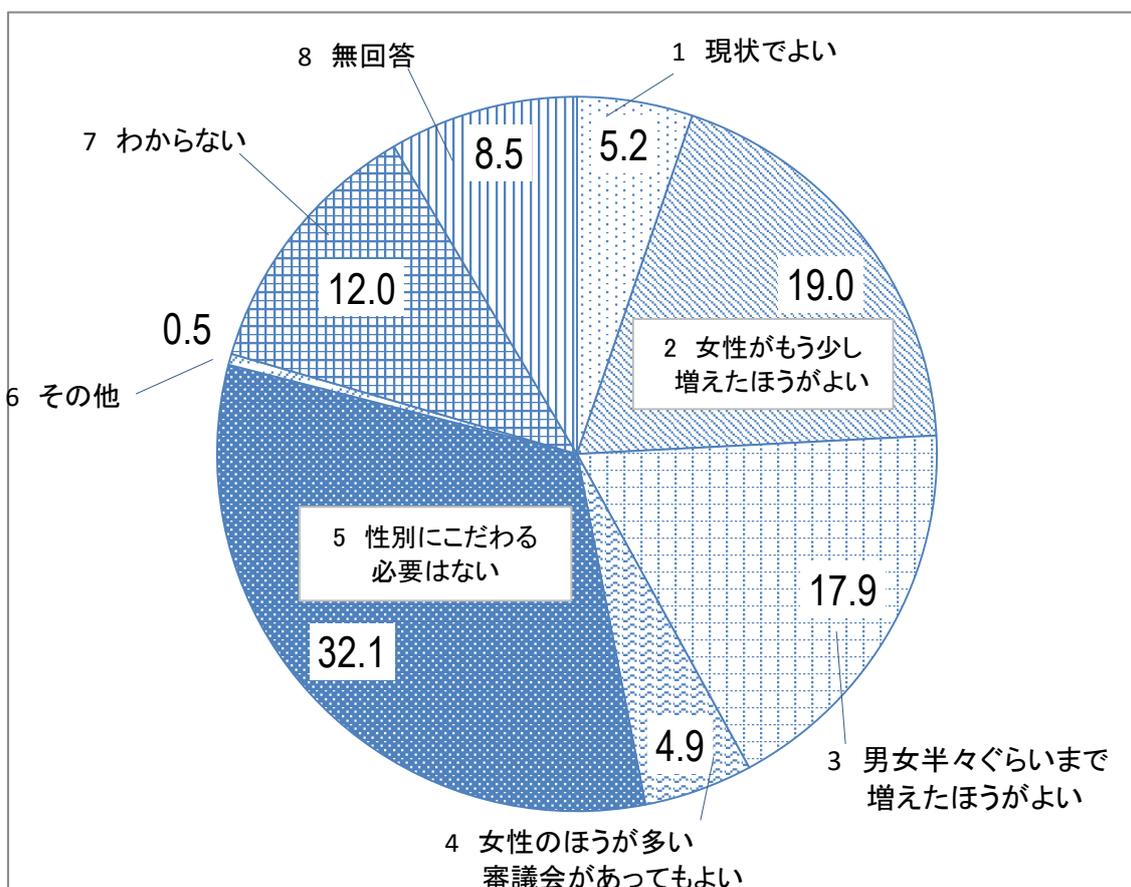


### 3.24 審議会等への女性委員の登用状況

問24 茂原市では、審議会等の女性委員の登用率を30%まで引き上げるという数値目標を設定していますが、平成30年度は23.4%となっています。このことについてあなたはどのように思いますか。（〇は1つだけ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 現状でよい	5.2
2 女性がもう少し増えたほうがよい	19.0
3 男女半々ぐらいまで増えたほうがよい	17.9
4 女性のほうが多い審議会があってもよい	4.9
5 性別にこだわる必要はない	32.1
6 その他	0.5
7 わからない	12.0
8 無回答	8.5

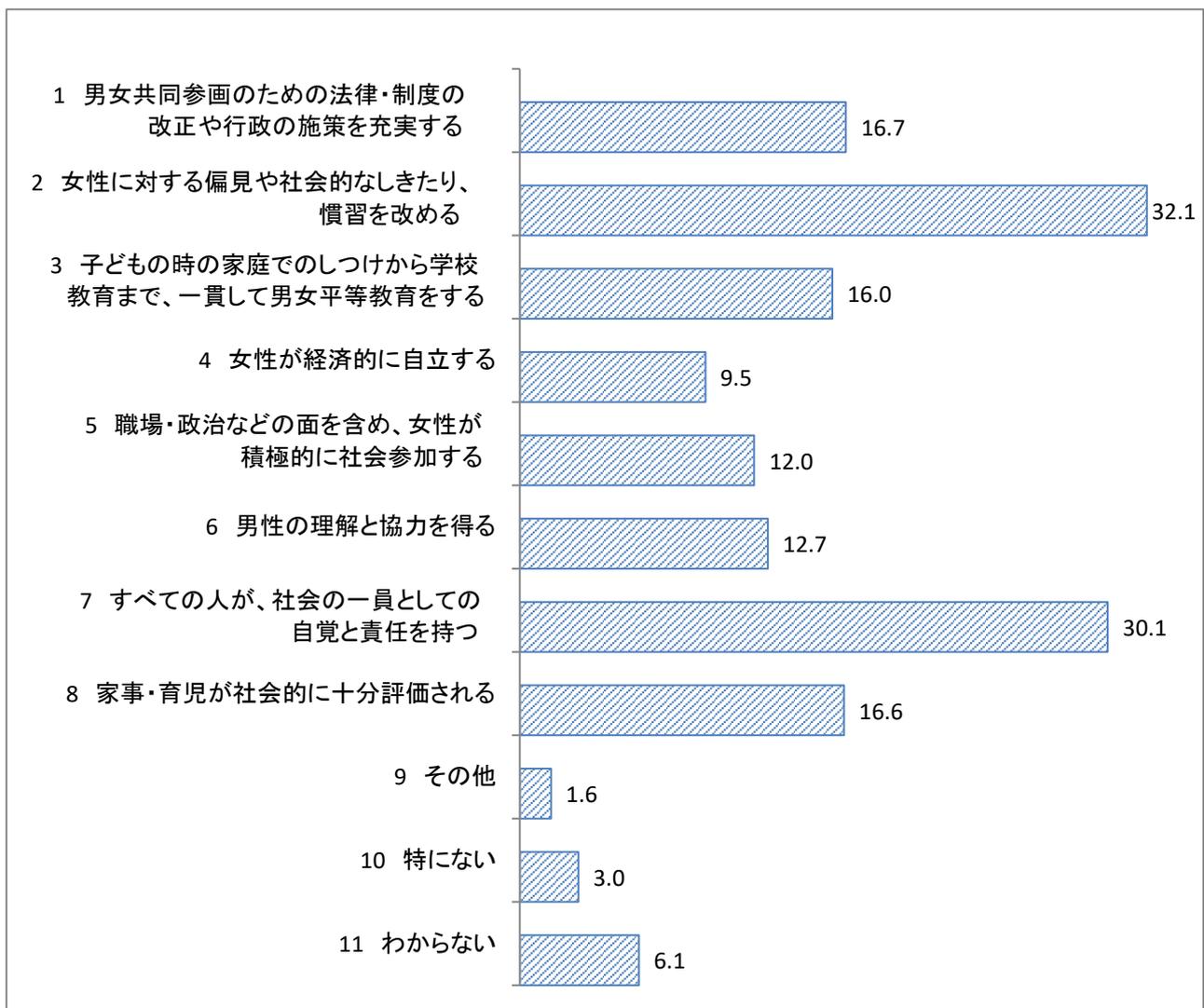


### 3.25 男女共同参画社会の実現に向けて必要なこと

問25 女性の社会参加を進め、男女があらゆる分野で平等な立場で協力しあっているためには、どんなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 男女共同参画のための法律・制度の改正や行政の施策を充実する	16.7
2 女性に対する偏見や社会的なしきたり、慣習を改める	32.1
3 子どもの時の家庭でのしつけから学校教育まで、一貫して男女平等教育をする	16.0
4 女性が経済的に自立する	9.5
5 職場・政治などの面を含め、女性が積極的に社会参加する	12.0
6 男性の理解と協力を得る	12.7
7 すべての人が、社会の一員としての自覚と責任を持つ	30.1
8 家事・育児が社会的に十分評価される	16.6
9 その他	1.6
10 特にない	3.0
11 わからない	6.1

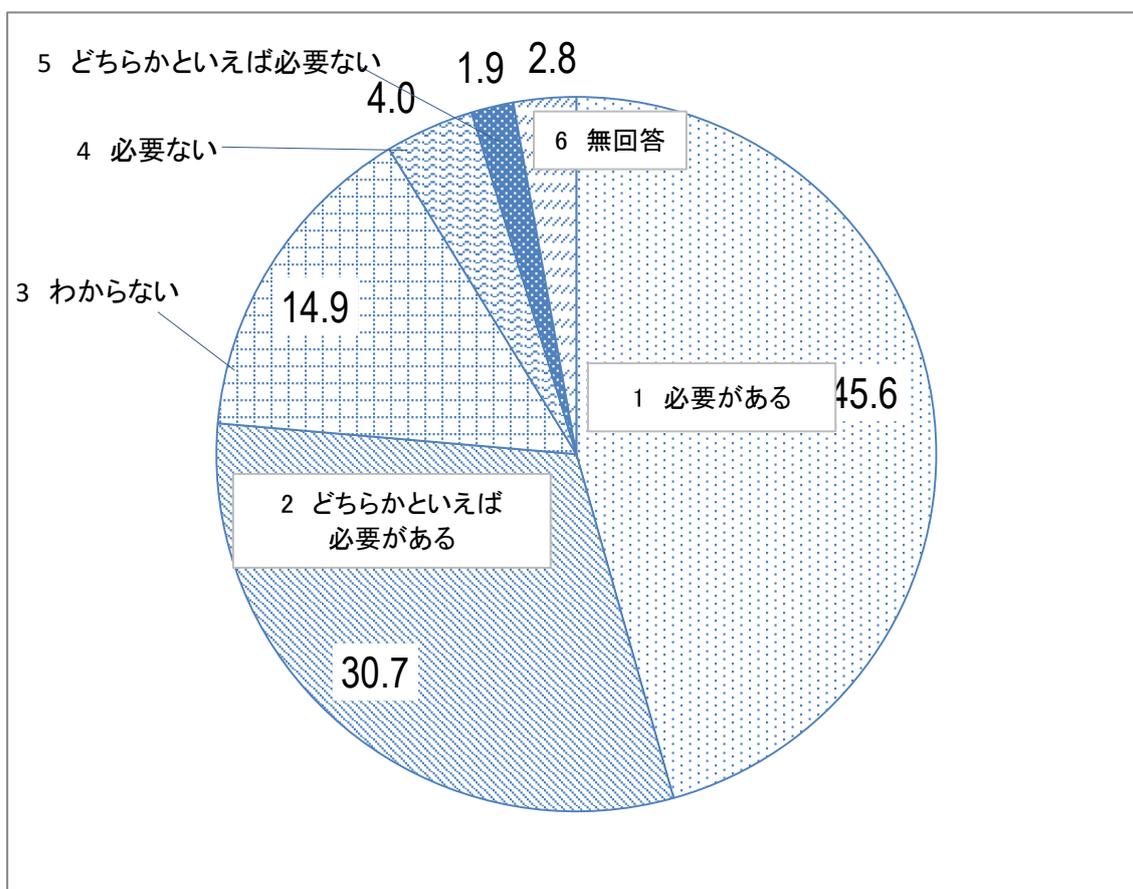


### 3.26 防災・災害復興対策への女性の視点に配慮した対応について

問26 あなたは、防災・災害復興対策に、女性の視点に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。（○は1つだけ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 必要がある	45.6
2 どちらかといえば必要がある	30.7
3 わからない	14.9
4 必要ない	4.0
5 どちらかといえば必要ない	1.9
6 無回答	2.8

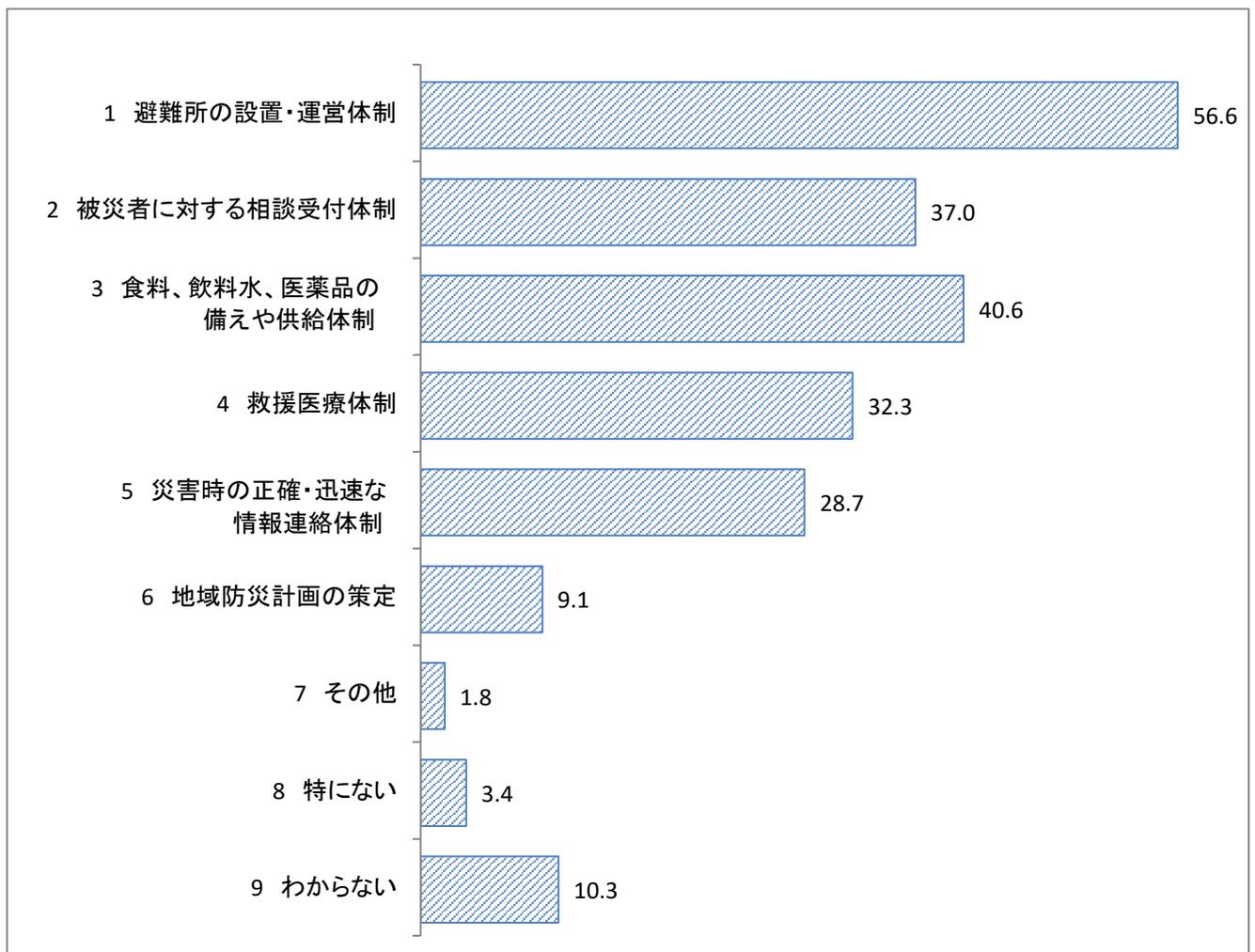


### 3.27 防災・災害復興対策で女性の視点が必要なこと

問27 防災・災害復興対策で、女性の視点到配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。(○は3つまで)

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 避難所の設置・運営体制	56.6
2 被災者に対する相談受付体制	37.0
3 食料、飲料水、医薬品の備えや供給体制	40.6
4 救援医療体制	32.3
5 災害時の正確・迅速な情報連絡体制	28.7
6 地域防災計画の策定	9.1
7 その他	1.8
8 特にない	3.4
9 わからない	10.3

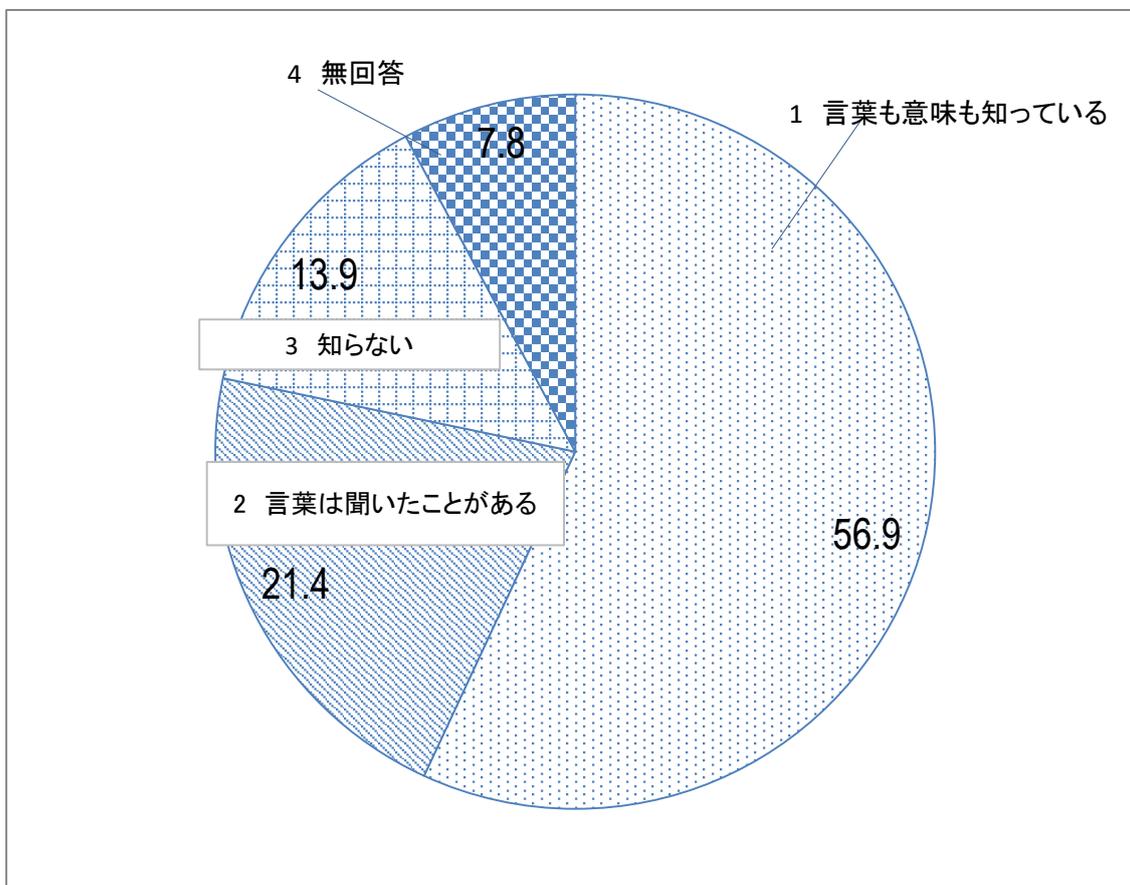


### 3.28 「LGBT」の周知度

問28 「LGBT」または「性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）」という言葉（両方またはどちらか一方）を知っていますか？  
（○は1つだけ）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 言葉も意味も知っている	56.9
2 言葉は聞いたことがあるが意味は知らない	21.4
3 知らない	13.9
4 無回答	7.8

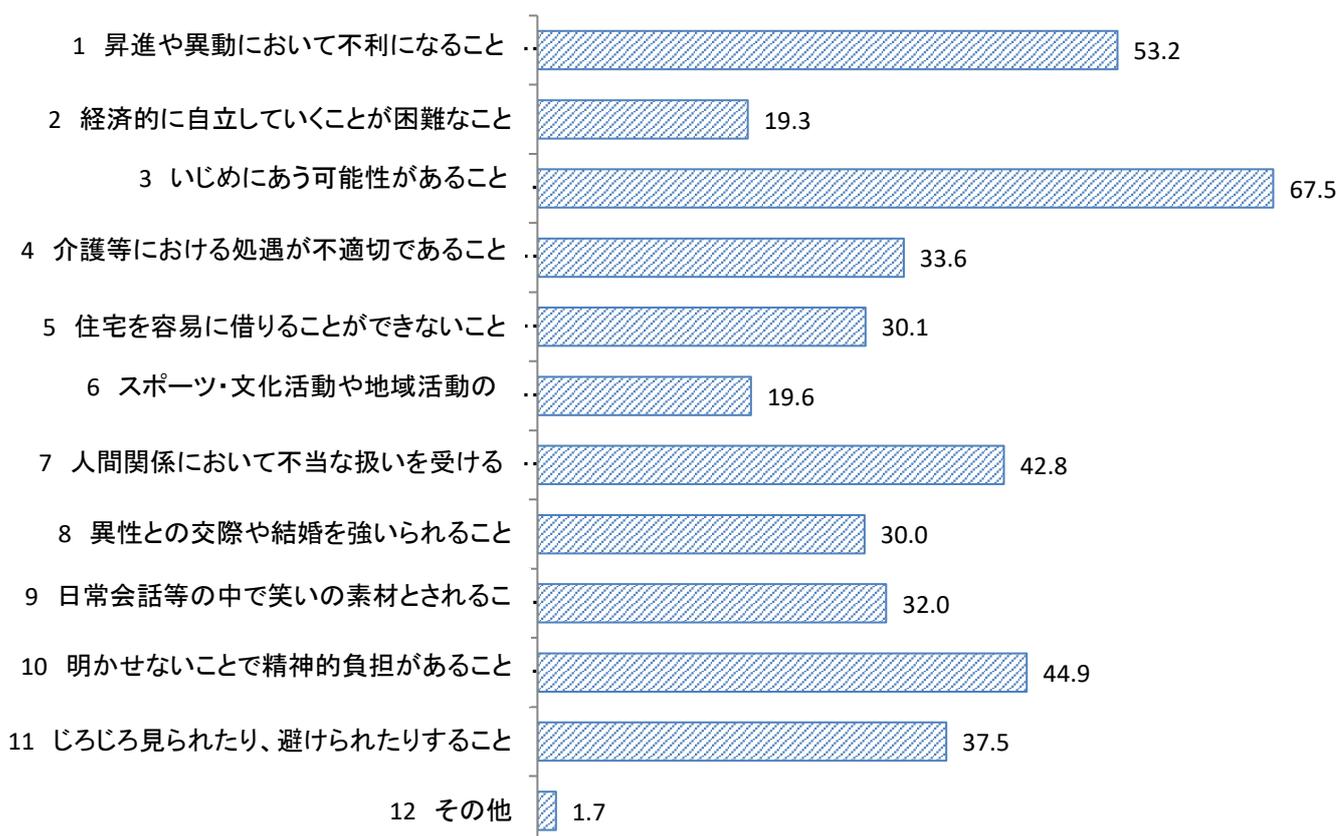


### 3.29 「LGBT」に関する人権問題

問29 次のLGBT（性的少数者）に対する事がらで、人権上問題があると思われるものはどれですか？（あてはまるものすべてに○）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1 就職する際や、職場での昇進や異動において不利になること	53.2
2 経済的に自立していくことが困難なこと	19.3
3 学校や職場でいじめにあう可能性があること	67.5
4 病院や福祉施設等での介護や看護における処遇が不適切であること	33.6
5 住宅を容易に借りることができない場合があること	30.1
6 スポーツ・文化活動や地域活動の参加に支障があること	19.6
7 交流や交際などの人間関係において不当な扱いを受けること	42.8
8 異性との交際や結婚を強いられること	30.0
9 テレビやインターネット、日常の会話の中で笑いの素材とされること	32.0
10 セクシュアリティを明かせないことで精神的負担があること	44.9
11 じろじろ見られたり、避けられたりすること	37.5
12 その他	1.7



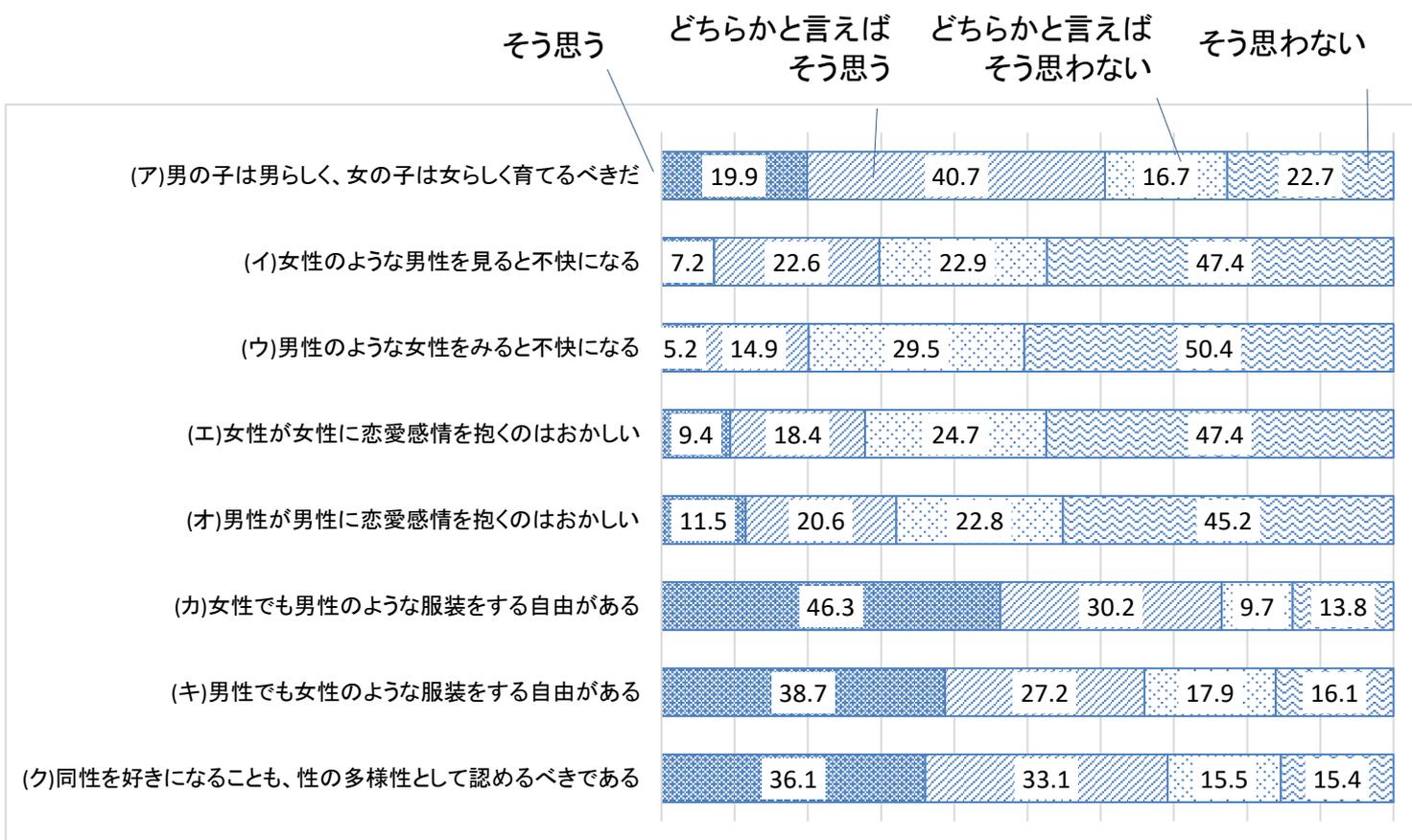
### 3.30 男らしさ、女らしさ

問30 次の（ア）～（ク）の各項目について、あなたの考えや気持ちにもっとも近いものを、1～4から1つ選んでください。（○は各項目1つずつ）

[n=989]

表中の数値は回答率

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
（ア）男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	19.2	39.3	16.2	21.9	3.3
（イ）女性のような男性をみると不快になる	6.9	21.6	21.9	45.5	4.0
（ウ）男性のような女性をみると不快になる	5.0	14.3	28.2	48.1	4.4
（エ）女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	8.9	17.5	23.5	45.0	5.2
（オ）男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	10.8	19.4	21.5	42.7	5.6
（カ）女性でも男性のような服装をする自由がある	44.0	28.7	9.2	13.1	5.0
（キ）男性でも女性のような服装をする自由がある	36.7	25.8	17.0	15.3	5.3
（ク）同性を好きになることも、性の多様性として認めるべきである	34.2	31.3	14.7	14.6	5.3



※回答率は「該当しない」「無回答」を除いて再計算したもの

### 3.31 「LGBT」を受け入れられるかどうかについて

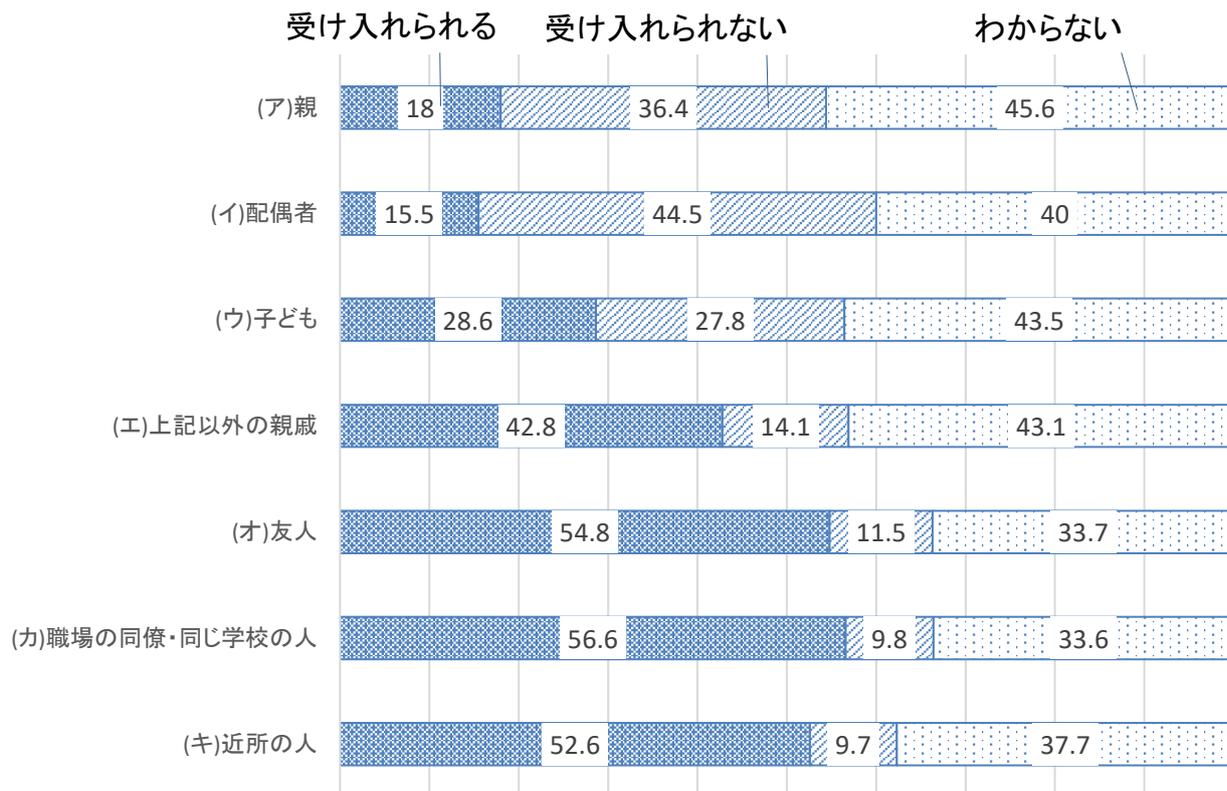
問31 あなたは、次の（ア）～（キ）の身近な人が、①「同性が（も）好きである（同性（両性）愛者）」や、②「自身の性別に違和感を持っている（トランスジェンダー）」と知ったとき、受け入れられますか？（○は各項目1つずつ）

[n=989]

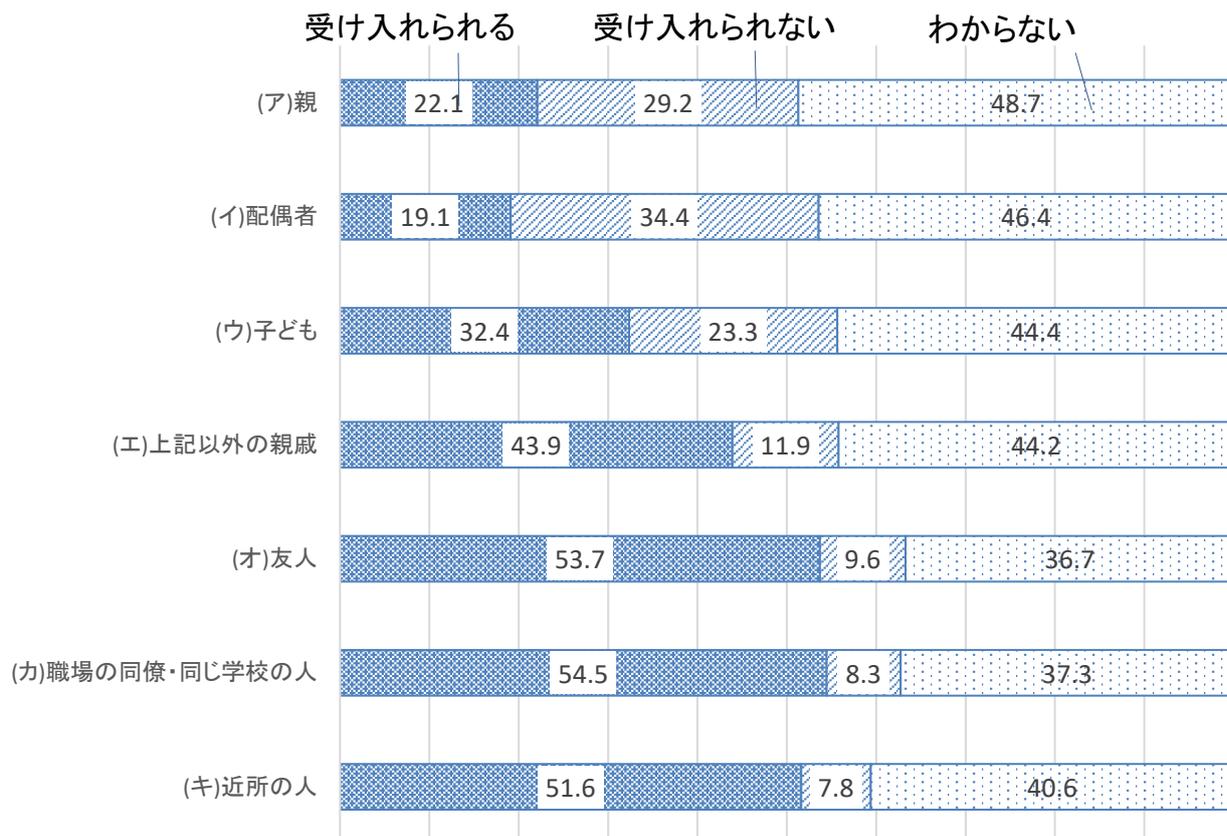
表中の数値は回答率(%)

		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答
① 「同性が（も）好きである（同性（両性）愛者）」	（ア） 親	16.5	33.3	41.8	8.5
	（イ） 配偶者	14.2	40.5	36.4	8.9
	（ウ） 子ども	26.2	25.5	39.8	8.5
	（エ） 上記以外の親戚	39.0	12.8	39.2	8.9
	（オ） 友人	49.9	10.5	30.7	8.8
	（カ） 職場の同僚・同じ学校の人	51.6	8.9	30.6	8.9
	（キ） 近所の人	47.4	8.7	34.0	9.9
② 「自身の性別に違和感を持っている（トランスジェンダー）」	（ア） 親	19.7	26.0	43.4	10.9
	（イ） 配偶者	17.1	30.7	41.5	10.7
	（ウ） 子ども	29.0	20.8	39.7	10.4
	（エ） 上記以外の親戚	39.3	10.6	39.6	10.4
	（オ） 友人	48.0	8.6	32.8	10.6
	（カ） 職場の同僚・同じ学校の人	48.6	7.4	33.3	10.7
	（キ） 近所の人	46.1	7.0	36.3	10.6

## 「同性が(も)好き」(同性(両性)愛者)



## 「自身の性別に違和感」(トランスジェンダー)



※回答率は「該当しない」「無回答」を除いて再計算したもの

### 3.32 男女共同参画社会の実現に向けた市への要望

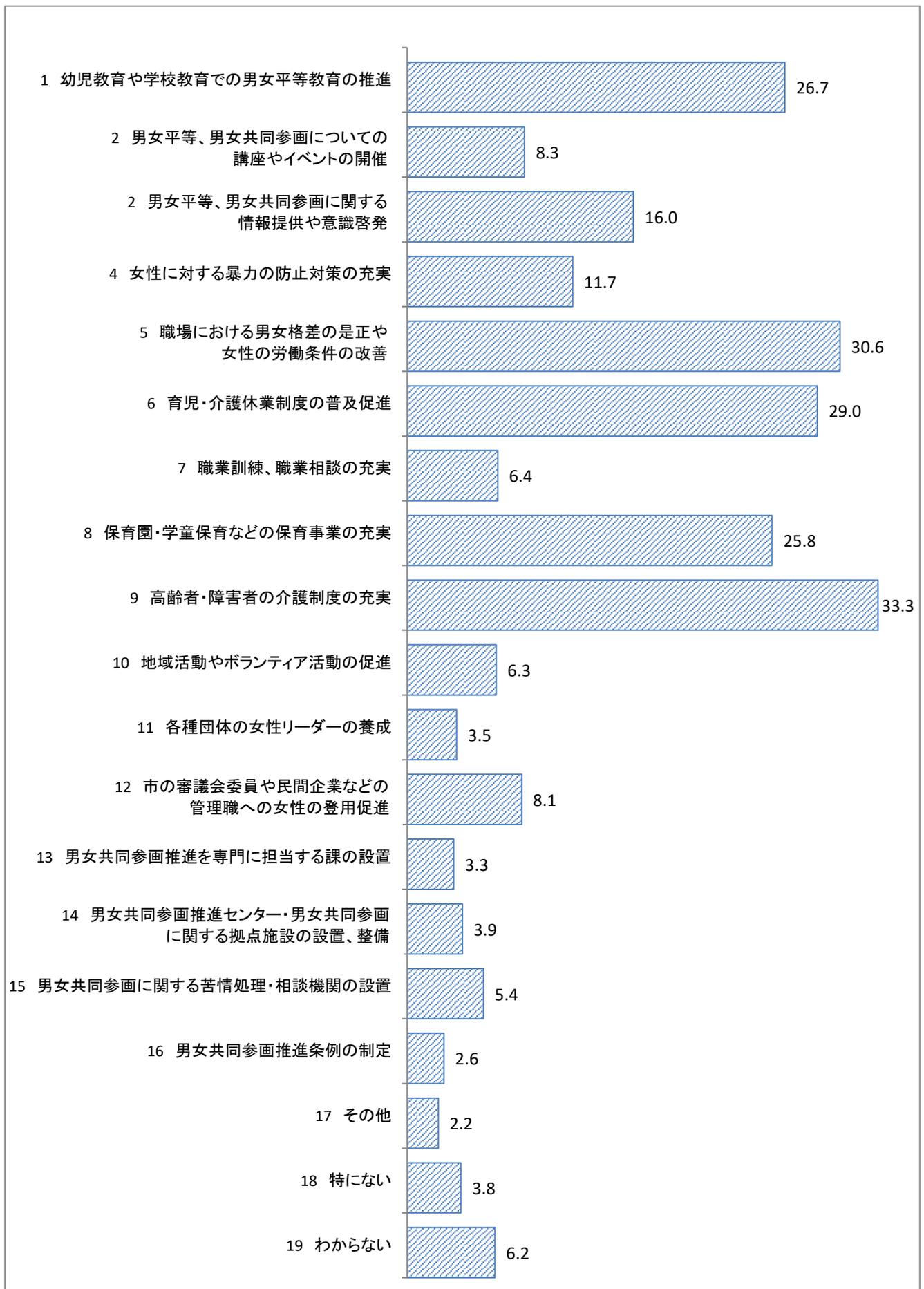
問32 男女共同参画社会を実現するために、茂原市にどのようなことを期待しますか（○は3つまで）

[n=989] 表中の数値は回答率(%)

1	幼児教育や学校教育での男女平等教育の推進	26.7
2	男女平等、男女共同参画についての講座やイベントの開催	8.3
3	男女平等、男女共同参画に関する情報提供や意識啓発	16.0
4	女性に対する暴力の防止対策の充実	11.7
5	職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善	30.6
6	育児・介護休業制度の普及促進	29.0
7	職業訓練、職業相談の充実	6.4
8	保育園・学童保育などの保育事業の充実	25.8
9	高齢者・障害者の介護制度の充実	33.3
10	地域活動やボランティア活動の促進	6.3
11	各種団体の女性リーダーの養成	3.5
12	市の審議会委員や民間企業などの管理職への女性の登用促進	8.1
13	男女共同参画推進を専門に担当する課の設置	3.3
14	男女共同参画推進センター・男女共同参画に関する拠点施設の設置、整備	3.9
15	男女共同参画に関する苦情処理・相談機関の設置	5.4
16	男女共同参画推進条例の制定	2.6
17	その他	2.2
18	特にない	3.8
19	わからない	6.2

上位5件

①	高齢者・障害者の介護制度の充実	33.3%
②	職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善	30.6%
③	育児・介護休業制度の普及促進	29.0%
④	幼児教育や学校教育での男女平等教育の推進	26.7%
⑤	保育園・学童保育などの保育事業の充実	25.8%



### 3.33 男女共同参画社会づくりに関する意見・要望

問33 男女共同参画社会づくりに関して、ご意見・ご要望などご自由にお書きください。

男女共同参画社会づくりに関する意見・要望については、回答者989人のうち、191人（男性49人、女性61人、不明1人）の方から回答が寄せられました。  
ここでは意見や要望の概要について内容を分類してまとめました。  
多くの貴重なご意見・ご要望をお寄せいただき、ありがとうございました。

#### ◎男女共同参画社会、男女共同参画意識について

- ・ 男・女と意識しないで、同じような考え方が出来る社会であってほしいと思います。（70代以上・女性）
- ・ 男女が平等に生きていける社会になって欲しい。（60代・男性）
- ・ 性別にかかわらず、一人ひとりが自立し、責任をもって生きる教育や社会であってほしい。一人ひとりが自分の意志をもって発言し、尊重し、議論できる議会であってほしい。（40代・女性）
- ・ 男だから、女だからという意識・考え方がまだあるので、そこにとらわれずに一人ひとりの個性・能力が発揮でき、意見交換ができるようになって欲しいと思います。「女らしく」「男らしく」ではなく、よりよく生活できるように「自分らしく」「人間らしく」を大事にし、日常当たり前と思っていることから見つけ直す機会があればもっと働きやすく生きやすく、充実した日々が送れるのかなと思います。特に古い考えに縛られがちな面もあるので、柔軟に時代のニーズにあった考えを一人ひとりができるようになれば、違う世の中になるのかなと考えます。仕事や地域の中でもこれらについて考えることができる場を設けるといいうのもよいのかと思います。（20代・女性）
- ・ この世に生まれてきてよかったとすべての人が言える平等な社会づくりに力を注いでいただきたいものです。（70代以上・女性）
- ・ 他人の事に関わりたくない人が多いので、もっと相手の事とかを考えられるようになることから意識していかないと、なかなかここへは行かないと思います。一人ひとりが良く考えて、自分だけでなく人のためになれるよう行動していくことだと思います。（60代・女性）
- ・ 男女均等と言ってもなかなか古い体制を変えるのは難しいというのが現実だと思います。これから時間をかけて男女がもっとお互いに自立してゆくことがとても大切なのではないのかと思います。しっかり自立することによって、お互いに協力してゆくことも見えてくるのではないのでしょうか。（60代・女性）
- ・ 戦後教育の成果として女性軽視の風潮も和らぎ、男性上位から女性上位に移行している現状ではないかと思われます。性差を相互に認め合い協力し合い、より良い家庭、地域社会を創り上げていくことが共同参画社会だと思います。（60代・男性）
- ・ 誰もが働きやすい社会、過ごしやすく安心できる社会にしてほしい。（40代・女性）

家庭、職場、学校、地域で「差別」、「いじめ」がなくなるとよい社会になると思うが、難しい。(60代・女性)

- ・ 男女共同参画は、人口増加、住みよい茂原等、あらゆる場面で有効であり、官民全体で進めるべきで。地域にも活動の場面を増やしてほしい。(60代・男性)
- ・ 男女ともお互いを理解し合い、自覚を持つこと。また、行政機関も体制をしっかりと築き、対応してもらいたい。(60代・男性)
- ・ もっと意識啓発など、当たり前前に公平になれるように推進すべきだと思います。(60代・女性)
- ・ 男女共同参画社会づくりは、社会を活性化させ、住みよい世の中にするために、欠かせない活動だと思います。普段から問題意識を持っていたわけではないので具体的な方策あるいは問題の把握すらしていなかったと思います。市としての継続した取り組みをお願いします。(60代・無回答)
- ・ 男女共同参画社会づくりにはまず地域社会の組織体制と市をあげての熱意と努力が第一だと思います。その点を出発点とされたらいかがですか。(70代以上・女性)
- ・ 1946年生まれ(戦中)でも平等教育を受けて育ちました。50年も時間が経過しましたが、私たちはこれでいいのかと思っておりましたが、今はもっと進めなくてはいけないときなのです。それには幼児のときから、勉強も大事ですが、男女に関係なく社会ボランティア活動に参加したり、まちのゴミ拾いなど、人のためになる。小さい頃から男女共通の作業、仕事などを身体に覚えさせて、男女が区別ない、組織的なもの、感覚を作っていくことなどいかがでしょうか。(70代以上・男性)
- ・ 男尊女卑という古い日本人の考え方(風習や慣習の中から)このような状況の中で育ってきた大人と、平成以後に生まれている大人たちとの精神的なものや、心の持ち方等々、だいぶ開きがあると思う(急激に発達している各情報系のものその他)。「男女共同参画社会」は良いことと思うし、そのような世の中になってほしいと思いますが、そのための対策はどのような方法が良いのでしょうか?(そのためのアンケートでしょうか)多々の問題を子供の時から家庭で教育の場でしっかりと方向を示していくべきではなかろうかと思う。今がこれらの問題を取り組む良い機会(時期)ではないかと思いますが、時代を担っていく世代の考え方は、特に吟味し検討していくことが大事だと思う。(70代以上・女性)
- ・ 男尊女卑という言葉がありますが、だいぶ変わってきたとは思いますが、まだまだその傾向は強いと思います。(30代・男性)
- ・ 昭和より平成と性に対する差別は少なくなっているように考えられます。そのような考えを持っている高齢者が減っているからだと考えます。徐々に平等が進むことを願っています。(70代以上・男性)
- ・ 昔に比べたら、時代と共に変化してきたと思います。今後も教育現場や社会で情報の発信を続けていけば、変わっていくと思います。(30代・男性)
- ・ コインランドリーでよく夫婦で洗濯物をたたんでいるのを見かけます。世の中が夫婦協力になってきているのを感じます。セクハラに関して意識の低い男性が多いです。(60代・男性)

- ・ 難しいことは分かりませんが、人として他人に思いやりの心を持ち、自分の考えだけではなく、相手の立場での考え等、色々な方向から物事を見て考えられる人々が増えれば、多少今よりも良い社会になると思います。(50代・男性)
- ・ 人間として生きるため、また、子どもを育てるためには、家庭の中で行われている細々とした仕事を今、誰が行っているのかを意識させ、それを自分が行うことになったらどんな工夫ができるのかを家族のみんなが考えることによって、生活の基盤である家庭の中から男女の差のない人間としての生き方・考え方の基本ができていくと思う。(40代・女性)
- ・ 男だ女だとあまりこだわらず、人間として参加して、社会のため(普通に)できればよいと思います。あまり男だから女だからと思わず、一人の人間としていけばよいかと思いません。なんで男だ女だというのかわかりません。その人のできることをすればよいと思う。(70代以上・女性)
- ・ 男女共同参画が大きく叫ばれてからもうずいぶんと時を経たと思いますが、まだまだ進んでいないことがこのアンケートでも知れます。それだけ難しい(人間の根本的な生まれ育ち・環境・教育・・・)問題なのだとわかります。今ある私たちが平等に正確に知り、次代につなげ誰しもが当然として持ち、分かち合えることができたなら・・・。そもそも男女共同参画をもっとやわらかな身近に思える言葉にはできないでしょうか? 事柄ひとつひとつから〇〇しましょう! というような呼びかけで。(70代以上・女性)
- ・ 老人の私が難しいことは分かりませんが、2,000万円不足の老夫婦と就職氷河時代の若者が主流になります。老人も若者も外に出て、緑の大地に立って心を開き、顔なじみになればきっと明るい未来が開かれます。それには男だから女だからと言ってられません。自分や自分の家族でないからと言ってられません。教育、児童福祉、包括介護、福祉センター、農協、自治会、婦人会総出で、どうしたら地区の住民が健康で明るく、生き生きと生活ができるか話し合い、自殺者や一人孤独死、親が子を、子が親を殺すような悲しい事態が起きませんよう、案の作成に協力を重ね、市民も協力し、行きかう人皆挨拶し、笑いがこぼれる街にしていきたい。それには女性の力は大きくなります。家庭を守り抜く力は、市をも守り抜くことでしょう。女性リーダーの育成も重要になります。東京駅、千葉駅にプラカードを立て、茂原はこんな住みよいところですよと宣伝し、人口を増やしたいです。(70代以上・女性)
- ・ 男女共同参画社会づくりって、自分には参加するにはもう遅いという思いがあります。60代の今、「男性は仕事、女性は家庭」といった性別による固定的な役割分担にとらわれてきました。職場や家庭など、様々な場で男性の方が優遇されていると感じてきました。今、この社会づくりは、これからの時代、誰でもが生きやすく、幸せになるために、是非実現させてほしいです。(60代・女性)
- ・ 現在、医学部で医師を目指して勉強中です。県の奨学金を受けているため、卒業後は千葉県で働くつもりです。昨年いくつかの私立大学医学部の入学試験で、男性が優遇された得点調整が明らかとなりましたが、医療現場での女性に対する不平等を感じるが多々あります。友人と将来について話すことがありますが、私の周囲の女性たちは医師としてのキャリアの向上心と結婚や子育てへの希望を両方持つ人が多く、ただ現実として「女性が不利となる職種があること(体力・筋力など不可抗力による)」、子どもを健康に産もうと思うと結婚や出産の年齢にある程度制限が出てくるが、同時に働き盛りの時期に産休や育休を取ることで、キャリアを積むことが難しいこと」など、女性が現在の男性と同じように働くにはまだまだ課題が多いということに無力感を感じます。このような状況が生物学的な女性の問題であるからこそ、男性に現在の課題を認識してもらい、女性の気持ちを理解してもらうことが何よりも必要だと思います。弱者ですが、すべての子どもが自分の将来に希望を持ち、個性を生かし、胸を張って生きることが出来る社会を望みます。今後もLGBTや男女の均等な社会参加について、主体的な問題意識を持って学んでいきたいと思っています。まとまりのない文章で恐縮ですが、茂原市の対策を楽しみにしています。よろしく願いいたします。(20代・女性)

- 私は女子大学に通ったので、「ジェンダー」についての授業があり学びました。小学校、中学校などの義務教育では、今回のアンケートのようなことについての授業もなく、「セクハラ発言」も先生がするほどでした。人それぞれの価値観や考え方があり、難しいテーマだと思うので、私もどうしたらいいか分かりません。セクハラ問題がある一方で、オシャレやファッションとなると「色気」「セクシー」を目指し、良しとする価値観もあります。どの問題も「嫌がっていることをしない」が大事だと思うけれど……。学校のプールの授業で、「生理中の人は欠席するなら何日目か言いなさい」と言って、時代錯誤だという問題になったどこかの学校のニュースを見ました。プールは男女別々にしたら良いのにと思いました。スクール水着をじろじろ見られたら、やっぱり女子生徒はかわいそうだなって思います。学校の先生に変態な人とかいじめを助長する人とか、差別的な考えの人がいなければもっと良かったのにと思います。だけど、学校の先生も大変だし……。授業で取り扱ってみんな考えていったら良いと思います。（20代・女性）
- 学生である時は、男女の性差を感じることや不平等であると感じることは少なかった。社会人になって突然、女性であることが不利であると感じる出来事が増えた。面接を受ければ、結婚と出産について聞かれ、予定はないと言っても全く信じてもらえなかったり、仕事を辞める前提で話を進められて驚いた。仕事の中でも女性がするべきと考えられているものが多いうえ、それを強要してくる人間が多かった。私は結婚に対して興味が持てず、結婚はしたくないと考えているのに、職場では女は愛想、結婚するのが当たり前と考えを押し付けられるうえに、なぜか個人の恋愛関係に口を出されて正直かなりうんざりした。親もこの考え方に近く、何度話しても理解されることはなかった。現状では学校生活を送る間は男女差を考えさせられることは少なく生きやすいが、結局社会に出てしまうとほとんど意味がなくなってしまうと思う。必要なのは社会全体の偏見をできる限り無くすことと、男女の性差に対する医学的な知識であると考え。（20代・女性）
- 子どもたちは学校では性差を感じることはそこまでなく、男女共同参画が難しいと思うのはむしろ社会に出てからです。リーダー的立場にある人の男女の比率を見れば明らかです。どの組織においても、リーダー会議等の性差がなくなれば社会は変わっていくでしょう。まずはトップが変えて模範を示すべき。（30代・女性）
- 昔に比べたら男女平等になってきたのだと思う。若い夫婦をみても、夫がおむつを替えたり、ミルクをあげたり、公園で遊んであげたりと子育てに取り組んでいる姿はよく見られるようになった。しかし、仕事は男が外で金を稼ぐかわりに、女は家庭を守るという昔の考えがまだ根強く残っているように思える。仕事＝男、育児＝女、買い物＝女、介護＝女、洗濯＝女、という風に女性の負担が多いうちは男女平等なんてほど遠い。同じスタートラインに立つべきである。まだまだ日本には難しい問題ではないか？！（50代・女性）
- まず、こういう題材が上がってしまうことに疑問を覚えます。誰かに対するとき、男だから女だからという思いがある故に、致っているのかと思います。一番大事なものは人として相対することであり、性別は全くもって関係ないことと私は考えます。今までの曲がり曲がった常識を捨てることが重要です。そして、全てのことにおいて言えることですが、国をはじめ県や市のトップ同士が争っている時ではありません。国会での審議、答弁を見ていて思いますが、あんなにひどい有様を見ていると嘆かわしく思います。子ども達の方がよっぽどまともな話し合いをすることでしょう。大切なのは、相手を憎むことでもなければ潰すことでもありません。お互いがどんな主義、思想、意見を持っていたとしても、まずは知り、尊重し、お互いのいいところを集結させていくべきではありませんか。こんな綺麗ごとと感じるかもしれません。口にするだけなら誰にでもできると思うかもしれません。でもそれをする人が現在の日本には必要であると感じます。どうか茂原市にはそういった方々がいてくださり、日々奮闘してくださることを願うばかりです。（30代・男性）

- 男女共同参画、私がこの言葉を聞き、活動に参加いたしましたのは、この計画が策定されました最初の頃（第1次）でした。男尊女卑の時代から抜け出すという講演を聞き、人間としての本来の姿ではないかと、将来のこの国が自由という社会とともに、人としての個性と能力をも発揮できる社会の実現へと。当時は本当に心から期待したことが思い出されます。私も主婦となり母親となり、もちろん仕事も続けるという現実の中で、男女共同参画社会づくりのみが一人歩きしていたように感じました。今は、男でも女でもない・・・年齢になってしまいましたが、現代の若者を見ておりますと、とにかく自分勝手な人が目立ちます。地域で、市で、さらに国でこのような施策を策定するという事ですが、私にも当然責任はあると自覚はしておりますが、人間が人間であるという教育をもっと大切にする必要があるように思います。動物は思考は伴いません。隣の若者も、知らない高校生も、大学生も、社会人ももっと将来を考えて行動できるよう、情報も国際化も世の中を良くする因子であることは間違いないことだと思います。皆様のご活躍、市民の一人としてご期待申し上げ、高齢者も少しは現代社会の礎を築いた者たちです。平和な日々をいただければ幸いです。（70代以上・女性）
- 市議にもっと女性を入れるべきだ。結婚したら女性は男性の姓を名乗るのが普通だという考えはおかしい。夫婦別姓やパートナーシップ制度を取り入れるべきだ。千葉市はパートナーシップを取り入れているが、茂原市はまだか？（喜んで結婚相手の姓を受け入れる女性が多いだろうが、そうではない女性もいる事を知ってほしい）。女性は子供を産むべきという考えはおかしい。産めない女性や望んでいない女性もいる。身内や近所など結婚適齢期になると「結婚はまだか？」や「早く子供を産まないかね」などうんざりするほど言われる。これは男性でもそうだ。一番大事なのは、その人がその人らしい人生を送る事ではないか？周りの人に言われる通りに生きていった時、その人は本当に幸せになれるのだろうか？子供を産めなどと発言をする人は、言われた側がショックを受けたり、嫌な思いをしていると気づいたほうがいい。（30代・女性）
- 社会の構造が変わってきて、女性の労働力が必要になってきているのに、働く環境が追い付いていない状況になっている。仕事も家庭でも女性が疲弊している。家庭での仕事を分業や代行で補えるようになると良い。また、女性が仕事に専念しなければならない状況になりすぎているために、家庭生活がおろそかになってしまっている。不妊治療等も大事だが、その前に若い女性が安心して子供を産み育てることが出来る環境の整備が大切だと考える。男女平等の社会を目指すなら、子どもを女性（母親）一人に押し付けることのない社会にするための考え方の変革や社会のシステムの変革が必要。具体的には、労働時間の削減や仕事量の調整、有給の確保や取得促進、育児・子育てに関する制度・施設の充実や情報の提供、相談対応などがより推進してくると良い。（40代・女性）
- 私は40代ですが、私の年代を含め、年代が上がるにつれ、男性社会という意識が強くなっていると思います。（これは時代背景で仕方がない）私より下の10～30代の様子を見ると、さほど男女ということにとらわれていないし、私の年代に比べ、自由に各々が主張していると思います。変えなければ（変わらなければ）いけないのは私達なのです。今の40～70代が変われば、すべてよくなると思います。まずは国や都道府県、そして市区町村の各リーダーに女性やトランスジェンダーが多く登用され、それを周囲の男性（40～70代）が認め、尊重してる光景を民衆に示していけば、今の10～30代は大丈夫だと思います。「男女共同参画計画」の企画政策課メンバーに10～30代は必要ありません。役所の中でも変わらなければならないのは40～70代です。（40代・男性）
- どうしたら世間の男女差別の意識を変えられるのか、日々考えています。学校に行っている間は大学まで男女平等を教えられて育ってきたし、それが当然だと思っていましたが、社会に出た途端、男が上位、女は結婚して家に入るものだと親を含めて私たちに言い出しました。この不条理さは何なのか、もう社会に出て20年以上経ちますが、未だに分かりません。どうか社会が男女平等になるのを願ってやみません。（40代・女性）

- 現在の働き盛りの世代では、昭和からの考えをもった上司がいたり、親がその世代のため、男は仕事、女は家事といった教育を受けている人がほとんどであるため、私たちや政治が動いたところで、現状の改善は困難と考える。結果、女性の社会参加のみが強調される。もしくは経済的な理由により働いている女性が多いが、男性の育てられ方により家事・育児に関し知識がないため、協力を求めても行えないケースが多い。よって、今は男性の収入を安定させ、女性は家事、育児に専念し、次世代を担う子供たちに性別に関係なく、働くすべ、生きるすべ（家事）を教えることが重要だと考える。また、妊娠や出産についての知識不足、その他異性への知識不足もマタハラやセクハラ等を引き起こしているため、そのような教育にも力を入れるべきと考える。（30代・女性）
- 私の育ってきた昭和26年代～現在までの時代の流れ。女性は家を守り、男性は外へ出てお金を稼ぐのが一般的な家庭のあり方だったと思います。私としては、女性に給料を渡して、料理、洗濯、子育て等をしてもらう間に、安心して仕事に出られるという関係でした。子どもの頃から男女の役割、習慣というものが刷り込まれていますので、女性が社会に出て活躍するというのは大変なことだと思います。そのためには家事を軽減してあげないとだめです。子育てに関する経済的・設備的・時間的一切を社会で支えないと男女共同参画社会とはなりえません。色々な仕組みはあっても上手く作動していないのでは？そうなければいいねと賛同はします。今現在男女は平等だと思いますし、お互いに協力して心身ともに豊かな生活は送ればありがたいと思います。（60代・男性）
- 時代の変化が大きい。核家族化→生産年齢減少→共働き→女性の負担増→男性の家事育児の理解、社会の理解が追い付かない→離婚にいたる。女性の負担を減らす世の中が作られることが先。男性の家事育児の参加があたり前になること。身体づくりなどを考えると本当の意味での男女平等は難しい。両方の生活しやすさを取り入れた社会づくり。思いやりは必要。（30代・女性）
- 7月21日の参議院選挙の結果により、共同参画社会づくり計画がさらなる進歩になると願う国民の一人です。様々な事件をニュースで耳にして、自分だけ、家族だけ、組織（学校・企業など）だけ安全安心であるという考えは、捨てなければと思いながらも、少なくとも自分を取り巻く環境から対処していく方法しかないのではと思います。平和の社会団体の賛助会員に今年からなりました。まだ、講演会に出席する程度で恥ずかしながら活動は出来ていません。何か社会に貢献できないかと思い、退職してから参加いたしました。（60代・女性）
- 日本の国は男性主に日常生活が動いていると思う。女性は従の関係である。これが普通なのかと思う。違う考えとか意見とか認めてもらいにくい。認めてもらえない。男性中心の考えで世の中も進むのか。（60代・女性）
- 現在は男女平等をモットーにしているため、仕事における選択の自由はほぼ実現できていると思います。まだ、組織のトップや中心人物は男性が多いように感じます。仕事ができ、長年その組織にいるからかもしれないので一概には言えないですが、女性もその地位になれるように社会全体の風潮を変える必要があるかもしれないです。また、そこまで大きくなくても良いですが、家族間で男女平等をきちんと伝えていくことが良いかと思えます。また、メディアで女性が社長や取締役などを強調して伝えていますが、それは個人的には好きではないです。まだ、女性に対する扱いが悪いと思われているかもしれないですが。メディアに関して言えば、LGBTについては主に芸人の方たちが、自分たちを自虐ないし、ネタとして話すことが多いように感じられます。今はそれでも良いかと思われそうですが、今後は考えないといけないかと思えます。小学生・中学生は意味や気持ちを深く考えずに話しかけたり行動したりする傾向にあります。メディアから発信されたものをそのまま使用するからです。大人たちがきちんと理解し、自分たちの言葉にして伝えていって欲しいと思います。（20代・男性）

- まだよくわからないのでなんとも言えませんが、これからどんどんPRをして社会に広めて、皆さんの意見を聞きながら進んでいってください。（60代・男性）
- 今までぼーっと生きてきたので、改めて考えると難しい問題ですね。（60代・男性）
- 男女共同参画の社会づくりに大いに賛成であり、推進していくべきものと思います。これまで生きてきた社会は、どちらかと言えば男尊女卑的な慣例・慣習だったので、早い時期からそうした社会づくりのために教育や地域の中で環境を整えていく必要があると思います。女性の社会進出が進み、今後ますます女性の社会的立場が確立（収入の面や自立していくとして）していくと思われれますので、社会整備が図られていく中で女性だけの優遇が顕著にならないことも必要だと思います。（40代・男性）
- 近年、女性の活躍が見られる社会になっています。ちょっと前までは普通でも、それが普通でなく問題になってしまう。女性のために男性が我慢しないといけない社会に成りかねないようになっています。男女平等という言葉を利用し、女性有利に事を進ませる輩もいますので、多少は今まで男性が先立ってきた社会ですから、今でも最終的な責任を取るのには男性ということもあり、言うだけ言って逃げるのは女性の方が多いです。男女共同参画社会にするには、色々としたことを国民全体が一回で理解できるように、まだまだ何が良くて何が悪いのか分かっていませんので、女性ばかりが嫌な思いをしているとは限らないし、男性は我慢することが多いけど、女性は小さいことでも口に出し、問題にすれば良いと思っている人が多いです。なので、そのさじ加減を決めて、男女共同を進めたらと思います。それよりも、今これからの子どもたちが、自分のことが自分でできない子供が多い。いつまでも親が面倒を見る。猫や犬は一つの芸やかかわいさを見せるが、人間の子供もは反発する。もっと親を敬い、子どもは可愛がられること、道理、道徳の時間を増やし、社会にすぐ役立つ教育が必要だと思います。（50代・男性）
- 私は高齢ですが、義務教育の中での教師から、「男は男らしく」、「女は女らしく」周囲と調和して楽しく安心できる生き方をしなさいと諭され、家庭でも両親兄弟から優しさと思いやりを伝えられ、自分の意見も言い、他の人の考え方も取り入れるように育つことが出来たと思っています。幼児教育から社会人として独立するまでの、人間としての生き方の基本、古いと言われるかも知れませんが、道徳は欠くことができないと考えます。先日新聞で読んだ、箸の持ち方を先生に、嫁に行けないから正しく使うように言われたと娘さんが母親に伝えたら、親が言い過ぎだとメディアに投稿サイトで訴えたと言ったと賛否両論だったとの記事を読んだが、こうゆう美しい箸の使い方の躰ができなかつたら母親が反省どころか大きなお世話と反発するような現代社会は自由が、私の乱筆のように、乱れていると思えてなりません。自由平等という常識の枠からはみ出す恥を皆が知って欲しい。（70代以上・男性）
- 男女共同参画社会をつくる、個人や個性が尊重される社会にしていくべきであると考えます。人権はその上に尊重され、今後も憲法（法律）により守られるべきであると思う。しかしながら、LGBT等多様な性的指向について自認することは良しと思うが、何でもそれを人権問題として引き合いに出し、過度の主張をする方々を、私は好意的に感じることはできない。私自身にも人権があるからである。（60代・男性）
- 男女が共同で社会に参画するのは良いことと思いますが、それにより少子化がさらに進んでしまう事のないよう、細心の注意を払っていただけると良いと思います。（40代・男性）
- 職場や普段の生活で女性が有利なので平等にして欲しいです。（30代・男性）

- 女性ばかり有効活用しても無駄です。本当に女性が、男女共同参画社会が必要あるのか、今一度再検討してみるべきだと思います。アメリカで流行したMeToo、当人の女性が未成年の男の子にセックスを強要したそうです。結局、男も女も同じ人間。どちらが上・下・平等になっても、人の心が豊かになる環境が整わないと、何事も成立しないのです。男女どちらでも共感できる働き方・子育て・介護・給料・フォロー・支援を行えば、自然と男女は平等になるのです。(40代・男性)
- 男女平等って何がしたいのかわからん。同じことすりゃいいの？男女同じ扱い？トイレも共用？平等とは誰が決めるのか？平等にするための不平等？政治家が男50%女50%なら満足？くだらんなあ。(40代・男性)
- 女性だって同じ人間、男と同じかそれ以上の失敗をしている。平等になってもメリット・デメリットは発生する。要は男女の枠を取っ払ってでもやれる人が集まるしかない。男性だって逆DV、逆レイプの発生している時代。最低限のフォローをしていけば自然と変わる。何事も力が抜けているときが一番変わるのだから。(40代・男性)
- 男女平等社会づくりを目指すためのアンケートであると認識し、後期高齢者の私の愚痴を申し上げます。項目別に答えず、総合的に書きます。1. 共同とは、人間社会に生ずる関係です。果たして現社会に人との絆があるでしょうか？便利さのみを追求し、生じた交流のない人間社会が現実です。2. 人との交流を嫌い、自治会を離脱する人たちが現実です。よって私たちは孤独です。支え合えるのは家族です。3. 買い物にとっても、電子による計算、支払いも電子の指示によって支払う。4. 歩行者に声をかけても、己の手元を見て振り向きもしない。会話ができて初めて共同で語ることができ、様々な意見が生まれる。5. 現実には平気で親は子を、子は親を虐待する世です。過去の日本は世界に誇れる人情の厚い人間であり、社会であった筈です。(70代以上・男性)

## ◎男女の違い、役割分担に関すること

- 男女同権とか男女平等とか言うけど、そもそも体力的・肉体的に男性と女性では違う。でするので、一概には言えないが、家庭でも、職場でも、学校でもお互い助け合って、より良い社会を築いていけたら良いと思う。ただ、賃金や昇給、昇格など、男性と女性とで、同じ人間として差別があってはならないと思う。(70代以上・男性)
- 男女の違いをきちんと理解し、その上で平等であるような考え方を持つ。(50代・女性)
- 男性と女性というのはもともと違うことであることは間違いないので、せめてお互いの違いをよく見極めて、お互いに尊重し合って助け合って生きていくべきかと思います。(60代・男性)
- 生物学的な違いから、男性・女性という性別が存在していることは事実であります。この性差ゆえの両性それぞれの優れているところがあると考えています。相互理解による異性の尊重ができる社会を望みます。(50代・男性)
- 教育では平等が進んでも、社会に出てからの平等化の遅れ、ギャップの大きさがあります。身体的なつくりの違いはあるので、同じことを求めることが平等とは思いません。互いの違いを理解したうえで(LGBTの方も含む)、尊重し合うことのできる優しい世の中になると良いと思います。決めつけず、柔軟な思考で相手を思いやるのが大切だと感じております。(40代・女性)
- 男性にしかできな事、女性にしかできない事もあると思いますが、「だから女は・・・ダメなんだ！」と思われたい社会参加ができる世の中にしてほしいです。(50代・女性)

- ・ 「男女平等」、異性の特性、違いを認められるようになればと思います。平等＝同じではないことも。(30代・女性)
- ・ 男女共同参画社会を作ることは、大切なことであると考えます。しかし、男性にしか又は女性にしかできない身体面でのことなどもしっかりと考えた中で進めていくべきであると私自身は感じています。(50代・女性)
- ・ 男でも女でも、仕事に対する責任をきっちり取る人間を育てなければ、より良い社会は作れません。(60代・男性)
- ・ 男女共同参画社会は重要ではあると考えるが、男女で性差があるのは当然のことで、それぞれできること、できないことがあるのが当たり前だと考えている。そのため、女性議員の引上げ等、女性を庇護することが本当に平等なのか、平等とは何なのかもう一度よく考えるべきだと思う。(20代・男性)
- ・ 男女平等は大切だが、身体の作りの違いから生じる各々の特性と適所はそれ以上に大切だと思う。家庭、学校、社会、すべての基本は教育であると思う。男尊女卑の長い歴史を人として平等だと塗り替えられれば、やがて解決していくと思うが、女性も権利に見合う責任を果たす必要が求められるようになると思う。(50代・女性)
- ・ 男女平等をはき違えないことだと思います。すべてを平等には無理があり、色々な意見があろうかと思うが、やはり「重い物は男性が持つ」ではないでしょうか。根底には違いがあることを理解したうえでの男女共同参画となることを望んでいます。(60代・男性)
- ・ 夫が主婦である妻に「自分が働いているおかげで生活が出来ているんだぞ」のような発言を耳にしますが、こちらからしてみれば「誰のおかげで働けていると思っているんだ。こっち(妻)が仕事を辞めて家庭に入り、食事や掃除、育児をすべて私(妻)が一人でやっているから貴方(夫)は家庭を顧みることなく仕事に専念出来るんだぞ」と思うことがあります。こう思わせてしまう社会だから、「男女平等」なんて言葉だけで実際は平等には程遠いのではないかと思います。妻が出産したら、夫は強制的に半年間育休を取るくらいのことをする社会になってほしいなと思います。(30代・女性)
- ・ 一番良い例がサラリーマンではないか？社長は男性であるべきという意識は強いのではないかと？まず、女性は年齢を重ねると体力が落ちていく、また、月経休みが今はあるくらい、月に一度ホルモンバランスが崩れ、体調を必ず崩す。これは本当に仕方がないのだが、日本ではまだまだ理解がされない社会だ。月経などで体調が崩れ、大事な会議で休んだとしよう。「だから女性は・・・」と思う人も少なくないであろう。これを変えないと、変わらないであろう。あくまで私の見解であるが、そう思っている人は少なくないと思っています。(30代・女性)
- ・ 昨日小学生の孫の学校の授業参観に行きました。手を挙げて発表するのは女の子の方が多かったです。男の子は理解していても発表しない子がたくさんいました。中学・高校・大学と進んでいくうちに、どこかでそれが逆転するのでしょうか。世の中で表舞台に立つ人はやはり男性の方が多いように思います。男女平等とは言っても、当然男と女は違います。その差をお互いが、社会が認め合って助け合っていける世の中にしていかなければ、少子化の傾向はなくならないと思います。我々(70代)が若かった時代に比べると、平均収入がかなり落ちています。働き方改革とは言いながら、派遣やパートの待遇は改善されません。収入の格差が広がっています。もちろん我々の時代と比べると、良いこともたくさんあります。私の40代の娘の夫たちは、とても子育てや家事労働を負担しています。もちろん共働きなので当然とも言えますが、我々世代から見るとほほえましく感じます。住みよい日本・千葉県・そして茂原市になるよう行政も頑張ってください。期待しています。(70代以上・女性)

- ・ 「男女平等」と「男女共同参画」が同じ括りで扱われることに、以前から違和感を持っています。問25が象徴的だと思いますが、私は男女が平等だとは思っていないのです。人間はヒトという生き物として、すべて平等な存在だと思いますが、男性と女性では明らかな違いがあります。体格しかり、脳の働き方しかり。同じ土俵で闘えば勝負にならないのですから、男性は女性を力で従わせるようなことをしてはいけませんし、その強さゆえ女性を守るべきである。男性だけに強いられることです。男性・女性それぞれ特有の考え方、物の見方や視野の違い、互いが互いの性差を認めて尊重し、補い合うのが理想ではないでしょうか。その中で、時に男女の性差の前に人の個々の能力の差により男女の在り方が従来と違うこともあるでしょう。その時に、「男女平等」ではなく、「人類平等」の視点で、他者を認められる度量を備えた人間を育てることが出来たかどうか問われるのではないのでしょうか。社会活動は個々の能力を活かして行われれば良いと思うので、男女の性差に関係なく、能力に応じて社会参画すればよい。なので、私の中では男女共同参画は当たり前のこと、できる人ができることをすれば良いだけのこと、と思って生きています。  
(40代・女性)
- ・ 「男女共同参画社会づくり」がよく分かりません。人それぞれだと思う。私の母（80歳を過ぎている）は専業主婦でしたが、もし時代が違ったらもっと社会に出てバリバリ働きたかったのではないかと・・・、それができる女性だったのではないかとこの頃つくづく思う。私もパートナーを間違えなければ、きっと10人くらい子供を産んでいたかもしれない。男と女は違います。身体が違うんだから、役割も違います。男性は（もちろん個人個人で違うけど）高齢になっても、子どもを作ることはできることが多い。でも、女性は子供を産む年齢が限られてしまいます。セクハラはいけないけど、もっと男女が楽しく知り合い語り合い、子どもをたくさん作りたくなるような世の中になってほしい。50歳を過ぎて、誰の子どもでもいいからあと2人くらい産んでおけばよかったと思う今日この頃。  
(50代・女性)
- ・ 今一つ危惧される部分は、①女性の子どもを育てるという母性本能を制限されてしまう参画社会はいかがなものか。②男性には幼児を育むというすべはない。やはり母親の懷の中で抱かれる情緒が幼児期の精神安定にとって今一つ懸念が思われる。③女性の参画を否定するものでなく、男性と異質の大切な存在であることは、参画社会の中でも活かされると考えます。④少子化、自動虐待という世情を考え見るときに、参画するということが、子ども達の将来に影を差さねば良いと苦慮します。（70代以上・男性）

## ◎子育て環境、教育について

- ・ 出生率が低い原因は、所得の低さ。（金銭的負担）（20代・男性）
- ・ 出生率が低い原因は、出産・子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み（保育園、勤務時間・休暇制度等）が整いつつあれど、利用してはいけない空気を感じたり、遠慮することは美しいという日本人独特の感性が蔓延しているため。（30代・男性）
- ・ 出生率が低い原因は、年金等将来の不安、非正規雇用が増えて生きていくだけで精一杯すぎる。希望が全くない。（60代・女性）
- ・ 出生率が低い原因は、子どもがいてもいなくても、安心して暮らすことのできる制度の充実が不足しているから。女性の問題ではなく、社会全体の問題である。（30代・女性）
- ・ 出生率が低い理由は、社会全体が育児に非協力的。「うるさいから電車に乗るな」など。そういった発言や考え方の人が多いように感じます。これでは保育にも影響がでると思いますし（保育園とかの施設不足）、見聞きした人は子どもを産んだら自分が言われると思って育児がしにくいと考えると思います。（30代・女性）

- 出生率が低い原因は、高い技術の病院が遠くて不安だったり、子どもの遊び場がごく少なく、他の地区よりも子育てが優遇されていないから。(40代・男性)
- 出生率が低い理由は経済力！！自分の幸せの中に「自分以外の誰か、妻子が幸せであれば」が含まれないこと。自分の車の方が、旅の方が、自分の大切な人の笑顔より素敵だと思っていること。(40代・男性)
- お金の面が心配で子供が産めません。不妊治療費を保険適用にしてほしい。(30代・女性)
- 設備の整った総合病院や夜間救急を作してほしい。子供が夜に体調を崩していても、長生の夜間ではきちんと診てもらえない。(20代・女性)
- 男女共同参画社会づくりとは関係ないとは思いますが、一宮町や長柄町のように子供の検診やインフルの予防接種などの補助をもっとしてほしい。(20代・女性)
- 平成28年度の秋の待機児童がひどく、落選。この前後の年代が小学校に上がると、学童に入れないのは目に見えています。まだ3年、もう3年になっているので、至急どう対処するのか考えて欲しいです。2人は欲しいので、2人目も茂原市の保育園問題には諦めつつ育てますが、3人目は考えものです。(20代・女性)
- 妊娠・出産は女性のみが出来る事なので、必ずしもすべて何でもかんでも男女平等にする必要はないと思う。また、不妊症などで悩んでいる人も多いと思うが、そちらの補助だけでなく、産める人が希望する人数を産めるような社会になれば良いと思う。現実に我が家が4人目を希望した際、確実に保育所に入ることが出来、また上の子と同じ保育所でなければ負担が大きいことを茂原市の子育て支援課に相談したが、「それはできない。保育士が足りていないので逆に誰か知り合いの保育士を紹介してほしい」という返答をもらった。非常に子育てがしづらい地域だと思ったし、これでは子供を産まない人、産んでも一人という家庭が増えてもしょうがないのではないかと思った。それで泣く泣く4人目をあきらめた経験があるので、本日記入した程度のアンケートでは市民の状況など何もわからないのではないかと思う。強い言い方になるが、世間がLGBTだ男女平等だと言っているのに、とりあえずのアンケートという感じがしてしまう。子育て世帯と一括りにされるが、シングルマザー、シングルファーザー、核家族、共働き世帯と、祖父母等の手厚いサポートがある家庭、専業主婦(夫)の家庭を同列にしないでほしい。本当に子育て支援が必要な家庭、保育所への入所(希望通りの入所ができること)等、真剣に向き合ってほしいです。(30代・女性)
- 子育てしながらでも仕事がしやすいように、保育園など預かってもらえる所が充実していればと思います。本来なら自分の子どもは自分で育てるものですが、仕事をしなければいけない状況で、子どもの具合が悪くなってしまったとき、仕事を休まなくてはならなくなってしまいます。茂原にも病児保育はありますが、時間の関係で預けられないのが現状です。もう少しだけ時間をとってもらいたいです。(30代・女性)
- 共働きの家庭の場合、子の預け場所探しが困難なよう。(60代・女性)
- 学校教育で、子を育成する先生がもっと男女平等の意識を持ち(特に先駆的な外国事例をもっと勉強する、行政がしむける)、さすれば子供は自然(おのずと)男女共同参画社会を理解し身につくと思います(時間はかかります)。<鉄は熱い中に打つ><井の中の蛙は不可><なぜ重要かを、基本的人権から考えさせ、学ばせる、発言させる>この充実したアンケートを学校のカリキュラムで取りあげ、生徒に理解させ、一人一人に意見を述べさせ、確認する。(70代以上・男性)

- 男女ともにどちらの性別についても性教育をしてほしい。男性の生理等への理解がなさすぎて、不快になることがある。体質や性格がそれぞれであるという認識をもつきっかけになると思う。(40代・女性)
- 子ども達の将来の生き方はすべて平等でよい。こちらが決めることではない。(20代・女性)
- まず学校教育が一番大切だと思います。LGBT、セクシャルマイノリティーの教育は早急に行うべきだと思います。また、男女で家事を分担したり、子育てに男性が参加するような家庭で、具体的に男女が共同参画できる意識を持たせる教育も重要だと思います。これらの教育は今の一般家庭で教えるのは難しいと思うからです。学校のみに関わらず、茂原市内の企業でも行ったほうが良いと思います。市の講座とか出て出なくても良い環境でなく、条例などで義務付けても良いと思います。(50代・女性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、大人の意識改革が大切。(60代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、ゆとりを持った心と健全な身体を備える生き方を学ばせることが必要。(60代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、道徳の勉強、命の大切さ、ゆずりあい精神が大切。(60代・女性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、性別にとらわれず、平等に個人個人が自分の意見を伝えることが出来る、ディスカッションを中心とする教育が大切。(70代以上・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるために、道徳授業の中に弁護士による事件や犯罪を犯したときの法律を組み入れ、今後の人生が変わっていくことをしっかり教育して欲しいです。(60代・女性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、指導する側が常識を捨てること。新たに学ぼうとする者に自身の考えを押し付けないことが大切。(30代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、人対人の思いやりある人としての付き合い方をしっかり学ぶことが大切。(60代・女性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、男女の話以前に「個の違い」を尊重することが重要。(60代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、現代版の教育勅語を教え、道徳心を養うとよい。(50代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、人権の歴史を学習してもらうことが大切。(40代・男性)
- 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、男女以前に人間力を深める教育が大切。(50代・男性)

## ◎介護について

- ・ 家庭での介護の主な担い手が女性であるのは、国の支援がまだ少ないから。一度仕事から離れてしまうと、もう一度仕事に就くのは難しい。仕事と介護を一人でも行えるようにして欲しい。男性が介護に関わる時間が少ないのは、仕事を休むと今と同じ立場や地位を保つのは難しいから。（60代・女性）
- ・ 家庭での介護の主たる担い手が女性であることについて、介護は家族の問題だから誰か1人に負担がかかるのはよくない。
- ・ 家庭での介護の主な担い手が女性であるのは、平均寿命は男の方が短いので必然的にやむを得ない。男性が介護や育児に関わる時間が少ないのは、介護施設が整っていないから。（70代以上・男性）

家庭での介護の主な担い手が女性であるのは、女性の特性として、人のケア、お世話上手、心の気配り等介護には必要だが、同時に物理的に要介護者の身体を動かす等の際には力のある男性の手も必要だと思う。（30代・女性）

- ・ 家庭での介護の主たる担い手が女性である理由は、介護される者が希望している場合もあると思うのですが、育児を担っている女性の方が介護も上手いから主たる担い手になってしまっているのだと思います。（30代・女性）
- ・ 家庭での介護の主たる担い手は育ってきた環境で異なる。愛情を持って育てた子どもであれば、男性でも担い手となる。（40代・男性）
- ・ 家庭での介護の主な担い手が女性であるのは、夫が妻を介護しないから。（70代以上・女性）
- ・ 子育てや介護という部分は、まだまだ女性が担っているところが多いのが現状です。特に介護は力仕事が多く、男性の協力も不可欠です。休暇等の申請を出しても、企業側が協力していただけるような体制を制度化してもらいたいです。（40代・女性）
- ・ 仕事をしながら介護は困難。給料の低い方が辞めざるを得ないのではないかと思う。女性の方が給料が低い家庭が多いのだと思う。介護支援が充実し、価格を抑えることができれば、仕事を辞めずに済むと思う。（40代・男性）
- ・ 男性が介護や育児に関わる時間が少ない理由は、高齢の男性の意識が低いから。（70代以上・女性）
- ・ 男性が介護や育児に関わる時間が少ない理由は、介護士が職業としてあるという認識（教育を含めて）がないため。
- ・ 男性が介護・育児に関わる時間が少ない理由は、パタハラ等の問題。（20代・男性）
- ・ 男性が介護や育児に関わる時間が少ない理由は、女性の介護は男性にはできないこともあるから。（60代・男性）

## ◎労働、仕事と家庭の両立について

- ・ 性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、周囲の理解というよりは社会全体の意識改革が必要だと思う。特に今の政府の考え方はおかしい。(40代・女性)
  - ・ 性別に関わらず仕事と家庭を両立していくための環境整備には、同性パートナーのことも考慮すべき。(30代・女性)
  - ・ 性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、扶養だと103万円を超えたらダメとかそういうのをなくして、パートでも損せずたくさん稼げるようにしてほしい。(30代・女性)
- 性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、介護職も同様に給料を高くすること。これに尽きる！公共の無駄、天下りをなくして補てんする。(月35万～) (40代・男性)
- ・ 企業がすべての職員を正職員として雇用すれば、結婚することに不安がなく子供を産み育てることに不安がなくなり、子供が増えるような気がします。(70代以上・女性)
  - ・ まだ女性(母親)が育児をするという現実が大きいのので、男性(父親)も積極的に育児ができるように、まず仕事の環境を作る事(考える事)が良いと思う。(40代・女性)
  - ・ 様々なことに対して、古い考えの人が多いと思います。その人自身を認めるべきなのに、自分のことを武勇伝のように話して否定してきたりする人もいます。今の時代に合った対応をしたり、年齢に関係なく接してほしいです(特に男性→女性のかかわり方)。今の職場が上記のような感じなので、すごく働きづらいです。女性だけでなく、男性もそうだと思いますが、働く環境が悪いと男女共同参画社会なんてないです。(20代・女性)
  - ・ 私は2度の育休をして仕事復帰しましたが、復帰する度に雑用の仕事からやらされてうんざりしています。1~2年の仕事のブランクなので仕方ないこととは思いますが、せっかく仕事を頑張ってきたのにキャリアがリセットさせられる感じはある意味パワハラなのでは？と思ったりします。そう思うと、私自身3人目も欲しいけど、もっと仕事に慣れてからとか、キャリアを積んでから、それとも諦めるべきか、、、と悩むことがあります。正直、男性にももっと育休を推進して、その気持ちを理解してみろって思います。復帰することがどれだけ大変か(特に気持ちの面で)、後輩に先を越される悔しい気持ちや、仕事環境が変わって浦島太郎状態からのスタート、それをフォローしてくれない実情、全てが育休を取る女性の負担を一度体験してみろと思っています。男性の育休制度をととても重要視しています。そういった制度の先に男女平等たるものができてくるものかと思っています。世の中の女性の負担はまだまだ大きい。まち全体が皆を思いやれるようにいい政策にしてほしいと思っています。私自身も、このアンケートを通して、もっと参加していこうと考えています。(30代・女性)
  - ・ 強制力や企業にも浸透するような制度を作ってください。(30代・女性)
  - ・ 男性は男性らしく女性は女性らしくなど、固定概念にこだわりすぎないことが大事だと思います。また、会社においてもパワーハラメントなどがなくなり、全社員・アルバイトが働きやすい環境づくりが大事だと私は思います。(20代・女性)

- ・ 男・女ではなく、個が尊重される世の中になって欲しいと考える。女性で能力も高く、社会に貢献できる人材であるのに、夫の転勤で仕事を続けることができず、家庭に入った友人もいる。女性の権利ももちろんだが、男性の働き方の改革も必要である。(30代・女性)
- ・ 1999年に男女共同参画社会基本法が施行され早20年。2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にという指針が出され、各企業等、女性を管理職に登用ということで躍起になっているが、これから女性はもっと活躍すべきと画一的に考えられても、実際は子育て・家事をこなしながら、責任ある仕事もしっかりしたいと考える女性もいれば、何よりも家庭や子育てを優先したいという女性もいるし、選択肢は多様である。ライフイベントにおける選択肢、結婚するかしないのか・結婚後に仕事はどうするのか・子どもは何人もつのか・子育てはどうするのか・子育ての協力者は誰か・親の介護はどうするのか、このような問いに対して、女性の方が男性よりその後の自分の人生に対しての影響は大きく、迷いは多い。迷いの多い状態の中で、社会で活躍するロールモデルとなる女性は少ないのが現状である。女性が活躍するということは、長時間労働・成果報酬を求める従来の男性社会を女性にも負わせることでもないし、女性が仕事も育児も介護もやらなければならないということでもない。これからは、働き方・家庭での役割などを男女という視点からではなく、女性も男性も仕事と生活を両立して、ライフステージにあわせた働き方ができるようにしていくことが求められていると感じる。(50代・女性)
- ・ 問題は末端ではなく、役職者、上司、役員で、表面上の軽い認識を取り扱う本人が、どう改め、どう動くかで改善のスピードはもっと速くなると思います。末端の教育も重要ですが、平等法が出来てから長く時間がかかっても良くならないのは、やはり手本となる人が出来ていないためだと思います。ぜひ、上の方の正しい手本を見たく、改善するプログラムの実行を期待します。(40代・男性)
- ・ 夫婦で自営業をしています。休みも少なく、仕事の時間も不規則な場合が多く、時間が取ればお互いの親が高齢のため、様子を見ているような毎日を送っています。職場にも主人と私しかおりませんので、主人にも少し食事の片づけ、ゴミ出しとかをしてもらえばなどは思いますが、古い考え方(家事は女性がするもの)の人間ですので、なかなか難しいものです。大した意見を述べられずすいません。これからの若い方々のために、男性も女性も平等な立場で活躍できる社会「男女共同参画社会」の実現のため、お役所の皆様も大変なご苦労だと思いますが、よろしくお願いします。(50代・女性)
- ・ 普通の会社は定年が60歳で今の時代の60歳はまだまだ働けると思います。職業訓練、職業相談の充実をお願いしたいです。(60代・女性)
- ・ 例えば職場などで男女間の得意・不得意及び体力の差のバランスをどのように取っていくかを話し合う必要がある。(70代以上・男性)
- ・ 農家はどうしても女性も仕事に就かなければならない。(70代以上・女性)

問14. 女性の働き方についての問いについて、質問の意味がわかりません。そもそもなぜ女性＝子どもを産む前提なのですか。性別に関わらず仕事と家庭を両立させていくためには、主婦の人権を守ることが必要。すべての男女にとって子どもを産み育てることを人生のゴールとしてみないで欲しい。(20代・女性)

- ・ 女性の働き方については、子どもができた後、働くべき状況なら、仕事をするべき。(30代・男性)

- ・ 女性の働き方については、結婚・出産に関わらず、その人にあった働き方がいいと思います。（50代・女性）
- ・ 女性の働き方について、本人の体調や家庭状況に合わせて自由な選択ができるようになって欲しい。（20代・女性）
- ・ 女性の働き方について、仕事を続けたい人は続けることができる、人によってはあまり仕事が向かず、家のことをする方が向いている人もいる。偏見なく共存できる環境を希望する。（60代・女性）
- ・ 女性の働き方については、その人にとって無理のない状況で働けばよいと思う。（60代・男性）
- ・ 女性の働き方は、本人の意思と家庭環境によるかたちが望ましい。（70代以上・男性）
- ・ 女性の働き方について、フルタイムかパートタイムか、時間はその個々で考えたらよいのでは。（40代・女性）
- ・ 女性の働き方については、個人の自由。個人の能力によって異なる。各々が決めればよい。（40代・男性）
- ・ 女性の働き方は、各自の選択によることが望ましい。（70代以上・女性）
- ・ 女性の働き方について望ましいのは、人それぞれだと思う。性別に関わらず仕事と家庭を両立していくために必要な環境整備も、人それぞれだと思う。（40代・男性）
- ・ 女性の働き方は、その人の気持ち次第。（20代・男性）
- ・ 女性の働き方について、環境や個々の意識で変わるため、望ましい形はないと思う。ただ、母としての愛情を忘れないで欲しい。（30代・男性）

## ◎セクシュアル・ハラスメントについて

- ・ セクシュアル・ハラスメントが起こる原因は、相手に対するリスペクトが不足しているから。（30代・女性）
- ・ 職場のセクハラについて、スマートフォンの画面で女性の裸の写真を見せられた。DV防止対策については、一時避難ではなく、継続的に避難、被害者の意識啓発をして欲しい。地域活動の中で今後参加したいものは、NHK集金人や宗教勧誘の撲滅。女性の登用率について、なぜ30%？50%にしましょう。数値についてはこちらに聞かないで下さい。すべての人が平等はありえない。できることをできる人がやればよい。LGBT（性的少数者）についての質問は、質問自体に人権上問題があります。（20代・女性）
- ・ セクシュアル・ハラスメントは、周囲が協力してスマートフォンで撮影、録画して当人に見せる。（直るまで）（40代・男性）

- ・セクシュアルハラスメントが起きる原因は、生物、人間は性的が当たり前だが、大脳新皮質の発達によって人間には人間の掟が各民族、人類なりにできた。それにも関わらず、大脳新皮質による掟の遵守が疲れや逸脱、ミスにより実行できなくなることがあり、それが誰にも起きることであることの認識が十分理解されていないこと、対策を考えてないことだ。性別に関わらず参画社会を進めるために、男と女は「性による社会的役割」（表現が誤解を招くので）は異なっている→性役割が同じでないので、現在の各民族、人類のようになっているのであろうが、例えば容器の形は違うといえども、生物は社会的には平等であるという観点から、現実的可能な限りの努力は必要である。LGBT（性的少数者）について、それが運命的な発生的ものであるならば生物的発生上どうしても仕方がない。運命的なものに人権上問題があるのは問題があるが（例えば病気、例えば身体的な成り立ち等）、自分の好みでやっていることに対して、憲法の条文を立てて裁判に持ち込むようなことは問題外であると思う。資格がないと思う。申請受理拒否があってもいいと思う。男女共同参画社会を実現するために、男女が互いにあの人の言っていることは当たり前だと思えるような状況になることを期待する。（60代・男性）
- ・セクシュアル・ハラスメントが起きる原因について、女性がミニスカートとか履いていると、男性は触りたくなるかもしれない。女性にも問題。（50代・女性）

## ◎ドメスティック・バイオレンス（DV）について

- ・DV防止のためには、周囲に協力して撮影、録画する。（スマートフォン等で）罰則の強化。（40代・男性）
- ・DVの相談先に解決意識がないから解決なんてしない。（市役所のこと）（30代・男性）

## ◎地域活動について

- ・地域生活や家庭生活への男性の参加を促進するためには、子どものときから（または学校のときから）地域活動をするのが当たり前の状況を作ることが必要。大人になって騒いでも無駄。お金にならないことは参加しない人も多い。（60代・女性）
- ・地域活動や家庭生活への男性の参加を促進するためには、参加しやすく地域活動システム自体を変えること。時間帯etc。ないしは法整備でもして強制すれば？（40代・男性）
- ・地域活動や家庭生活への男性の参加については、現在、参加したい人は参加しているし、参加したくない人は参加していない。その人の物の見方、考え方で違う。（60代・男性）
- ・家庭生活や地域生活への参加は、男性は来なくていいと思う。男女の役割分担であり、差別ではない。自治会長やPTAなどの活動は、男でも女でも向いている人がすればよい。すべての人が平等である必要はない。（70代以上・女性）
- ・地域活動や家庭生活への男性の参加を促進するためには、地域活動を本当に必要なことだけ行うように改善する必要もある。（区費を集める、老人ばかりの草刈り、無駄な懇親会）自治会やPTA等の活動でリーダーに女性が少ない傾向がある原因は、女性は視野が狭く、口が軽すぎ、しゃべりすぎ、判断が遅いため。（40代・男性）
- ・自治会やPTA等の活動でリーダーに女性が少ない傾向にある原因は、仕事との両立ができないから。（60代・男性）

- ・ 性別に関わらず社会参画を進めるためには、男女ともに適所適材が必要。(50代・男性)
- ・ 性別に関わらず社会参画を進めるためには、ジェンダー教育や啓蒙をすべき。(30代・女性)
- ・ 性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、家族構成が核家族でないことが必要。(50代・男性)
- ・ 性別に関わらず社会参画したい人がすれば良い。登用率等に女性が不利になるような補正をかけていないなら、わざわざ「女性、女性」と優遇する必要はない。(20代・男性)
- ・ 幼児の時から男女共同参画の教育、共同作業のボランティア活動などを行っていけば、自然体で自分の中に入って行くのではないのでしょうか。(70代以上・男性)
- ・ 政府が意識を変えないと、地域社会活動の意識は変わらないと思います。(40代・女性)
- ・ これからの時代は女性が引っ張っていった方がよい時代だと思います。自分は男ですが、女性は今の時代では地位が低すぎると思います。女性がリーダーに立つ時代の方がよいと思います。男は見栄を張りたい人ばかりなので、女性が上に立つ時代がきてよいと思います。(30代・男性)

## **◎防災・災害復興対策について**

- ・ 防災・災害復興対策では、女性及び性的少数者などの視点に配慮し、プライバシーの保護が必要。(40代・男性)
- ・ 防災・災害復興対策では、女性及び性的少数者などの視点に配慮し、トイレの数を男性の4倍にすることが必要。(20代・男性)
- ・ 民主主義、多数の政治なので女性及び性的少数者などの視点に配慮した防災・災害復興対策は必要ない。(40代・男性)

## **◎LGBT（性的少数者）について**

- ・ LGBTへの理解が進んでいない。日本は遅れているが、茂原市は地方なのでとにかくLGBTへの知識が遅れている思考の人が多。男尊女卑の傾向も強く根付いていて古くて頭の凝り固まった人が多い。認知を広めるべき。(30代・女性)
- ・ LGBT等性的少数者に関する差別が大きいのは、やはり若い世代よりも年配に多いように思う。仕方ないこととも言えるが、年配に差別意識があることで若い世代の結婚や社会進出などにも少なからず影響はあるのではないかと思う。祖父母世代は、悪気なく「男だから・・・」、「女だから・・・」、「結婚は・・・？」というケースは多いように思う。時代と流れにギャップがある事が、違和感の原因なのではないか。(20代・女性)
- ・ LGBTについては、身近にいないので正直分からない。テレビで見る程度なので特に不快も嫌悪感もないが、実際に身近にいた場合は愉快とは言えないかも・・・。ただし、権利を認めないという事ではなく、不快感に過ぎないと思う。男女格差についても長い年月で教育されてきた結果であり、それを改善するのもまた長い年月を要するもので、一気に改善できるものでもないと思う。じっくり腰を据えて取り組む必要があるのだろう。啓蒙ひたすら啓蒙・・・。(70代以上・男性)

- ・ L G B Tについて、問30と問31の自分の考えに矛盾があることが分かりました。考えられて良かったです。(30代・男性)
- ・ すべての人は平等でなければならない。(60代・女性)
- ・ 問31①についてですが、同性愛者と両性愛者の両方についてを一つの問いで尋ねるのはどうかと思います。個人的には配偶者が両性愛者であっても受け入れられますが、同性愛者であった場合には受け入れられるか分かりません。恐らく時間をかければ受け入れられるだろうと思い、「受け入れられる」と答えましたが・・・。(20代・女性)
- ・ このアンケートをどう扱うのか不安です。問30など項目自体が差別的だと感じました。私はL G B Tではありませんが、L G B Tをおかしなものとするような項目があることに不信感を感じました。アンケートの性質上仕方がないことかもしれませんが、「そもそも何もおかしなことではない」という前提をもっていたきたいです。(30代・女性)
- ・ L G B Tに配慮しすぎて、普通の人を逆に差別していないか？(40代・女性)
- ・ 近年の社会趨勢として、少数者の支援・援助や救済が常態化してきていますが、「本来あるべき姿」はどうあるべきかが肝要です。極端に何でも救済が蔓延し、国の行政までも体たらくしている現状で不快感があります。組織でも個人でも重要なのは、自立への努力です。(70代以上・男性)
- ・ L G B Tの割合について、各統計データはあるも実数は不明。そのために多数が不快な思いをするのはやめて欲しい。安倍さんと麻生さんが抱き合ってチューしたら嫌だろ。それは普通の感覚じゃん。理想はお高く、美しく、たわごとも多い。否定は難しいとはいえ、大人として反論すべきことは言わんとね。世の中おかしくなるよね。男女も不満を持っている人は一部では？文句を言うのはそんな少数派では？アバンギャルド気取りの馬鹿が騒ぐので迷惑極まりないよね。(40代・男性)

## ◎茂原市について

- ・ 茂原市は女性の人口が男性よりも多いです。古い意識や慣習にとらわれず、女性が生き生きと暮らしていける街であって欲しいものです。特に若い女性や女の子には目標を持って前向きに成長して欲しいです。(50代・女性)
- ・ 女性が住み良い市になれば、若い世代の転入も増え、税収も上がり、豊かな市になるのではないかと考えます。仕事(職場)がある、医療施設、保育園・学校など安心してみてもらえる場(時間外も)、清潔な街、花のある街(緑ある公園)、老人が子どもを見守る。(60代・女性)
- ・ それぞれの意識、認識が高まり、暮らしやすい街になることを希望します。理想と現実があると思います。茂原市に暮らし始めてわずかなので、これから色々と市の事を知っていききたいです。(30代・女性)
- ・ 若い世代が元気になるような茂原にして欲しいです。他の地域よりも意識が低い気がします。(50代・女性)
- ・ 茂原市に期待することは、人口増加、企業誘致、市の活性化。働く場所が増えれば、地元で働く人も増えるのでは？(40代・女性)

- ・ 企業だけでなく、学校、病院等、多様な年齢層の人々が茂原に立ち寄るような工夫をしてほしい。(50代・女性)
- ・ 住みやすい街になりますように。(60代・女性)
- ・ 協力しますので、これからも茂原市のためにこの企画を頑張ってください。(50代・女性)
- ・ 住んでよかったと思える茂原市にしていきたいと思い、ボランティア活動に頑張っている毎日です。(60代・女性)
- ・ 次世代の子ども達に「よき市」と自慢できる社会(市政)になることを望みます。また、どの市よりもお手本となれる市になって欲しい。(40代・女性)
- ・ 課題が多すぎて、よくわかりません。住みよいまちづくりをよろしくお願いします。(70代以上・女性)
- ・ 市への要望として、友達などとの団らんの場所、例えばお風呂とかを設置して欲しいです。(70代以上・女性)
- ・ L G B Tのカップルの受入れを積極的にしたらいいと思う。そういう地域を作るとか・・・?!(40代・女性)
- ・ ①保育所の充実を求めています。自営業のため保留でした。特に、0・1・2歳児。待機児童になり困っています。保育の質もきちんとしている、安心な保育園に預けたいです。週5回でなくてもいいので、週3内の特定日の保育園で預けられるだけでもパートやアルバイトの母が助かるかと。②産後ケアの充実。いすみ市ではとっても魅力的な制度があります。議会で予算が通ったのならば、お母さん目線の使いやすいシステム、サービスが欲しいです。③母子手帳のサイズが大きくなり、とても使いにくいです。小さいサイズの方が持ち歩きに便利でした。④市役所のエスカレーター、下りもつけて欲しい。(30代・女性)
- ・ 共働きが多い家族が増えているので、保育園・学童保育などの保育事業をもっと充実してほしい。一人暮らしをしている高齢者が多くなっているので、頻繁に見回してほしい。現に自分が知っている人だけでも、ケガや亡くなっている人がいるので不安がある。市民の細かい意見をたくさん取り入れて、市の活性化につなげてください。今回の意識調査も、とても良いことだと思います。市民が安心して住みやすい茂原市づくりを期待しています。(70代以上・男性)
- ・ 茂原市は医療の救急時に対応の強い病院がないように思われます。緊急でどこの病院に駆け込んでも、状況を確認して対応できる病院を増やしてほしいです。(60代・男性)
- ・ 長生病院の問題を早く解決して下さい。資金についてはふるさと納税やクラウドファンด์を活用して資金を得て、早急に対応して下さい。中核たる病院がなくなるのは行政の責任です。腕の良い医師はたくさんおります。看護師の手当などを減らすことや長期入院をさせることのないように担当部署に伝えて下さい。(70代以上・男性)
- ・ 私個人の意見ですが、高齢者のために医療費や介護の充実をしすぎて、高齢者の寿命が延びることで家庭内のいざこざになり、離婚になりうるケースもある。市の財政は、高齢者より子供たちへと使うべきだと思う。(50代・女性)

- ・相談窓口の設置：気軽に立ち寄れる場所としてあれば、いざ行動に移れるのではと思いました。周りに頼れる人がいない人にとっては嬉しいとかありがたい存在だと思います。そうゆう場所がないとストレスが生まれ、人によっては病気になったりもありませんので、窓口があることで救われるのではと思いました。弱い方の味方ができる体制をお願いいたします。（50代・女性）
- ・（1）まず始めに専門の課の設置と人選、（2）参画社会づくりが進んでいる市区町村への視察、（3）市のバックアップ、何から始めるか？何が必要か？何が障害になるのか？一つ一つクリアしていくことだと思います。（60代・女性）
- ・茂原市の各課・各部の長に女性・トランスジェンダーを多く登用して欲しい。（40代・男性）
- ・男女、人権を尊重し合い、個人の能力を発揮する場をもっと作り上げていくことを望む。先進国の中では男女の格差が一番遅れていると思います。会社の部長、社長クラスは海外に比べて最も少ないと思います。そのためには、10代20代の若い男女または政府が海外に目を向け、いろいろなことにチャレンジしていくことだと思います。（60代・男性）
- ・茂原市もこのようなことをやっているんだと初めて知りました。まずはそこから頑張ってください。（50代・女性）
- ・「茂原市男女共同参画計画」について、ほとんど知りませんでした。というか、まったく日常生活の中で意識したことがありませんでしたので、これを機会に少し学んでみようと思いました。（60代・女性）
- ・男女共同参画社会づくりに関する情報・知識不足にて、今回このような施策が市で行われていることを知りました。誰もが人権を尊重して、良い社会になっていくと良いなあと感じました。（40代・女性）
- ・男女共同参画社会とは言葉の意味を学校等で学習をしたが、具体的にどのようなものか、どう対策をしているのかわからないので、そのことを学べる機会や知ることのできる資料を作成して学校等で配布したりするとよいと思う。（20代・男性）
- ・外国人が増えている気がします。そういう人が地域で生活していくことも考えていかないといけないと思います。あちらこちらの考えを参考にするのはいいですが、しっかりとした日本独自（千葉県独自、茂原独自）の目的・考えを持っていかないといけないと思います。それらの外国人の方々にも、その考えをどのように浸透させるか。労働について、LGBTについては、国が規則を掲げて教育的に押し付けるのではなく、「自分で考えられる力」をつけていかないといけないと思います。（60代・男性）
- ・茂原市に期待することは何もない。家の子どもは障害を持っているのに、1ヶ月分700円でおしまいになった。何を考えているのかわからない！（60代・女性）
- ・税金安くしてください。（20代・男性）
- ・商業施設や娯楽施設の増加。ターゲットが女性に絞られた店が多すぎる。もう少し男性向け、もしくは夫婦で楽しめる施設が欲しい。そもそもアンケートで聞かなければならないのか疑問。かなり上からの目線の質問が多かったことから、作成した方には申し訳ありませんが、この企画を進めてしまった市長に不信感を持ちました。とりあえずNHKや宗教勧誘をどうにかして下さい。家にいてくれる夫が不快、苦痛に感じています。（20代・女性）

- ・ 茂原に転居して10年が経ちますが、土地柄というか住んでいる人たちの問題意識が非常に低くて、あまり楽しい町ではないように感じます。特に高齢者にとっては何かと不便が多くて、これから先のことを考えるとどうなるのか不安です。今は自家用車で用事を済ませています。これから先はどうなるのやら。もっとバス路線を整備していただいて、免許返納後の生活設計もバスで行けるまちづくりを希望します。放射状に拡散したまちづくりではなくて、コンパクトにまとまったまちづくりを進めていただきたいと思います。(70代以上・女性)
- ・ 茂原市民となりまだ年月が浅いですが、商業施設の衰退や高齢化の急速な進行などに危機を感じています。近所にも空き家が増え、防犯上の不安もあります。高齢者には体力の衰えや持病もあるなどで、実際に体を使っての活動は難しいと思われるので、若い人たちが集まるアイデアを広く募集し、生かす制度があれば良いと思います。使われていない建物の使い道や、使いたい若者に短期間の契約をしてもらい、夢を試してもらって人も集まるような。そういった企画を実行しても、地域の人が良く思わず、不成功に終わる例も多いのが現実という意見も聞かれるので、そうならないように専門家の意見も募り、男女の区別なく、集まった人も受け入れる人も生き生きと暮らせる社会を目指す制度を作っていただけると助かると思います。(50代・女性)
- ・ 茂原市では他市町村の取組みをもっと勉強する必要があると思います。なぜ、広報無線連絡について、必要なことだけ放送しないのか。常に放送を流さずに、特別緊急時のときだけ流すようにする。3時のワンダフルタイムの子どもの放送は長い。簡素に話すべき。地域は教育現場ではない！！広報無線放送は緊急時だけの知らせでよいと思う。いざというときに住民の危機感がなくなるのではないか。(70代以上・女性)
- ・ 午後3時過ぎの市の放送で児童の声で「ワンダフルタイムの見守りをお願いします」というのは、非常に違和感があり、不自然な（子どもが発想するとは思えない）ものであり、止めて欲しい。不自然な放送をすることは市の恥だと考える。ある意味で「行政をチェックしていない」、「不自然に対する市の感度が低い」であって、「不自然な放送は止めるべき」と考える。「始めたことは止められない」という姿勢は正すべき。放送も市政の一部だが、これが「一事が万事」でないことを祈る。(60代・男性)
- ・ 正社員になれるようにして欲しい。大きい会社をたくさん呼び、安定して長く茂原で働き、子育てをしていける茂原市にして。正社員になって安定すれば、結婚して長く茂原で生活してくれる可能性も高くなる。茂原で安定することができないため、若い人は安定を求めて千葉市あたりに行ってしまう、帰ってこない。歳を取ってもずっと茂原に居続けたいと思えない。市民バスを多く出したり、車がなくても病院に行ったり、買い物をできるようにして。車がなければ少しは負担が減る。少しは買い物に使う方に回せる。もっと住みやすく、お金の負担を減らし、高齢の方も生活しやすく、若い方が希望を持ち、お金の余裕のあるように、茂原も市長も動かないと、何も始まらない。なんとかしてくれ。(60代・女性)
- ・ 茂原市とその周辺地域の公務員の採用や処遇、昇進等に前職者や現職者のつてが横行しているような現状で、期待することはありません。男女平等になるなど、まだまだ遠い先の話ではないでしょうか。まずは平等な採用からかと思えます。(50代・女性)
- ・ 男女共同参画社会を実現するために、茂原市に期待することは、税金を有効に使うこと。税金を無駄遣いしない。職員の方は一般企業で働いている人に比べて余裕があるように見えました。何か少しでも市のためにできることをしていただけるとありがたいと思います。(50代・女性)

- ・ <問題>住民年齢別人口構成が15歳以下1に対し、65歳以上が2と高い。また、転入転出の動態人口もマイナスである為、高齢化及び人口減少度は大である。これにより、税金の収支バランスが悪化していく。女性の活躍する場が少ない。<対策>出生率を上げる。現状1.32%を2030年迄に2.00%以上にする。→中間目標1.75%鹿嶋市程度。移動時間の短縮が課題です。出生率の高い地域は島部・九州の一部地方都市です。共通点は島内（地域内）で、勤務地・住居地・最低限のインフラが整備されています。日照時間も長く、移動時間も短いという環境は家庭での時間を増やし、近所付き合い等「会話」のコミュニケーションが増えます。これが結婚・出産・子育てに影響していきます。因みに、新たな住宅建設は無駄です。空き家を増やすだけです。（出生率が現状のままでは）地域内での、用増と育児環境の整備がより必要です。茂原は日照時間・雪害は問題ありません。<具体例>①異性同士の交流拡大をする。市役所事業のワンストップ化を進める。事務スペースのコンパクト化。現市役所の1フロアを交流スペースとして、このための場所・人を確保する。（基本無料化）女性担当を配置し、運営・管理をする。若い人に来庁して頂く機会が増え、市政にもプラスとなる。②都内人口爆発自治体と提携し、限定期間を設けて交流拡大を図る。（税収アップ、定住化）茂原+都市指定エリアとのコラボ振興券。都内待機児童の短期入園体験。（市内宿泊増）外房有料道路南（茂原）区間の期間中無料化。秋の収穫祭開催。モバリン特典など女性スタッフを中心に運営する。（女性スタッフによる桜祭り七夕、収穫祭による地名度アップ）（50代・男性）
- ・ 男女平等に対応する必要なし。本当に困っている人に役立つ（力を入れる）市になって欲しい。（30代・男性）
- ・ 無駄をなくすことが役人の使命です。選挙のはがきもカラー印刷では経費の無駄だということを理解していない。高齢化社会だからカラーにしたのだとしたら、世も末です。とにかく男女平等といっている間は何も進展しないでしょう。（40代・男性）
- ・ 市役所の人達は上から目線の人が多く、相談、話しかけにくい。市役所へ行くのが嫌だ。茂原市役所は所詮、お役所仕事だと思う。（70代以上・女性）
- ・ 市の職員は高姿勢ですので、少し変えてください。（70代以上・女性）

## **◎男女共同参画社会づくりに向けての意識調査について**

- ・ アンケートを通じて、知らなかった事、言葉や意味を勉強する事ができ、良かったと思います。これから就職、結婚する機会に、改めてどうしていくべきか、考えていこうと思います。また、社会全体、国の方針も変わって欲しいです。（20代・女性）
- ・ このアンケートに答えるうちに、頭では理解し、他人には寛容になれても、自分の家族には・・・？と、その時でないと認めるか・・・わからないこともありかな・・・でも話し合っってその人が望む事を認めるのが筋かな・・・と思いました。平等の家庭、学校、職場と過ごしてこそ、その精神は強固になると思いますので、その為には意識の改革が進むことを願います。今の若い人が大人になった時は、今より少し変革しているのかな・・・と思います。（70代以上・女性）
- ・ 男女共同参画社会の実現は県や市、議員など代表的立場にある人が率先して示すべきことだと思う。アンケート結果などにより左右されるべきことではないと考えます。人の前に立つ人ほど、家庭や地域において女性を労わる姿を示して欲しいと思います。（60代・女性）

- ・今の現状を変えるのは難しいと思うが、少しずつ改善されてほしい。誰かだけ頑張るのでは改善はできないと思ったので、自分も今までを見直し、もう一度色々考える機会になりました。ありがとうございました。（20代・女性）
- ・「男女共同参画社会」という言葉を聞けば意味することは解るが、そうした法律があることは全く知らなかった。あえて今このような意識調査があること自体、自分が思っている以上に現実的には差別が存在する実態があるのだなと感じた。最終的には個人の意識に左右されることだと考えるが、教育や仕組み、制度を変えていくことが大事だと思う。（50代・男性）
- ・男女平等の旗のもと、女性を何%とかで増やす考えではなく、能力のある女性が活躍できる、性別にこだわる必要のない世の中になることが大切。（50代・男性）
- ・行政が先頭に立って市民の啓蒙に力を入れてくれると、少しずつ広まってくると思う。このアンケート実施はその第一歩でありとても有意義で、期待が持て、頼もしく感じた。（60代・男性）
- ・このアンケートをもとに、より良い茂原になることを願ってやみません。（50代・男性）
- ・アンケートが来て、男女共同参画社会とは何だろうと思った。しかし、回答しているうちにこういう問題を扱う「会」だというのが理解できた。（40代・女性）
- ・参加してみて、よいことだと思いました。（70代以上・女性）
- ・LGBTに対する新しい認識を知るうえで重要な意識調査だと思う。（70代以上・男性）
- ・毎日平凡に過ごしているので、今回のアンケートは正直むずかしく、良く分からない質問が多かったです。色々考えないといけないことがあるんですね。勉強不足でした。（60代・女性）
- ・人権について、LGBTについての基本的な知識、現状を実際に体感して作成してほしいです。やや視野が一方的設問が多く困りました。申し訳ありませんが、ここまで問いに答えていくのが大変でしたが、アンケート実施をもっと早くやってほしいと思っていました。アンケート回答後、結果や課題が知りたいです。行政の方達の方策を待っています。途中経過でも良いですので、広報紙に載せてください。別件ですが、男女共同参画という事を考える機会を与えていただいたので、「女性天皇制」について、市としての考えを知りたくなりました。（40代・女性）
- ・今回のアンケートに接して、1.市の男女ハートフル共生プランの主旨は理解できました。2.しかし、アンケートの範囲が広すぎて迷いが生じました。①単純に市の目的が男女の別なく、問21の社会・地域活動への参加を促すことが主題とすれば、問4の家庭内の役割分担等は理解しやすい。②しかし、DVやセクハラ、LGBTの項目に至っては、異質のテーマの感が致しました。3.共同参加を具体的に拡大したとき、精神障害者はともかく、身体に障害のある方も多く存在するわけで、バリアフリー面も大きなテーマと考えられます。4.高齢者対策でも、①世間を騒がせている65歳以上の高齢者の参加も無視できません。交通事故の多発を受け、市としてのスタンス・施策の明示も必要と考えます。②さらには、人生100歳までを考えたとき、増加する高齢者対策としての医療や介護施設等の整備は、喫緊の課題と考えます。後期高齢者の一員として、少なからず関心を持っています。（70代以上・男性）

- ・ 企画政策課のスタッフの皆様、今回の調査大変ですね。調査の集計結果はどのような形で発表告示されるのでしょうか。楽しみにしております。※環境課からもこのような市内における調査をしていただきたいと思います。（たくさんあると思いますが、通学路、歩道、電線にかかった枝木などです）危険なところもあります。よろしくお願いいたします。（60代・女性）
- ・ 男女共同参画社会づくりのアンケートをするのは問題ないですが、残念ながら、何をやっているのか知りませんでした。よって、このような活動をしている内容の資料も欲しかったです。
- ・ 80歳代になりましたので、アンケートにお答えできないところもありましたので、空欄に致しました。30年代は女性は家庭を守って、男性は外で働くのが通年でした。今の時代にそぐわない箇所もあると思います。（70代以上・女性）
- ・ 私たちの世代はどちらかというと専業主婦が多かったようですが、今の世代（子ども・孫たち）を見ていますと、ずいぶん変化していると思います。50余年も家に入って、パートも経験のない私にはこのアンケートは苦痛でした。（70代以上・女性）
- ・ 初めて聞く言葉もたくさんあり、よく理解できない。まあ自分の知識不足ですが、分からないことが多いので、これからニュース等でいろいろ勉強しようと思いました。（40代・女性）
- ・ 大変申し訳ありませんが、「男女共同参画社会」ということ自体全く知らず、アンケート用紙を読みながら、これから勉強しなければと思った次第です。恥ずかしいことですが、申し訳ありません。（70代以上・男性）
- ・ アンケート内容で良く分からない点がありました。市での活動を住民にもっと分かりやすくしていただけると良いと思いました。（30代・女性）
- ・ あまり関心がない。男とか女とかではなく、それぞれ人間として存在しているので、そのような枠を決めてこのようなアンケートをやることこそが男女を差別しているように思う。（30代・女性）
- ・ このアンケートは女性である妻が答えたかったです。（60代・男性）
- ・ 本意識調査の対象について、選んだ家族の全員が回答できるようにした方が、意識調査になると思います。（50代・男性）
- ・ このような場面で何を書いても「無駄」だと思ってしまう。アンケート作成、集計の作業は大変だと考えます。このアンケートに協力した一人ひとりの意見が今後に反映されることを願います。（60代・女性）
- ・ このようなアンケートではなく、実際に市長等、市役所の幹部と直接会って話した方が本当の声が聞こえます。アンケートは大変です。もうやりたくない。（40代・男性）
- ・ 男女にこだわりすぎるのが良くない。行政が介入しすぎである。このような業務は無駄、市は他にもっとやることがあると思う。（50代・女性）

- ・ 男女平等とか男・女というより、能力的に良いものを持っていれば、男女問わずに職場でも政治家でも関係ないと私は思っています。このアンケートの意図することが分かりませんでした。（60代・女性）
- ・ 男女共同参画社会づくりは、そもそも行政や誰かがものさしを作るようなものではないと思う。「参画」に興味がないと選択することのできる自由を持つことを期待する。アンケート全体を通して、何を知りたいのか、質問の意図が何なのか、よくわからない。選択肢の内容がおかしいと感じるものも見受けられた。このアンケートで世の中が少しでもよくなる、とは感じられない内容だった。残念。（40代・男性）
- ・ アンケート用紙が私どもに届きましたが、答える欄が少なくてすみません。もうこの年齢になりますと、ただ若い人たちに迷惑かけたくないということがありまして、毎日自分の生活に一生懸命で、あまり社会の件に関しましては・・・。新聞やテレビなどでは耳にしたり目にしたりしていますが、私どもにはちょっと答えられません。何しろ昔人間なので、男女共同参画においても昔は家の中でも考えられなかった事でしたので、良い回答になりませんで申し訳ありません。（70代以上・男性）
- ・ 意見はあるものの、それをどう表現していいかわかりません。何か起こる前に、未然に防ぐ、危険予知することは難しいと思っています。事例があれば意見することはできても、前段階で動くというのは難しいです。（個として）（50代・女性）
- ・ アンケートばかりで、「さまざまな施策」を展開とありましたが、行っているのでしょうか？目に見えないものには納得できません。用紙代がもったいない。すいません。調査とは関係ないかもしれません。市役所のミスがあり、今怒っています！！何をするにも、一人ひとりの意識の問題が大事だと思っています。調査だけでなく活用して頑張ってください。（60代・女性）
- ・ 計画に対し、実態はどうであったのか把握し、公表が必要。人間の本来の本質と計画・条例等が合致するのか疑問である。綺麗ごとの社会制度は危険である。（60代・男性）
- ・ アンケートが長いです。この時間で夫婦の仲良し時間に充てた方が有意義だと思います。むしろアンケートは夫婦で答えさせることで、お互いを理解させればよいのではないのでしょうか。（20代・女性）
- ・ このアンケートの質問事項が多すぎて、途中からいい加減な答えになった。項目の数を半分位にして欲しい。（8ページ位）（60代・男性）
- ・ 全17ページにわたるアンケートを書く時間があつたら、家事を手伝ってほしいというのが妻としての意見です。必要な意識調査だということは理解できるが、最低限に努める方法を検討していただきたい。（40代・男性）
- ・ 今回のアンケートは質問事項が多すぎる。次回のアンケート依頼をするときは、アンケート枚数を減らした方が記入（目を通しやすく）なる。（40代・女性）
- ・ アンケートで誰に何を聞きたいのかよく分かりません。もっと対象を絞るべきです。質問の幅が広すぎる。男女共同参画だけのアンケートじゃないんですか？（50代・男性）
- ・ アンケートの質問数が多い。（40代・女性）

- ・ このアンケートですが、ちょっと細かすぎるし、質問もくどいものがあった。もうちょっとシンプルなアンケートにした方がいい。（60代・男性）
- ・ 質問が長くて多い！（40代・男性）
- ・ 年のせいにはしてはいけないと思うが、あまり良く分からない。（60代・男性）
- ・ 段々、高齢者にとってわからない言葉が出てきて、住みにくい時代になってきました。（60代・女性）
- ・ まだ茂原に引越して来たばかりでわからないし、年齢も。最初の何ページかは読んで回答していたが、途中で理解ができないことがありました。（70代・女性）
- ・ 理解できない回答もありました。（70代以上・女性）
- ・ 質問の意味や前提が不明なものがあった。（40代・男性）
- ・ 病気療養中でわからない。（50代・その他）
- ・ 私は高齢のため、現在社会にあまり知識がないので、適切な答えができずごめんなさい。（70代以上・男性）
- ・ 日々、時間に追われながらの生活をしていると、心に余裕というものが全くなく、自分自身、今の現実的なこと（介護ならびに自営業の存続はいつまで?!）で、心が押し潰されそうになる毎日です。今回、「男女共同参画社会づくり」のアンケートに答えさせていたしましたが、知識もなく、何もお役に立てず、申し訳ありません。（50代・女性）

#### 4 参考資料（調査票）

### 茂原市男女共同参画社会づくりに向けての意識調査

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

茂原市では、誰もが互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指して、平成28年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第3次）～」を策定し、さまざまな施策を展開しております。



この計画は平成28年度から令和2年度までの5年間を計画期間としており、社会情勢やニーズの変化に応じて見直しを行うこととされています。

計画策定から3年余が経過し、少子高齢化・高度情報化・国際化など社会環境が大きく変動する中で、男女共同参画社会づくりに関する市民の皆さんの意識の変化をとらえ、市民生活を送る上で直面している新たな問題に対処するため、市では「茂原市男女共同参画計画」の見直しを進めています。

このたび計画の見直しにあたり、市民の皆さんの男女共同参画社会づくりに関するご意見を伺い、市が今後取り組むべき施策の基礎資料とするため、調査を実施させていただくことになりました。

調査の対象として、令和元年6月15日時点に市内にお住まいの20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。調査結果については全て統計的に処理を行い、回答いただいた内容は調査目的以外には使用されません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、御協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、対象者が転出などによりいない場合につきましてはお手数ですが破棄して下さるようお願いいたします。

令和元年7月

茂原市長 田中 豊彦

#### ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
2. 住所・氏名を記入する必要はありません。
3. 回答は、この用紙（両面刷）に直接記入し、当てはまる回答の番号に○をつけてください。回答の中で「その他」を選んだ方は、その内容を（ ）の中にご記入ください。筆記用具は鉛筆・ボールペンなど何でもかまいませんが、はっきりわかりやすく書いてください。

A.あなたの性別は、

(回答例)

1 男	② 女	3 その他（ ）
-----	-----	----------

4. 質問によっては、当てはまる方のみお答えいただくものもありますが、説明に従って最後までお進みください。
5. 全ての記入が終わりましたら、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ（切手不要）、**7月20日（土）までに**ポストに投函してください。
6. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市企画財政部企画政策課

電話 0475-20-1651、ファックス 0475-20-1603、Eメール kikaku2@city.mobara.chiba.jp

※アンケートの結果については、市役所1階情報公開コーナー、4階企画政策課、

## 【はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします】

A. あなたの性別は、

1 男	2 女	3 その他 ( )
-----	-----	-----------

B. あなたの年齢は、

1 20～29 歳	4 50～59 歳
2 30～39 歳	5 60～69 歳
3 40～49 歳	6 70 歳以上

C. あなたのお住まいは、

1 茂原地区 [茂原、茂原西、高師、高師町、高師台、萩原町、千代田町、八千代、道表、東部台、小林飛地、中部、町保上林、鷺巣、上茂原、箕輪、長谷、内長谷、墨田、早野新田、東茂原、大芝]
2 東郷地区 [千町、六ツ野、木崎、谷本、本小轡、小轡、新小轡、七渡、東郷、中之郷飛地、川島飛地]
3 豊田地区 [長尾、大登、小林、渋谷、腰当、北塚]
4 二宮地区 [国府関、真名、山崎、押日（緑園台含む）、黒戸、庄吉、芦網]
5 鶴枝地区 [上永吉、下永吉、猿袋、三ヶ谷、立木、台田、野牛、中の島町]
6 五郷地区 [早野、綱島、中善寺、石神、八幡原、六田台、緑町、長清水]
7 本納地区 [本納、法目、高田、榎神房、西野、小萱場]
8 新治地区 [下太田、上太田、大沢、柴名、桂、吉井上、吉井下]
9 豊岡地区 [萱場、弓渡、粟生野、御蔵芝、清水、千沢、南吉田]
10 緑ヶ丘地区 [緑ヶ丘]

D. あなたのご職業は、

1 農林漁業	5 会社員	9 無職
2 商工業・サービス業	6 公務員・団体職員	10 パート・アルバイト・派遣など
3 医師・弁護士など	7 専業主婦・主夫	11 その他 ( )
4 その他自営業	8 学生	

E. あなたの世帯は、

1 ひとり暮らし	4 親と子どもとその配偶者・パートナー(二世帯家族)
2 配偶者・パートナーと2人 (一世帯家族)	5 親と子どもとその配偶者・パートナーと孫 (三世帯家族)
3 親と子ども(核家族)	6 その他 ( )

F. あなたは、結婚していますか？

1 結婚している(未届だがパートナーと暮らしている場合も含む)	} F-1.へお進みください
2 死別・離別	
3 結婚していない	} F-2.へお進みください

F-1. あなたとあなたの配偶者・パートナーは共働きですか。  
(パート・アルバイト・派遣等を含む)

1 共働き
2 片方(男性)だけ働いている
3 片方(女性)だけ働いている
4 両者とも働いていない

F-2. 子どもはいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

次ページ 問1.へお進みください

## 【男女共同参画の意識について】

**問1.** 現在、次のような面で男女の地位が平等になっていると思いますか。それともそう思いませんか。(○は各項目1つずつ)

項 目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(ア) 家庭の中で	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場の中で	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(エ) 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・慣習で	1	2	3	4	5	6
(キ) 政治や政策決定の場で	1	2	3	4	5	6
(ク) 全体として	1	2	3	4	5	6

**問2.** 次の言葉を知っていますか。(○は各項目1つずつ)

項 目	知っている	聞いたことはある	知らない
(ア) 男女雇用機会均等法	1	2	3
(イ) 男女共同参画社会基本法	1	2	3
(ウ) 女子差別撤廃条約	1	2	3
(エ) ジェンダー (社会的・文化的につくられた性別)	1	2	3
(オ) DV (ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3
(カ) ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
(キ) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
(ク) エンパワーメント (力をつけること)	1	2	3
(ケ) アンペイドワーク (家事・育児・介護・看護等の無償労働)	1	2	3
(コ) 男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画～	1	2	3

**問3.** あなたは、男性及び女性の役割や地位など、男女共同参画について話し合ったり、学習したりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者や恋人と話した	5 職場で話したり学習したりした
2 親子で話した	6 男女共同参画センターや市が行う講座に参加した
3 友人同士で話した	7 その他 ( )
4 学校で話したり学習したりした	8 話し合ったり学習したりしたことはない

## 【男女の役割分担について】

**問4.** 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は1つだけ)

1 そう思う	3 どちらともいえない
2 そう思わない	4 わからない

※次の**問 5.**は結婚（未届だがパートナーと同居している場合も含む）し、同居している方のみお答えください。それ以外の方は次ページの**問 6.**にお進みください。

**問5.** あなたの家では、次に挙げる仕事等は、主にどなたがしていますか。または、過去にしていましたか。(○は各項目1つずつ)

項 目	主に男性の 配偶者・ パートナー	主に女性の 配偶者・ パートナー	両者 同程度	その他の 人 (男性)	その他の 人 (女性)	該当 しない
(ア) 食事の支度	1	2	3	4	5	6
(イ) 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
(ウ) 日常の買い物	1	2	3	4	5	6
(エ) 掃除	1	2	3	4	5	6
(オ) 洗濯	1	2	3	4	5	6
(カ) ごみ出し	1	2	3	4	5	6
(キ) 大工仕事や電気製品の管理	1	2	3	4	5	6
(ク) 役所や銀行などへの用事	1	2	3	4	5	6
(ケ) 高齢者や病人の世話	1	2	3	4	5	6
(コ) 町内会や自治会の出席	1	2	3	4	5	6
(サ) 子どもの教育	1	2	3	4	5	6
(シ) 学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
(ス) 家計の管理	1	2	3	4	5	6
(セ) 財産・資産の管理	1	2	3	4	5	6
(ソ) 家庭内での主導権	1	2	3	4	5	6

**問 5-1.** 問 5.の項目 (ア) ~ (ソ) までの仕事のうち自分が「もっと分担してもよい」と思うものを3つまで選んでください。

記入欄			
-----	--	--	--

**問 5-2.** 問 5.の項目 (ア) ~ (ソ) までの仕事のうち配偶者・パートナーに「もっと分担してほしい」と思うものを3つまで選んでください。

記入欄			
-----	--	--	--

## 【子育てと教育について】

**問6.** これからの時代を生きていく子どもたちには、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。(○は女の子・男の子それぞれ3つまで)

項 目	女の子	男の子
(ア) 社会的な地位を得る	1	1
(イ) 経済的に豊かな生活をする	2	2
(ウ) 社会に貢献する	3	3
(エ) 家庭や周りの人たちと円満に暮らす	4	4
(オ) 人間性豊かな生活をする	5	5
(カ) 本人の個性や才能を生かした生活をする	6	6
(キ) 本人の意思に任せる	7	7
(ク) その他 ( )	8	8

**問7.** 学校教育の中で男女共同参画の意識を深めるためには、何が大切だと思いますか。(○は3つまで)

1 性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性を育むような授業をする
2 生活指導や進路指導において、性別の区別をなくす配慮をする
3 相手へのいたわりや理解が増すような性教育を充実させる
4 男女共同参画に関する教員の意識を深める研修を行う
5 性差別や人種差別などに問題意識をもたせる
6 国際交流や交換留学を活発にし、他国の事例や価値観を学ばせる
7 今のままでよい
8 わからない
9 その他 ( )

**問8.** 女性が一生の間に産む子どもの数は平成 29 年（2017 年）で 1.43 人となっています。あなたは、出生率が低い原因は何だと思いますか。(○は3つまで)

1 子どもは少なく産んで十分手をかけて育てたいという人が増えた
2 出産・子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み（保育・勤務時間・休暇制度等）が整っていない
3 出産・子育てに対する配偶者・パートナーの理解・協力が足りず、片方の精神的・肉体的負担が大きい
4 祖父母や隣近所など、保護者以外に出産・子育てを支援してくれる人がいない
5 住宅事情や家計が厳しく、出産・子育てに経費がかかりすぎる
6 結婚しない人やしたくてもできない人が増えた
7 結婚年齢が上昇した（晩婚化）
8 子どもを望んでいるができないなど、健康上の理由
9 子どもよりも仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた
10 将来に希望が持てない中、子どもを作りたくない
11 子育てが面倒で子どもを望まないという人が増えた
12 その他 ( )

## 【高齢化社会について】

※次の問9は介護が必要な在宅の身内の方（要介護者）がいる方のみお答えください。  
それ以外の方は問10にお進みください。

問9. 主に介護しているのは、要介護者から見てどの関係に当たる方ですか。（○は1つだけ）

- |             |          |                  |
|-------------|----------|------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 4 娘      | 7 地域の人・ボランティア    |
| 2 息子        | 5 娘の夫    | 8 訪問介護員（ホームヘルパー） |
| 3 息子の妻      | 6 その他の親族 | 9 その他（ ）         |

問10. 家庭で寝たきりになったお年寄りなどの介護は、女性（妻・嫁・娘など）が主たる担い手となることが多いですが、このことについてどう思いますか。（○は1つだけ）

- |                     |
|---------------------|
| 1 女性の役割として当然だと思う    |
| 2 問題があるが、現実にはやむを得ない |
| 3 女性の負担を軽減するほうが良い   |
| 4 その他（ ）            |
| 5 わからない             |

問11. あなたは、自分が万一、介護が必要になったとき、誰に介護してほしいですか。  
（○は2つまで）

- |             |          |                      |
|-------------|----------|----------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 4 娘      | 7 地域の人・ボランティア        |
| 2 息子        | 5 娘の夫    | 8 訪問介護員<br>（ホームヘルパー） |
| 3 息子の妻      | 6 その他の親族 | 9 その他（ ）             |

問12. 現在、男性が介護や育児に関わる時間が少ない状況にありますが、その理由は何だと思えますか。（○は2つまで）

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 男性の仕事が忙しいから        | 5 介護・育児に自信がないから       |
| 2 休暇が取りにくいから         | 6 介護・育児に対する男性の意識が低いから |
| 3 仕事を休むと経済的な損失が大きいから | 7 今までの慣習や風習があるから      |
| 4 昇進等に影響があると思うから     | 8 その他（ ）              |

## 【労働について】

※次の問13. は働いている方のみお答えください。働いていない方は問14.にお進みください。

問13. あなたの職場では、男性・女性それぞれについて有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。(○は各項目1つずつ)

項 目		取りやすい	どちらかといえば 取りやすい	どちらかといえば 取りにくい	取りにくい	どちらとも いえない
男性	(ア) 有給休暇	1	2	3	4	5
	(イ) 育児休業	1	2	3	4	5
	(ウ) 介護休業	1	2	3	4	5
女性	(ア) 有給休暇	1	2	3	4	5
	(イ) 育児休業	1	2	3	4	5
	(ウ) 介護休業	1	2	3	4	5

問14. 女性の働き方について、望ましいと思うのは次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 結婚や出産、子育て中も、育児休業制度等を利用して仕事を続ける
- 2 子育ての時期だけ一時的に仕事を辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時的に仕事を辞め、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は仕事に就かない
- 5 子どもができるまで仕事を持ち、その後は仕事に就かない
- 6 仕事を持たない
- 7 その他 ( )

問15. あなたは、性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 保育所や放課後児童クラブ（学童保育）の充実
- 2 保育時間の延長、病児保育など保育サービスの充実
- 3 育児・介護休業制度の利用や有給休暇の取得がしやすい職場の制度づくり
- 4 育児・介護休業制度の利用や有給休暇の取得がしやすい職場の雰囲気づくり
- 5 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実
- 6 残業時間の削減や長期休暇の取得奨励など労働時間の短縮
- 7 結婚・育児・介護のために退職した職員の再雇用制度の促進
- 8 パートタイマーなど非正規雇用者の待遇改善
- 9 男性の地域社会活動や家庭生活への参加促進
- 10 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること
- 11 その他 ( )

## 【セクシュアル・ハラスメントについて】

※セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)とは、相手の意に反した性的な言動のことを言います。

**問 16.** これまでに、職場・学校・地域で次のような経験をしたことがありますか。  
(○は職場、学校、地域ごとに当てはまるものすべて)

項 目	職場	学校	地域	経験 なし
(ア) いやがっているのに卑猥な話や猥談を聞かされた	1	2	3	4
(イ) 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた	1	2	3	4
(ウ) 異性に身体を触られた・じろじろ見られた	1	2	3	4
(エ) 宴会でお酒やデュエットを強要された	1	2	3	4
(オ) 交際を強要された	1	2	3	4
(カ) 性的な行為を強要された	1	2	3	4
(キ) 性的な噂をたてられた	1	2	3	4
(ク) 異性との交際関係や結婚、出産についてたびたび聞かれた	1	2	3	4
(ケ) 自分の容姿について意見を言われた	1	2	3	4
(コ) 帰宅途中、後をつけられた	1	2	3	4
(サ) 性的な内容のメール(LINE等のSNSを含む)や手紙、電話を受けた	1	2	3	4
(シ) 裸の写真や卑猥な雑誌を目に付くところに張られた・見せられた	1	2	3	4
(ス) その他 ( )	1	2	3	4

**問17.** あなたの職場・学校・地域には、セクシュアル・ハラスメントの相談を受け付ける窓口がありますか。(○は1つだけ)

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

**問18.** セクシュアル・ハラスメントが起こる原因は何だと思えますか。(○は各項目1つずつ)

項 目	そう思う	そうは 思わない
(ア) 相手を対等な人間として見ていないから	1	2
(イ) 性的言動を相手が不快に思うことがわかっていないから	1	2
(ウ) 固定的な性別役割分担意識にとらわれすぎているから	1	2
(エ) 日常的なコミュニケーションが不足しているから	1	2
(オ) 受ける側が毅然とした対応をしないから	1	2
(カ) 一部にモラルの低い人がいるから	1	2
(キ) その他 ( )		
(ク) 分からない		

## 【ドメスティック・バイオレンス(DV)について】

※ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、「配偶者や恋人など親密な関係にあるパートナーからの身体的・精神的な暴力」のことを言います。

**問 19.** 今までに、夫・妻・恋人などの親密な関係にあるパートナーから次のようなことを受けたことがありますか (○は各項目1つずつ)

項 目	何度もあった	1、2回あった	まったくない
(ア) 大声でどなりつける、物を投げられる	1	2	3
(イ) 暴言を吐かれる、馬鹿にされるなど、精神的暴力を受ける	1	2	3
(ウ) 交友関係や電話・メール、外出などを細かく監視される	1	2	3
(エ) 何を言っても無視される	1	2	3
(オ) たたく、突き飛ばすなどの肉体的暴力を受ける	1	2	3
(カ) 医療機関での治療が必要となるほど深刻な暴力を受ける	1	2	3
(キ) 生活費を渡されない	1	2	3
(ク) 性的な行為を強要される、避妊に協力してもらえない	1	2	3
(ケ) その他 ( )	1	2	3

※ 次の問 19-1.~19-3.は、問 19.の (ア) ~ (ケ) のいずれか1つ以上で **1 または 2** と答えた方のみお答えください。

それ以外の方は次ページの問 20.にお進みください

**問 19-1.** これまでに、問 19.で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つだけ)

1 相談した	2 相談したかったが、しなかった	} 次ページの 問 19-3.へ
	3 相談しようとは思わなかった	

**問 19-2.** 実際に、誰に (どこに) 相談しましたか。(○は当てはまるものすべて)

1 親族	5 役所の相談窓口、女性サポートセンター等
2 友人・知人	6 医師・カウンセラー等
3 同じような経験をした人	7 NPO、市民団体等
4 家庭裁判所・弁護士・警察等	8 その他 ( )

**問 19-3.** 誰（どこ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（○は当てはまるものすべて）

- 1 誰に（どこに）相談してよいかわからなかった
- 2 相談する人がいなかった
- 3 恥ずかしくて誰にも言えなかった
- 4 相談しても無駄だと思った
- 5 相談したことが分かると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った
- 6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思った
- 7 他人を巻き込みたくなかった
- 8 子どもに危害が及ぶと思った
- 9 自分にも悪いところがあると思った
- 10 相談するほどのことではないと思った
- 11 その他（ )

**問20.** 夫・妻・恋人などの親密な関係にあるパートナーからの暴力について、今後行政に対して特にどのような対応を望みますか（○は2つまで）

- 1 警察による対応の充実
- 2 一時避難所（シェルター）の確保
- 3 相談体制の連携充実
- 4 相談機関等の周知・紹介
- 5 配偶者暴力相談支援センターの整備
- 6 被害者の自立のための就業支援や情報提供
- 7 加害者の意識啓発
- 8 その他（ )
- 9 わからない

## 【社会・地域参加について】

**問21.** 次の地域活動の中で、「現在参加しているもの」、「今後参加したいもの」について、それぞれ選んでください。(○は当てはまるものすべて)

項目	現在参加しているもの	今後参加したいもの
1 スポーツ・サークル活動	1	2
2 ボランティア活動、福祉活動	1	2
3 文化、教養、学習活動	1	2
4 自治会、婦人会、長寿クラブ	1	2
5 子ども会活動	1	2
6 防犯・防災活動	1	2
7 消費者運動・住民運動	1	2
8 PTA の役員、学校等の保護者会	1	2
9 市が行う講座・講演会等への参加	1	2
10 市の審議会等の委員 ※	1	2
11 その他 ( )	1	2

※審議会…有識者や公募委員などが市の政策に関する提言を行う、市の付属機関のこと

**問22.** これまで男性は、地域活動や家庭生活への参加が比較的少なかったと言われていています。地域活動や家庭生活への男性の参加を促進するためには、何が重要だと思いますか。(○は2つまで)

1 地域活動や家庭生活への参加を促進するための啓発活動をする 2 地域活動に関する情報提供を促進する 3 労働時間を短くして余暇を増やす 4 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する 5 企業など職場における地域活動への理解を得やすい環境づくりを推進する 6 その他 ( ) 7 わからない
--

**問23.** 自治会やPTAなどの活動では、会長や副会長などのリーダーに女性が少ない傾向にあります。その原因は何だと思えますか。(○は2つまで)

- 1 責任ある地位に就きたくないと考えている女性が多い
- 2 家事・育児に忙しく、地域活動に専念できない女性が多い
- 3 組織活動の経験が少ない女性が多い
- 4 指導力のある女性が少ない
- 5 女性がリーダーでは、女性がついてこない
- 6 女性がリーダーでは、男性がついてこない
- 7 女性がリーダーでは軽く見られる
- 8 男性がリーダーとなるのが社会慣行である
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

**問24.** 茂原市では、審議会等の女性委員の登用率を30%まで引き上げるという数値目標を設定していますが、平成30年度は23.4%（4月1日時点）となっています。このことについてあなたはどのように思えますか。(○は1つだけ)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 現状でよい              | 5 性別にこだわる必要はない |
| 2 女性がもう少し増えたほうがよい    | 6 その他          |
| 3 男女半々ぐらいまで増えたほうがよい  | 7 わからない        |
| 4 女性のほうが多い審議会があってもよい |                |

**問25.** 性別に関わらず社会参画を進め、すべての人があらゆる分野で平等な立場で協力しあっていくためには、どんなことが必要だと思えますか。(○は2つまで)

- 1 男女共同参画のための法律・制度の改正や行政の施策を充実する
- 2 女性に対する偏見や社会的なしきたり、慣習を改める
- 3 子どもの時の家庭でのしつけから学校教育まで、一貫して男女平等教育をする
- 4 女性が経済的に自立する
- 5 職場・政治などの面を含め、女性が積極的に社会参画する
- 6 男性の理解と協力を得る
- 7 すべての人が、社会の一員としての自覚と責任を持つ
- 8 家事・育児が社会的に十分評価される
- 9 その他 ( )
- 10 特にない
- 11 わからない

## 【防災・災害復興対策について】

**問26.** あなたは、防災・災害復興対策に、女性及び性的少数者などの視点に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。(○は1つだけ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 必要がある         | 4 必要ない         |
| 2 どちらかといえば必要がある | 5 どちらかといえば必要ない |
| 3 わからない         |                |

**問27.** 防災・災害復興対策で、女性及び性的少数者などの視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。(○は3つまで)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1 避難所の設置・運営体制        | 6 地域防災計画の策定 |
| 2 被災者に対する相談受付体制      | 7 その他 ( )   |
| 3 食料、飲料水、医薬品の備えや供給体制 | 8 特にない      |
| 4 救援医療体制             | 9 わからない     |
| 5 災害時の正確・迅速な情報連絡体制   |             |

## 【LGBT(性的少数者)について】

※ 本アンケートでは、「LGBT」または「性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)」とは、同性(両性)愛者やトランスジェンダー(性別違和がある人)、その他の多様な性的指向や性自認を持つ人をいいます。「LGBT」は、L=レズビアン、G=ゲイ、Bバイセクシュアル、T=トランスジェンダーの頭文字を合わせた言葉で、その他多様な性をあらかず総称です。

**問28.** 「LGBT」または「性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)」という言葉(両方またはどちらか一方)を知っていますか？(○は1つだけ)

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 言葉も意味も知っている         | 3 知らない |
| 2 言葉は聞いたことがあるが意味は知らない |        |

**問29.** 次のLGBT(性的少数者)に関する事から、人権上問題があると思われるものはどれですか？(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1 就職する際や、職場での昇進や異動において不利になること                |
| 2 経済的に自立していくことが困難なこと                         |
| 3 学校や職場でいじめにあう可能性があること                       |
| 4 病院や福祉施設等での介護や看護における処遇が不適切であること             |
| 5 住宅を容易に借りることができない場合があること                    |
| 6 スポーツ・文化活動や地域活動の参加に支障があること                  |
| 7 交流や交際などの人間関係において不当な扱いを受けること                |
| 8 異性との交際や結婚を強いられること                          |
| 9 テレビやインターネット、日常の会話の中で笑いの素材とされること            |
| 10 セクシュアリティ <sup>*</sup> を明かせないことで精神的負担があること |
| 11 じろじろ見られたり、避けられたりすること                      |
| 12 その他 ( )                                   |

※セクシュアリティとは、その人の性に関係する行動や傾向の総称

問30. 次の(ア)～(ク)の各項目について、あなたの考えや気持ちにもっとも近いものを、1～4から1つ選んでください。(○は各項目1つずつ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
(ア) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	1	2	3	4
(イ) 女性のような男性をみると不快になる	1	2	3	4
(ウ) 男性のような女性をみると不快になる	1	2	3	4
(エ) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(オ) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(カ) 女性でも男性のような服装をする自由がある	1	2	3	4
(キ) 男性でも女性のような服装をする自由がある	1	2	3	4
(ク) 同性を好きになることも、性の多様性として認めるべきである	1	2	3	4

問31. あなたは、次の(ア)～(キ)の身近な人が、①「同性が(も)好きである(同性(両性)愛者)」や、②「自身の性別に違和感を持っている(トランスジェンダー)」と知ったとき、受け入れられますか？(○は各項目1つずつ)

		受け入れられる	受け入れられない	わからない
① 「同性が(も)好き」 (同性(両性)愛者)	(ア) 親	1	2	3
	(イ) 配偶者	1	2	3
	(ウ) 子ども	1	2	3
	(エ) 上記以外の親戚	1	2	3
	(オ) 友人	1	2	3
	(カ) 職場の同僚・同じ学校の人	1	2	3
	(キ) 近所の人	1	2	3
② 「自身の性別に違和感」 (トランスジェンダー)	(ア) 親	1	2	3
	(イ) 配偶者	1	2	3
	(ウ) 子ども	1	2	3
	(エ) 上記以外の親戚	1	2	3
	(オ) 友人	1	2	3
	(カ) 職場の同僚・同じ学校の人	1	2	3
	(キ) 近所の人	1	2	3

## 【市への要望について】

問32. 男女共同参画社会を実現するために、茂原市にどのようなことを期待しますか（○は3つまで）

- 1 幼児教育や学校教育での男女平等教育の推進
- 2 男女平等、男女共同参画についての講座やイベントの開催
- 3 男女平等に関する情報提供や意識啓発
- 4 女性に対する暴力の防止対策の充実
- 5 職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善
- 6 育児・介護休業制度の普及促進
- 7 職業訓練、職業相談の充実
- 8 保育園・学童保育などの保育事業の充実
- 9 高齢者・障害者の介護制度の充実
- 10 地域活動やボランティア活動の促進
- 11 各種団体の女性リーダーの養成
- 12 市の審議会委員や民間企業などの管理職への女性の登用促進
- 13 男女共同参画推進を専門に担当する課の設置
- 14 男女共同参画推進センター・男女共同参画に関する拠点施設の設置、整備
- 15 男女共同参画に関する苦情処理・相談機関の設置
- 16 男女共同参画推進条例の制定
- 17 その他（ )
- 18 特にない
- 19 わからない



## 5 用語解説

### 【あ行】

#### ■アンペイド・ワーク（あんぺいど・わあく）

無償労働（unpaid work）。家事、介護・看護、育児、買物などの仕事や地域活動など、賃金、報酬が支払われないが我々の生活に必要な労働を意味する。

#### ■エンパワーメント（えんぱわめんと）

個人や集団が自らの生活への統御感を獲得し、組織的、社会的、構造に外郭的な影響を与えるようになること。語源は「empowerment」（権限を与えること、能力・実力をつけること）。国連開発計画が導入した概念で、「女性の政治参加や経済における活躍、意思決定に参加できるかどうかを表す指数」として、「ジェンダー・エンパワーメント指数」（GEM=Gender Empowerment Measure）がある。

#### ■LGBT（えるじいびいてい）

レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性別越境者）の頭文字を取った、性的少数者の総称。広義には、クエスチョニング（心の性が男性、女性のどちらかに規定できない、またはしない人々）、アセクシュアル（無性愛者＝好きになる性をもたない人々）、ノンセクシュアル（非性愛者＝恋愛感情を持ってても性的欲求を抱かない人々）、パンセクシュアル（好きになる性が性別にとらわれない人々）、トランスヴェスタイトまたはクロスドレッサー（異性の服装を好んで着る人々）等も含む。

### 【か行】

#### ■固定的性別役割分担（こていてきせいべつやくわりぶんたん）

「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分けること。

### 【さ行】

#### ■シェルター（しえるたー）

DV被害者等を、加害の原因である配偶者等から隔離して保護するための施設。「DVシェルター」ともいう。

#### ■ジェンダー（じえんだあ）

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの性器、性腺、染色体などの身体的特徴にもとづく「生物学的性別（sex）」がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別（gender）」という。

#### ■女子差別撤廃条約（じょしさべつてつぱいじょうやく）

1979年（昭和54年）12月18日に国連で採択された多国間条約で、正式名称は「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」。1981年（昭和56年）に発効し、日本は1985年6月25日に批准した。あらゆる分野における性差別を撤廃するために必要な措置を定めており、既存の法律、慣習等を修正または廃止することなどが定められている。

#### ■セクシュアル・ハラスメント（せくしゅある・はらすめんと）

相手の意に反する性的発言・行動による嫌がらせのこと。

## 【た行】

### ■男女共同参画社会（だんじょきょうどうさんかくしゃかい）

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、それにより、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと。

### ■男女共同参画社会基本法（だんじょきょうどうさんかくしゃかいきほんほう）

男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指して1999年（平成11年）に制定された法律。その2条において、「男女共同参画社会の形成」を「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成すること」と定義している。

### ■男女雇用機会均等法（だんじょこようきかいきんとうほう）

雇用の分野で男女の均等な機会や待遇の確保等を目的とする法律で、正式名称は「雇用の分野における男女の均等な機会および待遇の確保等に関する法律」。働く人が性別により差別されることなく、かつ、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分に発揮できる雇用環境を目的とする。募集・採用、配置・昇進等の雇用管理の各ステージにおける性別を理由とする差別の禁止や、婚姻、妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止等が定められている。

### ■男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画～（だんじょはあとふるきょうせいぷらん～もばらしだんじょきょうどうさんかくけいかく～）

茂原市における男女共同参画計画の名称。女性と男性が、互いを理解し協力し合うこと（共生と共創）」を基本理念に、60の施策が盛り込まれている。公募により決定された「ハートフル」という名称が表しているとおり、優しさにあふれ、男女がそれぞれの特性を活かしながら充実した人生を送れる社会を目指して、市民の皆様と協働して計画を推進している。

### ■DV（でいびい／どめすていっく・ばいおれんす）

夫婦・恋人・パートナー等、親密な関係にある人からふるわれる暴力。「ドメスティック（domestic）」は本来「家庭の」という意味であるが、ドメスティック・バイオレンス（DV）は同居の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般を指す。

## 【は行】

### ■ポジティブ・アクション（ぼじていび・あくしょん）

男女が対等な構成員として自らの意思によって社会における活動に参画するとき、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくもの。男女共同参画社会基本法では、積極的改善措置は国の責務として規定され、また、国に準じた施策として地方公共団体の責務にも含まれている。

## 【わ行】

### ■ワーク・ライフ・バランス（わあく・らいふ・ばらんす）

国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。平成19年12月に政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意により、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」が策定され、現在、様々な取り組みが進められている。

男女共同参画社会づくりに向けての意識調査 アンケート結果

令和元年12月

発行  
調査・編集

茂原市  
茂原市企画財政部企画政策課  
千葉県茂原市道表1番地  
電話 0475(20)1651  
FAX 0475(20)1603  
E-mail kikaku2@city.mobara.chiba.jp